

事業者団体調査(北海道社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
北海道社会福祉協議会 社会福祉研修所	新任介護職員研修	現職経験年数が2年未満の施設介護職員並びに訪問介護員	講義1「社会福祉の動向と介護職員に求められること」 講義2「認知症の方を知る」 講義3「私の目指す援助者像」 講義4・演習1「コミュニケーションの基本」	3回	1カ所	10時間(2日)	461人	3,000円	-	-
	介護職員専門研修Ⅰ	現職経験年数が2年以上5年未満の施設介護職員並びに訪問介護員	講義1「介護職の専門性とサービスの質の向上に向けて」 講義2「生活障がいとしての認知症の理解」 講義3・演習1「介護記録の重要性について」 講義4・討議1「職種間連携の重要性」	6回	4カ所	10.5時間(2日)	443人	3,000円	-	-
	介護職員専門研修Ⅱ	現職経験年数が5年以上の施設介護職員並びに訪問介護員	講義1「介護職の専門性とサービスの質の向上に向けて」 講義2・討議1「介護現場のリスクマネジメント」 講義3・演習1「認知症の方をより深く知る～アセスメントを通して～」 講義4・討議2「職種間連携の重要性とリーダーシップ」	6回	4カ所	13.5時間(3日)	-	3,500円	-	-
質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。			質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。			質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。				
<p>北海道の広域性を考慮すると札幌市以外の都市における研修開催が望ましいが、経費等の関係で札幌を中心とした開催にならざるを得ない。</p> <p>現在、NPOや営利企業等は、原則、本研修所の受講対象としていない。しかし、定員に空きがある場合は対応している。</p> <p>なお、介護保険事業の事業所指定を受けている場合に、受講対象にしてほしいとの相談が多く寄せられている。(本件については、北海道からの委託研修事業ということもあり、北海道との協議が必要。)</p>			<p>年度初めに当該年度の「社会福祉研修事業計画・要綱一覧」を対象法人・施設等に郵送している。また、道社協ホームページにも掲載している。</p> <p>介護職員が参加しやすいように研修企画において、受講者アンケートや関係者の意見を踏まえ検討している。</p> <p>平成21年度においては、国の事業である「介護職員の研修派遣に対する代替職員の派遣事業」を研修時のオリエンテーション等で周知したり、チラシを配布している。</p>			<p>北海道の広域性を考慮すると道内複数箇所での研修の開催が必要と考える。(ただし、経費的な問題あり)</p> <p>また、現在実施されている「介護職員の研修派遣に対する代替職員の派遣事業」の継続は不可欠と考える。</p> <p>その他、社会福祉法における社会福祉事業の経営者の責務や福祉人材確保指針における経営者・関係団体並びに地方公共団体の役割の、再徹底と報告の義務化が必要と考える。</p> <p>特に、介護職員処遇改善交付金におけるキャリアパス要件は、かなり柔軟なものであり、サービスの質の向上のためには研修は不可欠であり、研修促進の具体的なものの提示が必要と考える。</p>				

事業者団体調査(岩手県社会福祉事業団)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
岩手県社会福祉事業団	児童虐待対応職員研修(施設)	社会福祉従事者	①講義「児童虐待防止の現状と課題」 ②講義「虐待を受けた子どもと家族への援助における課題」等	1回	1カ所	10時間(2日)	78人	0円	-	-
	地域福祉講座	社会福祉関係職員	講義「これからの地域福祉の課題」 事例発展「地域での暮らしを支える」 グループディスカッション「地域福祉の課題について考える」等	2回	1カ所	6時間(2日)	42名	0円	-	-
	コミュニティワーク講座(基礎コース)	社会福祉関係職員	講義「コミュニティワークの展開」 ワークショップ「地域福祉の課題発見と明確化」等	2回	1カ所	6時間(2日)	42人	0円	-	-
	地域福祉フォローアップ講座	社会福祉関係職員	実践報告「地域福祉計画策定後の状況と課題」 ワークショップ「地域福祉を実践するうえでの具体的なプログラムについて」等	2回	2カ所	3時間(2日)	36人	0円	-	-
	福祉職員生涯研修(新任職員課程・中堅職員課程)	新任(社会福祉施設において職務経験2年未満の職員) 中堅(社会福祉施設において職務経験2年以上で役職にない職員)	階層別に共通の専門性及び組織性を培い、新任職員・中堅職員の資質の向上を図る。	3回	1カ所	33時間(6日)	188人(新任61人、54人、中堅73人)	5,000円(テキスト・シート代込)	-	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
1 種別協議会や職能団体と当事業団の役割について整理、調整が必要である 2 受講者ニーズが多様化しており、そのことに伴う運営面について(財源・人等)	1 各種アンケート結果、時代の社会的背景を考慮したプログラムの作成 2 ホームページへの研修実施計画の掲載	1 財源面の支援 2 土、日曜日の研修開催、地域ブロックごとの研修開催等

事業者団体調査(宮城県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他	
宮城県社会福祉協議会	認知症介護実践者研修	1. 県内の介護保険施設・事業所等に従事する介護職員等 2. 認知症介護の基本的な知識を有する者 3. 高齢者介護実務経験が概ね2年以上の者 4. 研修(講義・演習6日間)終了後に職務と並行して自施設で4週間の間に20日間160時間以上の認知症介護実習を展開できる者	認知症高齢者介護に関する実践的研修を実施することにより、認知症介護の専門職を養成する。	4回	1カ所	50時間	240人	-	-	-	
	認知症介護実践リーダー研修	1. 県内の介護保険施設・事業所等に従事する介護職員等 2. 高齢者介護実務経験が概ね5年以上で、実践者研修又は痴呆介護実務者研修を修了している者 3. 介護現場において、認知症介護の実践リーダー役の立場にある者 4. 研修(講義・演習9日間)終了後に職務と並行して自施設で4週間の間に20日間160時間以上の認知症介護実習を展開できる者	認知症高齢者介護に関する実践的研修を実施することにより、認知症介護の専門職員を養成するとともに、介護保険施設・事業所において、実践リーダーとして職員を指導し、チームケアの調整を行い、さらに認知症介護の推進役を担う知識と技術を習得する。	1回	1カ所	88時間	30人	-	-	-	
	認知症対応型サービス事業管理者研修	1. 県内の認知症対応型通所介護事業所、小規模多機能型居宅介護事業所及び認知症対応型共同生活介護事業所の管理者、及び管理者になることが具体的に予定されている方 2. 認知症介護実践研修(実践者研修)または痴呆介護実務者研修(基礎課程)を修了している方 3. 当該事業所所在地の市町村長の推薦を受けた方	認知症対応型通所介護事業所、小規模多機能型介護事業所及び認知症対応型共同生活介護事業所の管理者となる者に対し、当該事業所を管理・運営していくための知識と技術を習得する。	3回	1カ所	10時間	44人	-	-	-	
	認知症対応型サービス事業開設者研修	1. 県内の認知症対応型通所介護事業所、小規模多機能型居宅介護事業所及び認知症対応型共同生活介護事業所の管理者、及び管理者になることが具体的に予定されている方 2. 認知症介護実践研修(実践者研修)または痴呆介護実務者研修(基礎課程)を修了している方 3. 当該事業所所在地の市町村長の推薦を受けた方	認知症対応型通所介護事業所、小規模多機能型介護事業所及び認知症対応型共同生活介護事業所の管理者となる者に対し、当該事業所を管理・運営していくための知識と技術を習得する。	1回	1カ所	12時間	14人	-	-	-	
	小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	1. 県内の認知症対応型通所介護事業所、小規模多機能型居宅介護事業所及び認知症対応型共同生活介護事業所の管理者、及び管理者になることが具体的に予定されている方 2. 認知症介護実践研修(実践者研修)または痴呆介護実務者研修(基礎課程)を修了している方 3. 当該事業所所在地の市町村長の推薦を受けた方	認知症対応型通所介護事業所、小規模多機能型介護事業所及び認知症対応型共同生活介護事業所の管理者となる者に対し、当該事業所を管理・運営していくための知識と技術を習得する。	1回	1カ所	53時間	11人	-	-	-	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
研修日数が長いこと、事業所から職員を研修に出席させることが難しいとの意見あり。(多忙、連続日程は困るなど) 講師間の連携(研修の目的や流れを共通して理解し、全体で一つの研修としてまとめること1回の受講人数が多くなると、通達や演習が行き届くのが難しく、能力資質にも差がでる傾向がある。	ホームページの活用 県の広報への掲載依頼 事業所への案内・発送	管理者(経営者)への働きかけ(研修に参加し、人材育成を進めることが事業所の発展に結びつくことを実感してもらう。 研修目的や内容が具体的で、実践に生かせるものとし、長時間の研修の場合は、単元毎に数回に分けて開催する。 資格取得のための研修に偏らず、人材育成にも力を注ぎ、仕事への誇り・やりがい等を感じてもらえる人を育てる。

事業者団体調査(秋田県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
秋田県社会福祉協議会	福祉保健施設・事業者等職員新任研修Ⅰ	社会福祉施設(保育所含む)、介護保険施設・事業者、社協の経験2年未満の職員で福祉保健分野以外も含め職務経験がない職員	・福祉サービスの理念と実践 ・仕事の仕組みと手順を学ぶ ・新任職員のメンタルヘルス ・接遇マナーを学ぶ	1回	1カ所	10時間(2日)	144人	0円	145,786円	-
	福祉保健施設・事業者等職員新任研修Ⅱ	社会福祉施設(保育所含む)、介護保険施設・事業者、社協の経験2年未満の職員で福祉保健分野以外も含め職務経験がある職員	・福祉サービスの理念と実践 ・仕事の仕組みと手順を学ぶ ・新任職員のメンタルヘルス ・接遇マナーを学ぶ	1回	1カ所	10時間(2日)	144人	0円	69,207円	-
	福祉保健施設・事業者等職員中堅研修Ⅰ(組織性)	社会福祉施設(保育所含む)、介護保険施設・事業者、社協の職員(経験2年以上5年未満で主任・係長等の役職にない職員)	中堅職員に求められる役割 職場におけるリーダーシップとチームワーク	1回	1カ所	10時間(2日)	102人	0円	204,984円	-
	福祉保健施設・事業者等職員中堅研修Ⅱ(組織性)	社会福祉施設(保育所含む)、介護保険施設・事業者、社協の職員(経験5年以上で主任・係長等の役職にない職員)	中堅職員に求められる役割 中堅職員に求められる組織活動	1回	1カ所	10時間(2日)	128人	0円	183,000円	-
	福祉保健施設・事業者等職員中堅研修(専門性)	社会福祉施設(保育所含む)、介護保険施設・事業者、社協の職員・生活支援員等で職務経験5年以上の者	ICF(国際生活機能分類)の基礎的な理解と当事者中心の「共通言語」としての活用 ICFの視点を生かしたケアスキル・専門性向上の取り組み 対人援助とソーシャルワーク	1回	1カ所	10時間(2日)	85人	0円	330,424円	-
	施設等相談援助職員中堅研修①(専門性)	社会福祉施設(保育所含む)、介護保険施設・事業者、社協、区市町村で利用者、利用家族との相談・面接等を主業務としている職員(相談業務経験2年以上5年未満の者)	社会福祉とカウンセリング 面接技法とコミュニケーション カウンセリングの実際	1回	1カ所	10時間(2日)	64人	0円	160,082円	-
	施設等相談援助職員中堅研修②(専門性)	社会福祉施設(保育所含む)、介護保険施設・事業者、社協、区市町村で利用者、利用家族との相談・面接等を主業務としている職員(相談業務経験5年以上の者)	福祉カウンセリングの実際 効果的な面接を行うために①②	1回	1カ所	10時間(2日)	47人	0円	72,058円	-
	調理技術研修	福祉施設職員で調理に携わっている方	ソフト食を取り入れた高齢者向けメニュー① 幼児向け行事食(アレルギー対応食を含む) スピードクッキング ソフト食を取り入れた高齢者向けメニュー② ソフト食を取り入れた高齢者向けメニュー③	5回	1カ所	3.5時間(1日)	150人	0円	473,000円	-
	認知症介護基礎研修	社会福祉施設、介護保険サービス事業所等で介護経験2年未満	・高齢者保健福祉制度の理解 ・家族の理解・高齢者との関係の理解 ・認知症に関する基礎知識 ・認知症介護の基本理念 ・認知症介護の基本技術 ・コミュニケーション技法 ・研修のまとめ	1回	1カ所	5時間(1日)	76人	会員 6,500円 非会員 7,500円	118,000円	-
	認知症介護実践者研修	社会福祉施設、介護保険サービス事業所等で介護経験2年以上の方	現場における認知症サービスの質の向上等	2回	1カ所	84時間(14日)	203人	25,000円	2,000,000円	-
認知症介護実践リーダー研修	社会福祉施設、介護保険サービス事業所等で介護経験2年以上の方	介護現場におけるリーダーとして求められる指導力の養成等	1回	1カ所	54時間(9日)	37人	25,000円	500,000円	-	
施設等相談援助職員中堅研修②(専門性)	社会福祉施設(保育所含む)、介護保険施設・事業者、社協、区市町村で利用者、利用家族との相談・面接等を主業務としている職員(相談業務経験5年以上の者)	福祉カウンセリングの実際 効果的な面接を行うために①②	1回	1カ所	10時間(2日)	47人	0円	72,058円	-	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
受講定員に対して申込者が多く、受講をお断りするケースが増えている。	自主企画による研修ではニーズの高い研修の実施回数を増やして対応している。(同内容を複数回実施) できるだけ繁忙期に実施しない、同階層対象の研修を同時期に実施しない、他種別団体の研修時期を確認するなど、実施時期に配慮している。	事業所が研修へ派遣しやすいよう費用助成を検討する(キャリア形成助成金の活用など)

事業者団体調査(山形県社会福祉研修センター)

実施主体										
質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他	
山形県社会福祉研修センター	高齢者福祉種別新任職員研修1~2	・高齢者福祉種別施設において勤務年数が2年未満の者 ・現任のホームヘルパーで経験年数が2年未満の者 ・県・市町村社会福祉相談機関の新任職員	「社会福祉の基本理念と従事者の役割」 「社会福祉従事者としての目指すもの」 「対人コミュニケーションを学ぶ」	2回	1カ所	19時間(4日)	296人	-	-	-
	高齢者介護関係職員研修1~4	高齢者介護関係事務所における介護業務担当職員	①高齢者福祉の現状把握と専門的知識・ケアの目的の確認 ②認知症のケアと援助技術 ③コンプライアンスルール策定の意義 ④排泄ケアの重要性・有効性、具体的手法	4回	1カ所	18時間(4日)	465人	-	-	-
	社会福祉施設ケアリーダー研修	社会福祉施設(保育所を除く)において介護・援助業務のリーダー的立場にある者等(平成21年度受講者を除く)	・「組織・職場内の人間関係のあり方」 ・「権利擁護について」 ・「福祉サービスにかかわる苦情解決に向けて」 ・「施設における虐待・成年後見制度について」	1回	1カ所	9時間(2日)	143人	-	-	-
	ホームヘルパー研修1~3、主任	・現任のホームヘルパー ・主任ホームヘルパーまたは主任の業務を担当している者、サービス提供責任者	①サービス提供責任者の責務と教育体制 ②ホームヘルパーの専門性を高める対人援助技術 ③認知症のケアと介護現場での問題点 ④自立を目指す介護技術	4回	1カ所	23時間(5日)	364人	-	-	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
・参加可能な事業所が偏ってくる。各研修とも受講定員を上回り、お断りしなければならない場合が多々みられる。	・独自のメールシステムやホームページを活用し、県内の全対象となる施設・事業所に同じ条件で案内している。 ・1日研修を増やしている。 ・アンケートをもとに参加しやすい時期(月末を避ける等)を設定している。	・各事業所の労務管理や人材育成の重要性の徹底。 ・研修に参加できるだけ十分な人員配置と予算措置。

事業者団体調査(福島県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
福島県社会福祉協議会	リスクマネジメント研修	社会福祉施設でリスクマネジメントを担当する職員。[1施設1名。]	講義「施設事故の現状と安全の基本」 講義・演習「事故発生の背景要因分析」	1回	1カ所	5時間(1日)	182人	2,000円	-	-
	介護福祉士受験準備講習会	平成21年度介護福祉士国家試験を受験しようとする方(200名定員)	障害者福祉論等	1回	1カ所	8日	199人	16,000円	-	-
	社会福祉施設指導的職員研修	社会福祉法人が経営する社会福祉施設(民間保育所を含む)で、主任、係長等の役職にある職員。ただし、全プログラム(3日間)の受講を原則とする。	講義「福祉サービスの理念・動向と指導的職員への期待」等	2回	1カ所	18.5時間(3日)	120人	5,530円	-	-
	職場研修担当職員研修	社会福祉施設において職員研修を担当している者。	講義・演習「これからの福祉人材育成と職場研修」「職場研修の考え方と推進方法①」等	1回	1カ所	11.5時間(2日)	69人	5,040円	-	-
	職場研修担当職員フォローアップ研修	社会福祉施設において職員研修を担当している者	講義・演習「職場研修の考え方と推進方法」等	1回	1カ所	5時間(1日)	45人	2,000円	-	-
	社会福祉施設新任職員研修	社会福祉法人が経営する社会福祉施設(民間保育所を含む)で業務経験2年未満の職員(主として新採用職員、業種・職種は問わない)	講義「福祉サービスの理念・動向と新任職員への期待」等	5回	1カ所	18.5時間(3日)	313人	5,530円	-	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
-	-	-

事業者団体調査(茨城県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
茨城県社会福祉協議会	平成21年度在宅介護指導者研修	社会福祉法人が運営する訪問介護事業所のサービス提供責任者	訪問介護事業所のサービス提供責任者として、従事者やサービス利用者に対する指導・助言・支援を行ううえで、必要とされる専門的知識・技術を身につける。	1回	1カ所	10時間(2日)	17人	-	-	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
-	・平成21年度の在宅介護指導者研修参加対象者が限定され、参加者が少数であり、今年度については、研修内容は変更せず、研修名を変更し、また、参加対象者を拡大し、多くの参加者を募る。	・各種社会福祉施設長等が、研修会の目的を理解していただき、多くの参加者を募ることが必要。

事業者団体調査(栃木県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
栃木県社会福祉協議会福祉人材研修センター	社会福祉施設新任職員研修会(前期)【委託】	新たに社会福祉施設に従事し、経験年数1年未満の職員	講義『県政の動向について』 講義『福祉の仕事に携わって』 講義『対人援助と社会福祉の視点』	高齢分野、障害・児童分野 各1回	1カ所	5時間(2日)	332人	0円	5,873,919円	総事業費は、報告研修以外を含む全委託研修実施にかかる決算額を記載。
	社会福祉施設新任職員研修会(後期)【委託】	社会福祉従事経験年数1年未満の職員で、原則として5月に開催した新任職員研修会(前期)を受講した者	講義「信頼されるスタッフを目指して」 講義・演習「元気に創造 とちぎの福祉～今までの自分とこれからの自分～」	高齢分野、障害・児童分野 各1回	1カ所	5.5時間(2日)	249人	0円	-	-
	社会福祉施設指導監督職員研修会【委託】	社会福祉施設(保育所・行政を除く)、介護保険施設における事務長クラスの間管理職員(施設長、副施設長、公立施設職員は除く)	講義「実践ビジネスコーチングスキル」	1回	1カ所	5時間(1日)	54人	0円	-	-
	平成21年度社会福祉施設中堅職員研修会【委託】	保育所を除く社会福祉施設の職員で、経験年数5年以上かつ主任や係長等、指導監督職位前の中堅職員である者	講義「職場のリーダーシップ」	1回	1カ所	5時間(1日)	52人	-	-	-
	老人福祉施設生活相談員等研修会【委託】	老人福祉施設・介護保険施設の生活(支援)相談員、看護職員、介護職員等	講義・演習「尊厳ある看取りを実践するために」	1回	1カ所	5時間(1日)	103人	0円	-	-
	老人福祉施設機能訓練指導員等研修会【委託】	特別養護老人ホーム及びデイサービスセンターに勤務する、経験年数5年以下の機能訓練指導員または機能訓練指導員としての勤務が予定されている者	講義・演習「施設における機能訓練」	1回	1カ所	5時間(1日)	27人	0円	-	-
	ケースワーク講座【委託】	受講を希望する社会福祉従事者(保育所を除く)	講義「ケースワークの視点を学ぶ」	1回	1カ所	5時間(1日)	142人	0円	-	-
	カウンセリング(コミュニケーション技術)講座【委託】	(1)社会福祉行政職員で相談業務に従事する者 (2)社会福祉施設職員(保育所を除く)で相談業務に従事する者 (3)その他社会福祉関係職員で相談業務に従事する者	講義「カウンセリング研修(基礎)」 講義「カウンセリング研修(応用)」	1回	1カ所	20時間(4日)	39人	0円	-	-
	古武術式介護講座【独自】	老人福祉施設従事者で受講を希望する者	講義・演習「古武術式介護講座」	2回	1カ所	2時間(1日)	83人	2,000円	273,560円	総事業費は、報告研修以外を含む全独自研修にかかる決算額を記載。
フットケア講座【独自】	老人福祉施設または身体障害者施設従事者で受講を希望する者	講義・演習「フットケア講座」	1回	1カ所	4時間(1日)	56人	2,000円	-	-	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
・委託研修について 毎年定員を超える研修があるが、受講料を徴収していないため、予算減の状況において実施回数を増やすことができない。 ・独自研修について 内容による参加人数の予測が難しく、参加しやすいよう受講料を低く設定しているため、謝金が高額となる講師に依頼することができない。	・行事の入りやすい時期を避けて開催する。	・受講料に対する補助

事業者団体調査(千葉県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
千葉県社会福祉研修センター	高齢者福祉施設 新任職員	・高齢者施設職員	正しい基礎知識の習得と、基本的なマナー及び職場におけるコミュニケーションとチームワークを学ぶ。	2回	1カ所	11時間(2日)	229人	6,000円	-	-
	障害者福祉施設 新任職員	・障害者施設職員	正しい基礎知識の習得と、基本的なマナー及び職場におけるコミュニケーションとチームワークを学ぶ。	1回	1カ所	10時間(2日)	88人	6,000円	-	-
	在宅新任職員	・事業所従業者	在宅サービスの利用者理解を深め、職員としての資質と福祉サービスの質の向上に資する。	1回	1カ所	10時間(2日)	55人	6,000円	-	-
	指導的職員Ⅰ	・実務経験3年以上の施設職員	指導的職員に期待される基本的役割を理解し、必要となる知識や技能を学ぶ。	1回	1カ所	5時間(1日)	41人	5,000円	-	-
	指導的職員Ⅱ	・実務経験5年以上の施設職員	記録の意義について学び組織の強化と、利用者支援の向上につなげる。	1回	1カ所	5時間(1日)	90人	5,000円	-	-
	接遇・マナースキルアップ	・施設の指導的職員	施設・事業所での接遇等に関する教育指導者を育成する。	3回	1カ所	5時間(1日)	135人	5,000円	-	-
	リスクマネジメント	・施設介護職員	リスクマネジメントの基本的な考え方を学び、より安全な利用者支援につなげる。	1回	1カ所	5.5時間(1日)	158人	6,000円	-	-
	ストレスマネジメント	・施設指導的職員	福祉職自身のストレスに対するセルフケアと組織内でのラインケアのあり方、対処法を学ぶ。	2回	1カ所	5時間(1日)	75人	5,000円	-	-
	高齢者虐待防止	・施設介護職員	福祉現場や家庭等で起こりがちな事例を通して、虐待防止のための具体策を学ぶ。	1回	1カ所	5時間(1日)	66人	6,000円	-	-
	介護実技	・施設介護職員	移乗・移動など基本的な介護技術を習得する。 (要介護者の理解とコミュニケーションのとり方など)	5回	1カ所	15時間(2日)	140人	8,000円	-	-
	介護技術再点検	・施設介護職員	介護技術の基礎に関する知識及び技能を再点検することにより、適正な介護技術を習得する。	2回	1カ所	5.5時間(1日)	78人	8,000円	-	-
	転倒・転落予防	・施設介護職員	転倒・転落事故に関する対応について、介護及びリハビリの視点から身体のしくみと周辺環境整備を学ぶ。	2回	1カ所	5時間(1日)	175人	6,000円	-	-
	認知症ケア	・施設介護職員	脳と木蠟の基本的知識を基に、BPSD(認知症の疾患)別特徴とケアのポイントを事例を通して学ぶ。	3回	1カ所	10時間(2日)	152人	6,000円	-	-
	施設ターミナルケア	・施設介護職員	終末期における利用者へのケアの実践を学び、家族との関わりなどについて学ぶ。	1回	1カ所	5時間(1日)	89人	5,000円	-	-
	在宅ターミナルケア	・居宅介護職員	終末期における利用者へのケアと家族を支えるための知識・姿勢を学ぶ。	1回	1カ所	5.5時間(1日)	43人	5,000円	-	-
	口腔ケア	・施設介護職員	摂食・嚥下障害の基礎知識をはじめ、食事介助の基礎技術を習得する口腔ケアを学ぶ。	3回	1カ所	4時間(1日)	184人	6,000円	-	-
	救急法基礎	・介護職員	施設内において障害・急病等の事態が生じた際の応急処置などを実践的に学ぶ。	5回	1カ所	4.5時間(1日)	195人	5,000円	-	-
	身体拘束廃止	・施設介護職員	身体拘束廃止を実践するための必要な考え方を学ぶ。	1回	1カ所	10時間(2日)	21人	8,000円	-	-
	感染症対策	・介護職員	感染症対策についての理解を深め、感染症に関する正しい知識を習得する。	1回	1カ所	5時間(1日)	74人	5,000円	-	-
	新人職員福祉入門講座	・新採用職員	新任職員に必要な社会福祉援助技術の知識を学ぶ。 (新任職員の心構え、対人援助の基本姿勢)	1回	1カ所	5時間(1日)	295人	5,000円	-	-
コミュニケーション・対人援助技術	・援助職員	コミュニケーションの基本姿勢と対人援助の基本を学ぶ。	2回	1カ所	10時間(1日)	133人	5,000円	-	-	

事業者団体調査(千葉県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
千葉県社会福祉研修センター	ケースカンファレンス	・施設介護職員	カンファレンスの理論と実践を学ぶ。	2回	1カ所	5時間(1日)	131人	5,000円	-	-
	アクティビティ・サービス	・高齢者施設職員	日常生活援助技術を習得し、より高度な福祉サービスに寄与する。	1回	1カ所	11時間(2日)	24人	10,000円	-	-
	スーパービジョン	・介護支援専門員等	スーパービジョン実践の基礎知識と実践を学ぶ。	1回	1カ所	11時間(2日)	23人	6,000円	-	-
	居宅ケアマネスキルアップ	・介護支援専門員等	介護保険改定のポイントを学び、適正な運用を学ぶ。	2回	1カ所	2.5時間(1日)	192人	6,000円	-	-
	サービス提供責任者	・提供責任者 ・管理者	サービス対象別の適正な事業運営ポイントと登録ヘルパーへの指導・育成手法について学ぶ。	1回	1カ所	10時間(2日)	79人	6,000円	-	-
	医療的行為基礎知識	・施設介護職員等	医療的行為の基本的な知識と理解を深め、業務に必要不可欠な医療知識を実践的に学ぶ。	2回	1カ所	5時間(1日)	141人	6,000円	-	-
	食事サービス	・施設介護職員	食事ケアや食中毒等に関する衛生管理と栄養管理を複合的に学び、介護職員としての食事介護の姿勢について学ぶ。	1回	1カ所	5時間(1日)	88人	6,000円	-	-
	高次脳機能障害	・施設介護職員	具体的な事例を通して、高次脳機能障害に対する正しい知識を習得し、援助のあり方を学ぶ。	1回	1カ所	5.5時間(1日)	116人	6,000円	-	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
福祉従事者の離職等により、質の確保やキャリアパスの構築が難しい。研修への参加目的が、公表や評価対策になっていると感ずることがある。介護実技の研修等が必要だが、環境的にも大人数での実施が困難である。建物(研修センター)の老朽化に伴い、研修を行う快適な環境ではない。	県社協のホームページ等で年間研修計画等を周知している。「研修ネット予約システム」を導入し、24時間体制での申込みを可能とした。福祉の総合知識ではなく、専門性を深める研修企画にシフト(変更)している。今年度より、受講履歴管理の出来る「自己管理カード」を導入した。	応分負担による研修体系では、施設、事業所等の負担が大きく、受講者の知識習得に対する目的や意識・モチベーション等が上がらないように感じる。したがって、公的補助による現行研修体系にし、一定の受講義務を与え、段階的に知識等が習得できるシステム(例えば階級性の導入や、地位の保証など)を構築することにより、離職防止にもなり専門性の高い人材育成に役立つと考える。

事業者団体調査(東京都福祉人材センター)

実施主体 質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他	
東京都福祉人材センター	東京都内介護保険施設・事業所に従事している介護職員	・認知症介護実践者研修	8回	1カ所	6日(職場実習2週間)	660人	-	-	東京都委託研修	
		認知症対応型サービス事業管理者研修	6回	1カ所	2日(他施設実習1日)	321人	-	-		
		小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	4回	1カ所	2日	50人	-	-		
		認知症介護実践リーダー研修	2回	1カ所	8日(他施設実習5日/職場実習4週間)	80人	-	-		
		認知症対応型サービス事業開設者研修	2回	1カ所	1日	32人	-	-		
中堅介護職員のための総合的・専門的・継続的研修	都内高齢者福祉施設において、介護福祉士資格を持ち、新任者を指導する立場にある介護職	熟練者志向のキャリアアップ～新任者に伝える移動介護～	1回	1カ所	5日	52人	-	-	養成機関との共同開催 研修室独自事業	
介護職員スキルアップ研修	東京都内介護保険施設・事業所に従事している介護職員	・医療的知識の必要性について ・高齢者の身体と疾病の特徴 ・状態の観察と緊急時の対応 ・医療的な配慮が必要な利用者等に対するケア ・演習 他	4回	2カ所	3日	600人	-	-	東京都委託研修(都単独事業)	
訪問介護サービス提供責任者研修	港区内の訪問介護事業所サービス提供責任者	・サービス提供責任者の業務理解と訪問介護計画書作成プロセスを確認する ・訪問介護計画書の見直し～モニタリングを中心に支援に活かす	3回	1カ所	3日	109人	-	-	港区委託事業(区単独事業)	
訪問介護事業所における業務の標準化を学ぶ研修	・都内訪問介護事業所を管理・監督する立場の方 ・都内訪問介護事業所で標準化を推進する立場のサービス提供責任者の方	・標準化とは何か ・訪問介護事業所における標準化の必要性 ・自事業所における標準化の取り組み ・実践プラン作成 ・発表 ・まとめ	1回	1カ所	1日	300人	-	-	独自事業	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
-	①介護保険の事務作業の繁忙期を避けるような日程で研修を組むようにしている。(毎月10日の前の数日) ②広域型研修だけでなく、地域型研修(区市町村単位)により地域内の居宅系事業所のための研修の実施へ支援協力を行っている。 ③本会の研修は、受講対象者の業種を限定した一部の研修を除いて、介護職員が受講可能なものとなっている。	常に求められる課題を整理して、研修テーマの設定を行うこと。 キャリアパスシステムの中で、一人ひとりの受講履歴が処遇に反映されるような仕組みを作り上げていくことで、介護職員の参加を促す。 施設や事業所による研修体系の構築とその実施が、介護報酬に反映されるような仕組みづくり。

事業者団体調査(神奈川県社会福祉協議会・神奈川県社会福祉事業団)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
神奈川県社会福祉協議会	スキル基本研修(介護系)	介護職員(実務経験1年未満)	①対人援助職としての基本姿勢 ②チームケア(1)(2) ③介護基本技術	1回	1カ所	18時間(3日)	延べ144人	-	-	-
	スキル向上研修	介護職員(実務経験概ね3年程度)	①介護職としての基本姿勢 ②チームケア ③介護技術演習	1回	1カ所	18時間(3日)	延べ120人	-	-	-
	現任者研修	福祉施設従事者	①社会福祉の動向②利用者の権利擁護の考え方 ③福祉従事者としての基本姿勢・理念 ④人材育成の仕組みの理解⑤記録の意義と役割⑥どう活かすキャリアパス	21回	1カ所	245時間(42日)	延べ2,243人	-	-	-
神奈川県社会福祉事業団	認知症介護実践者研修	介護保険施設・事業所等(介護老人福祉施設・介護老人保健施設・認知症対応型共同生活介護事業所・特定施設入居者生活介護事業所等)で実務経験2年以上の介護職員等。	高齢者介護実務者に対し、認知症高齢者の介護に関する実践的研修を実施すること、また認知症介護を提供する事業所を管理する立場にある者等に対し、適切なサービスの提供に関する知識等を修得させるための研修を実施することにより、認知症介護技術の向上を図り、認知症介護の専門職員を養成し、認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図る。	3回	5カ所	6日間(36時間)+他施設実習1日+職場研修4週間+実習のまとめ1日	242人	-	-	-
	認知症介護実践リーダー研修	介護・看護におけるチームリーダーの立場にある者で、介護業務に概ね5年以上従事した経験を有し、実践者研修を終了し、1年以上経過している者	高齢者介護実務者及び指導的立場にある者に対し、認知症高齢者の介護に関する実践的研修を実施することにより、認知症介護技術の向上を図り、認知症介護の専門職員を養成し、認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図る。	2回	3カ所	10日間(63時間)+他施設実習3日+職場研修4週間+実習のまとめ3日	75人	-	-	-
	認知症対応型サービス事業管理者研修	認知症対応型サービス(認知症対応型通所介護事業所・小規模多機能型居宅介護事業所・認知症対応型共同生活介護事業所)の管理者(予定者)	指定認知症対応型サービス事業所で管理者として従事することを予定している者を対象に、指定認知症対応型サービス事業所を円滑に管理・運営するための研修を実施することにより、必要な知識・技術をもった指定認知症対応型事業所の管理者を養成し、認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図る。	3回	2カ所	講義6時間×4日	87人	-	-	-
	小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	小規模多機能型居宅介護事業に勤務する計画作成担当者(予定者)。	指定小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成担当者(介護支援専門員)として従事している者及び従事することを予定している者を対象に、利用登録者に関する居宅介護支援計画や指定小規模多機能型居宅介護事業所における小規模多機能型居宅介護計画を適切に作成する上での研修を実施することにより、必要な知識・技術をもった計画作成担当者を養成し、認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図る。	3回	2カ所	講義6時間×4日	23人	-	-	-
	認知症介護基本講座	介護保険施設・居宅サービス・訪問通所等に従事する介護職員で概ね実務経験5年未満の者。	現任者研修体制の中核をなす認知症介護実践者研修をより広く、認知症介護実務者に、基礎的な知識を習得する機会を提供する。また、受講参加者が利用者中心の介護とは何か、何故知識が必要かを考える。	1回	1カ所	6時間×1日	243人	-	-	-
	福祉講演会	一般県民、民生委員、福祉関係者、介護保険事業者等	一般県民へのスピリチュアル・ケアに関する知識啓発等や医療・福祉関係者等への看取り介護に関する基本的な知識を習得する機会を提供し、尊厳ある終末期の向上に寄与する。	1回	1カ所	3時間×1日	167人	-	-	-
	家庭介護教室	一般県民、民生委員、福祉関係者、介護保険事業者等	一般県民の方へ広く高齢者保健福祉制度及び介護保険制度の普及を図る。	5回	5カ所	1日目(3時間)+2日目(3時間)×5回=30時間	251人	-	-	-
	福祉の仕事セミナー	高校生(福祉の仕事に就きたい者、福祉に関心をもっている者)	福祉の専門職を招き、体験談を交えた座談会を行う。また、特別養護老人ホームの見学、高齢者とのふれあい、同じ目標を持った仲間との交流を通して、福祉の仕事を具体的なイメージとして考えられる機会を提供する。	1回	1カ所	6時間×1日	31人	-	-	-

事業者団体調査(神奈川県社会福祉協議会・神奈川県社会福祉事業団)

実施主体 質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。											
1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他		
神奈川県社会福祉事業団	高校生介護体験教室	高校生	福祉ボランティア活動の位置付け、福祉の心やボランティアの心を育てる。	3回	1カ所	6時間×12日	20人	-	-	-	
	身体拘束廃止推進モデル施設養成研修	介護老人福祉施設、介護老人保健施設、認知症対応型共同生活介護事業所及び特定施設入居者生活介護事業所のうち、各団体等の推薦を踏まえ、13施設程度選出し、当該施設の施設長及び管理者並びに介護職員等(1施設2～5名程度)	各地域における中核的施設において、実践的な取り組みを実施するため、各地域の中核となる身体拘束廃止推進モデル施設を養成する。	1回	1カ所	講義・演習(6時間)×4日間+意見交換1日	47人	-	-	-	
	高齢者の権利擁護に関する研修	介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設入居者生活介護事業所及び地域密着型サービス事業所の職員及び併設されている居宅系事業所の職員。	高齢者の尊厳と認知症の介護を通じて高齢者虐待を防ぐために介護施設を利用されているご本人、ご家族の声を受け止め、適切なケアをすることができる介護施設や介護職員に必要な専門性について考える。	1回	1カ所	4時間×1日	422人	-	-	-	
	介護相談活動推進事業等研修	介護相談推進事業を実施する介護相談員及び認知症コールセンター事業を実施するコールセンター相談員等、介護相談活動を行っている者。	講義・演習等により相談事業を通じて、介護サービスの相談窓口として、適切な対応が実践できる人材を養成し、相談員自らのメンタルヘルス対策等を推進するための知識を習得する。	1回	1カ所	3.5時間×1日	223人	-	-	-	
	尊厳を支えるケアワーク研修	高齢者の介護の実務経験が概ね3年～5年未満の者	高齢者の尊厳を支える生活支援をしていくために必要な知識及び技術を習得する。	1回	1カ所	6時間×1日	55人	-	-	-	
	暮らしを支える介護福祉講座	一般企業の従業員、家族	介護が必要な状態になったとき、介護施設を利用する事を心配と思ったときには、どのようにすればよいのか、そのような時に備えての必要な知識やよりよい介護サービスを利用することを学ぶ。	1回	1カ所	1.5時間×1日	20人	-	-	-	
	介護職員の認知症介護基礎講座	高齢者の介護の実務経験が概ね5年未満の者	認知症介護のこれまでを振り返り、認知症の人の立場から視点を捉える。その人本来の姿を理解し、真のニーズを見極める。また、認知症介護のある場面を考え、認知症の人を介護するうえで大切なことを学ぶ。	1回	1カ所	4時間×1日	388人	-	-	-	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。	
社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> 体系的な研修の実施(キャリアパスに対応する研修枠組みの必要) 研修ニーズの把握、研修効果の把握(階層ごとに求められるもの) より参加しやすい日程、時間の設定 	<ul style="list-style-type: none"> 日程設定の工夫 本会ホームページにおける研修案内・研修シラバスの提供 	資格取得に向けた補助制度の促進 研修参加のための休みを柔軟に取得できるようにする
神奈川県社会福祉事業団	事前の会場がないため、研修の実施に苦慮している。	年間計画で同じ研修を複数回(年→複数回、1日→昼・夜など)実施している。 研修内容をインターネットなどに掲載している。	地域に区分けした研修支援が必要。

事業者団体調査(新潟県社会福祉協議会)

実施主体 質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
新潟県社会福祉協議会	新任職員研修	職務経験2年未満の処遇職員	「社会福祉の理念・動向」「福祉サービスの実践」等	1回	1カ所	2日	478人	-	-	-
	中堅職員基礎研修	職務経験2年以上で主任・係長の職にない処遇職員	「社会福祉の理念・動向」「福祉サービスの実践」等	3回	1カ所	2日	447人	-	-	-
	中堅職員専門研修	職務経験5年以上で主任、係長の職にない処遇職員	「社会福祉の理念・動向」「福祉サービスの実践」等	3回	1カ所	2日	408人	-	-	-
	指導的職員研修	主任、係長、事務長の役職にある者	「社会福祉の理念・動向」「能力開発」等	2回	1カ所	2日	271人	-	-	-
	施設運営管理者研修	理事長・施設長等の役職にある者	「国及び県行政の動向」「これからの社会福祉法人の経営について」	2回	1カ所	2日	264人	-	-	-
	職場研修担当職員研修〔初級コース〕	職場研修担当者〔初級〕	「これからの福祉人材育成と職場研修」「職場研修の考え方と推進方法」等	1回	1カ所	2日	128人	-	-	-
	職場研修担当職員研修〔中級コース〕	職場研修担当者〔中級〕	「OJT活性化施策の推進」「意図的・計画的指導の推進」等	1回	1カ所	2日	92人	-	-	-
	社会福祉研究発表会	施設関係職員	基調講演「新しい時代の福祉と施設職員の役割」、研究発表「従来型特養における個別ケアの実践について」等	1回	1カ所	1日	255人	-	-	-
	リスクマネジメント研修	職場経験5年以上の職員で指導的立場にある者	講義・演習「リスクマネジメントの基本と価値観診断」、演習「ケース討議とグループシンク」	1回	1カ所	1日	100人	-	-	-
	スーパーバイザー養成研修	職務経験5年以上の職員で指導的立場にある者	講義「スーパービジョンの基礎理論」、演習「自己覚知と他者理解」等	1回	1カ所	3日	49人	-	-	-
	コミュニケーションスキルアップ研修	職務経験2年以上の職員	講義・演習「『介護体験から語る』介護実践におけるコミュニケーションの特性」、講義・演習「コミュニケーションによるケアの技法」	2回	1カ所	2日	391人	-	-	-
	接遇研修〔初級コース〕	職務経験2年未満の職員	講義「接遇の基本～福祉サービスの心構えとマナー」、講義・演習「職場における実践マナー」	2回	1カ所	1日	214人	-	-	-
メンタルヘルス研修	施設関係職員	実践報告「『心の悩み』等の相談機関について」講義「職場のメンタルヘルス」	1回	1カ所	1日	163人	-	-	-	
質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。			質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。			質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。				
-			-			-				

事業者団体調査(富山県社会福祉協議会)

実施主体 質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他	
富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ	新任職員研修	新任の社会福祉事業従事者(原則として勤務年数1年未満の者)	講義・演習	4回	1カ所	13.5時間(2日)	385人	-	-	-
	中堅職員研修	社会福祉事業に従事する経験年数3~5年で主任、係長等の役職についていない者	講義・演習	1回	1カ所	13.5時間(2日)	89人	-	-	-
	中堅職員フォローアップ研修	社会福祉事業に従事する経験年数6年以上で主任、係長等の役職についていない者	講義・演習	1回	1カ所	13.5時間(2日)	86人	-	-	-
	指導的職員研修	社会福祉事業に従事する主任、係長等の役職にある者	講義・演習	1回	1カ所	13時間(2日)	86人	-	-	-
	介護福祉士養成研修(講義)	介護福祉士の国家資格の取得を目指す者	講義	1回	1カ所	42時間(7日)	116人	-	-	-
	介護福祉士養成研修(実技)	介護福祉士国家試験の筆記試験合格者で、平成22年3月実施の介護福祉士国家試験の実技試験を受験する者	実技	7回	1カ所	6時間(1日)	189人	-	-	-
	サービス提供責任者	指定訪問介護事業所におけるサービス提供責任者	講義・演習	1回	1カ所	16.5時間(3日)	69人	-	-	-
	ホームヘルパー技術講習会	現在の訪問介護員であって、介護福祉士、介護養成研修1級課程又は2級課程研修修了者	講義・演習・演習	3回	1カ所	12時間(2日)	135人	-	-	-
	富山型デイサービス職員研修	富山型デイサービス施設の職員	講義	2回	1カ所	12時間(2日)	80人	-	-	-
	障害者(児)ホームヘルパー等養成研修	①ホームヘルパー(訪問介護員)養成研修1、2級課程修了者及び介護福祉士 ②障害者(児)ホームヘルパーとして現に活動している者又は今後活動しようとしている者(サービス提供責任者を含む)	講義・実習・演習	1回	1カ所	17時間(3日)	26人	-	-	-
	移動支援従業者研修(視覚障害者課程、全身性障害課程)	県内の障害者自立支援法上の指定(または基準該当)居宅介護事業所に勤務しているホームヘルパー(訪問介護員)養成研修1、2級課程修了者又は終了予定者及び介護福祉士	講義・実習	1回	1カ所	14時間(3日)	48人	-	-	-
	行動援護従業者養成研修	①ホームヘルパー1級又は2級課程修了者、介護福祉士で知的障害者(児)又は精神障害者の直接支援業務に1年以上従事した者 ②県内の指定居宅介護事業所、指定児童デイサービス事業所、指定相談支援事業所又は知的障害者入所施設等に勤務している者	講義・演習	1回	1カ所	19.5時間(3日)	31人	-	-	-
	認知症ケア研修	介護老人福祉施設及び介護老人保健施設で3年以上勤務する介護職員	講義・演習	1回	1カ所	11時間(2日)	68人	-	-	-
リスクマネジメント研修	介護老人福祉施設及び介護老人保健施設で3年以上勤務する介護職員	講義・演習	1回	1カ所	11時間(2日)	65人	-	-	-	
介護職員記録研修	介護老人福祉施設及び介護老人保健施設で勤務する介護職員	講義・演習	1回	1カ所	5.5時間(1日)	51人	-	-	-	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
<ul style="list-style-type: none"> 講師の選定 講師情報の不足、中央との講師数の差 受講料 予算とのバランス 研修ニーズの把握 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所が職員を研修に送り出すときに、勤務のシフトを組みやすいよう、研修開催の案内・受講決定は時間的な余裕を持って行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員を研修に参加させる際に、代替職員を雇用できる制度の継続

事業者団体調査(石川県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
石川県社会福祉協議会	福祉施設等共通階層別(組織編)職員研修	社会福祉施設職員	福祉施設職員のその経験年数、職位などに合わせ、新任、中堅、指導的職員、指導的実践編、施設長運営管理研修などを実施している。	20回	1カ所	14時間(2日)	734人	-	-	-
	対人援助技術講座(基礎編)	老人、障害施設の生活相談員、介護職員等	福祉(生活支援)の専門職としての土台となる価値・倫理及び基本的な知識について学ぶ。参加者個々が新たな学びや作業によって、実践現場への効果的な反映と、専門職としてのスキルアップを図る。	1回	1カ所	36時間(6日)	58人	-	-	-
	対人援助技術講座(フォローアップ編)	過去に対人援助技術講座(基礎編)を受講した者	基礎的研修終了後の実践を振り返りながら、その効果と課題を検証しつつ、専門職としてのステップアップを図ること。また、専門職としての個人とチーム・組織を意識したポジションに視点を置くことで、支援実践から事業運営を視野に入れた実践活動能力を養う。	1回	1カ所	12時間(2日)	24人	-	-	-
	対人援助技術講座(指導者養成研修)	基礎研修及びフォローアップ研修を経て、職場や地域における指導者として主体的な活動を目指す専門職	自己を振り返り、高めていくと同時に、指導者として必要な様々な知識や技術を習得する。また、実践現場における課題等の検証を行い、これからの実践活動につなげる。	1回	2カ所	54時間(9日)のうち3~4日程度	12人	-	-	-
	社会福祉施設介護福祉士医療行為等研修	社会福祉施設等に勤務する介護福祉士	介護福祉士が「行ってはいけない行為」を学び、「行える行為(医療外行為)」について、対象の特徴に応じた適切な知識・技術について習得する。	2回	1カ所	28時間(4日)	112人	-	-	-
	老人施設職員階層別研修(技術編)新任職員研修	老人施設で勤務経験3年未満の介護職員	介護者として必要な基本的な心構えや介護技術を習得するとともに、事例検討の意義及び留意点について学ぶ。	1回	1カ所	18時間(3日)	38人	-	-	-
	老人施設職員階層別研修(技術編)中堅職員研修	老人施設で勤務経験3年以上の介護職員	介護者に必要とされる対人援助の視点を習得するとともに、課題研究をとおして日常の介護技術を再確認する。	1回	1カ所	18時間(3日)	42人	-	-	-
	老人施設職員階層別研修(技術編)指導的職員研修	老人施設の指導的介護職員	介護者として必要となる援助の視点を再確認するとともに、指導的職員としてのチーム実践の視点と技法を学びリーダーとしての自覚を促す。	1回	1カ所	18時間(3日)	22人	-	-	-
	社会福祉施設職員テーマ別課題研修「社会福祉施設等における介護職員の医行為に関する知識と技術について」	社会福祉施設の介護職員	「行ってはいけない行為」を学び「行える行為(医療行為以外)」について、特徴に応じた適切な知識・技術について講義・演習を通して学ぶ。	1回	1カ所	5時間(1日)	58人	-	-	-
	介護実習指導担当者等スキルアップ研修	介護実習生受入担当者、介護現場での新任職員教育担当者	これからの福祉人材を育成する実習生受入れ体制を整備するため、介護実習生の受け入れ担当者、及び、介護現場での新任職員教育担当者として必要な視点や知識を習得する。	1回	1カ所	6時間(1日)	42人	-	-	-
	職場内研修担当者研修(基礎編・実績編)	社会福祉施設の職場内研修担当者	福祉の職場における人材育成の意義や方向性、職場研修の基本的な考え方、仕組みや推進の手順を習得する。	2回(隔年で基礎編2回、基礎編1回と実践編1回)	1カ所	18時間(3日)	38人	-	-	-
	認知症介護実践研修(①実践者研修②実践リーダー研修)	県内の介護保険施設・事業所で認知症介護に携わっている介護職員等で①実務経験年数が2年以上②「実践者研修」を修了して1年以上経過しており実務経験年数が5年以上の者	①認知症高齢者の自立した生活を支援するために求められる認知症介護の知識と技術、介護現場での実践力の習得 ②実践者研修で得られた知識・技術をさらに深め、介護現場において効果的・効率的なチームケアを担うことができる指導者の育成	①3回 ②1回	1カ所	①26.5時間+実習等4日(11日) ②55.5時間+実習等19日(27日)	①177人 ②28人	-	-	-
	福祉施設におけるケア事故予防研修	高齢者・障害者福祉施設の介護現場におけるリスクマネジメント担当者	利用者の安全対策を中心としたリスクマネジメント体制を整備するための知識、手法について講義・演習を通して学ぶ。	1回	1カ所	12時間(2日)	59人	-	-	-
老人福祉施設職員研究会議デイサービスセンター職員研修会	介護、看護職員他	介護保険制度の動向 介護事例の研究発表 介護に必要な感性 メンタルヘルス 等	1回	1カ所	10時間(2日)	150人	-	-	-	

事業者団体調査(石川県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
石川県社会福祉協議会	平成21年度石川県介護福祉士会初任者研修	介護福祉士国家資格を取得して概ね3年以内の者	介護福祉士として身に着けなければならない介護理念・技術等の習得(講義・実技)	1回	1カ所	21時間(3日)	18人	-	-	社団法人日本介護福祉士会が実施する、47都道府県支部共通科目
	平成21年度石川県介護福祉士会課題別研修	石川県介護福祉士会会員・一般県民・学生等	「介護リーダーに欠かせないコミュニケーションスキル」「介護福祉士に求められる医療行為」等と題した講演	2回	1カ所	3時間(1日)	219人	-	-	-
	平成21年度石川県介護福祉士会実習指導者特別研修	石川県介護福祉士会会員・介護職従事者等	介護福祉士養成施設からの介護福祉士取得を目的とした実習受け入れ条件を満たすため、実習施設Ⅱに課せられた研修(講義・演習)	4回	2カ所	25時間(4日)	207人	-	-	-
	平成21年度石川県介護福祉士会第2回公開セミナー	石川県介護福祉士会会員・介護職従事者等	「癒しのメンタルヘルスケア『この不思議なもの ころころ～苦しむころころ、幸せなころころ～』」と題した講演	1回	1カ所	1.5時間(1日)	48人	-	-	-
	主任ホームヘルパー研修会	主任、係長クラスのホームヘルパー、サービス提供責任者	サービス提供者の役割として、相談援助技術を習得し、ホームヘルパーの指導者を養成する	1回	1カ所	5時間(1日)	72人	-	-	-
	ブロック別研修会	現任のホームヘルパー	現場の実態に応じた、基本的な介護技術を再確認する	2回	2カ所	6時間(2日)	78人	-	-	-
	訪問介護計画作成・展開研修会	サービス提供責任者、現在のホームヘルパー	ホームヘルパーが仕事を楽しむために～サービス提供責任者が一歩進んだ自らの役割を実行する～として、記録の書き方など、個別に事例演習を行う	2回	2カ所	10時間(2日)	75人	-	-	-
	現任研修会	現任のホームヘルパー	医療行為におけるホームヘルパーのかかわりとして、訪問介護の基本を再確認し、生活支援のあり方について学ぶ	1回	1カ所	2時間(1日)	69人	-	-	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
<ul style="list-style-type: none"> ・研修参加者が少ないこと ・多くの介護職員が月ごとのシフト勤務で就労しているため、研修日時の設定、研修開催の周知について、講師の日程調整、事務局の業務多忙等により、早めの周知ができない状態にある。 ・ホームヘルパーは、シフト勤務で就労している為、研修会が平日に開催されると、仕事を休んで参加することになる。休んでまで、研修会に参加するホームヘルパーが少ない。講師との日程調整がうまくいかず、研修会の周知が遅れてしまう。 ・研修開催案内については、全会員への郵送の他、会のホームページへのアップロードや、福祉施設へのファクシミリ送信等の手段を用いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに年間の研修計画、各研修の目的、主な内容、参加対象、開催期日などを掲載した「研修概要」を法人や施設に配布し、周知している。 ・県社会福祉協議会の広報誌に掲載期日などを掲載し、広報している。 ・各種協議技会、部会などの総会で参加の呼びかけをしている。 ・参加が少ないと見込まれる研修について、他の研修で、開催要綱を配布し、PRしている。 ・研修開催案内については、全会員への郵送の他、会のホームページへのアップロードや、福祉施設へのファクシミリ送信等の手段を用いている。 ・研修会案内を県内の訪問介護事業所全てに郵送で案内し、ホームページからも申込み出来るようにしている。 ・参加費を徴収せず、会員・非会員が参加しやすいようにしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の研修受講に対する理解(具体的には、出張扱い、有給休暇扱い等) ・人手不足で研修に参加できないという事業所もあると聞いており、介護職員の人的確保がなされることが重要と考えている。このため、福祉施設への就労の斡旋、介護職員の給与の引き上げと待遇の改善などの施策、支援をこれまで以上に、国、地方公共団体がすべきである。 ・訪問介護事業所から、各研修会に参加する場合、休みではなく、給料が支払われる様なシステムにする。

事業者団体調査(福井県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
福井県社会福祉協議会	福祉職員生涯研修 新任職員研修 課程Ⅰ	県内社会福祉事業所に勤務する業務経験が3年未満の職員	福祉サービスの理念と動向 新任職員の役割行動 福祉サービスの実践Ⅰ 職場生活の基本動作	2回	2カ所	11.5時間	145人	-	-	-
	福祉職員生涯研修 新任職員研修 課程Ⅱ	県内社会福祉事業所に勤務する実務経験が3年未満の職員	組織活動の基本 コミュニケーションの基本 問題解決とチームワーク 自己啓発の基本	2回	2カ所	12時間	129人	-	-	-
	福祉職員生涯研修 中堅職員研修 課程Ⅰ	県内社会福祉事業所に勤務する業務経験が概ね3年以上で、主任・係長等の役割にない職員	福祉サービスの理念・動向と中堅職員への期待 中堅職員の役割行動 職場の問題解決 創意工夫と企画提案	1回	1カ所	11.5時間	69人	-	-	-
	福祉職員生涯研修 中堅職員研修 課程Ⅱ	県内社会福祉事業所に勤務する業務経験が概ね3年以上で、主任・係長等の役職にない職員	コミュニケーションの展開 チームワークの促進 職員指導・育成の基本 自己啓発・相互啓発の促進	1回	1カ所	12時間	73人	-	-	-
	福祉職員生涯研修 指導的職員研修	県内社会福祉事業所に勤務する係長、主任等のチーム・部門で指導的な役割を担う職員	部門の問題解決・課題形成・改善革新 リーダーシップの基本 職員指導・育成の展開 専門性と指導性の自己啓発	1回	1カ所	12.3時間	80人	-	-	-
	効率的な施設運営のための業務改善研修	社会福祉事業所等の運営管理業務を行う職員及び主任クラスの職員等	業務改善の必要性・基本 職場の問題発見と課題設定 業務改善の手法と進め方 業務改善実行プランの立案 事例紹介(QC活動、自己変革など)	1回	1カ所	5時間	48人	-	-	-
	人材育成のためのコーチング研修	県内社会福祉事業所の管理職員、指導職員等	コーチングの理念と原則等 傾聴、質問、確認、共感、承認、提案等の技術 職場内実習の検討 今後の職場内活用のための実習	1回	1カ所	10時間	42人	-	-	-
	接遇指導者養成研修	職場内研修の担当職員または指導的職員	組織人として接遇動作とサービス提供姿勢 身につけるべきマナーの理解と実践手法 対応マナーのあり方と実践手法 職場内における接遇指導展開のあり方と留意点	1回	1カ所	10時間	48人	-	-	-
	接遇指導者養成研修	職場内研修の担当職員または指導的職員	組織人として接遇動作とサービス提供姿勢 身につけるべきマナーの理解と実践手法 対応マナーのあり方と実践手法 職場内における接遇指導展開のあり方と留意点	1回	1カ所	10時間(2日)	48人	-	-	-
	福祉のレクリエーション研修	県内社会福祉事業所(老人・障害福祉施設等)に勤務する職員	レクリエーションの基礎知識 目的にあわせたレクリエーション・ワーク 対象にあわせたレクリエーション・ワークとアレンジの技術	1回	1カ所	6時間	59人	-	-	-
	緊急時における救急法研修	県内社会福祉事業所に勤務する職員	赤十字救急法について 一次救命処置・観察、保温救急員について 一次救命措置・赤十字救急法 急病、けが、きずの手当 骨折の手当 搬送・救護 実技および学科	2回	2カ所	21時間	66人	-	-	-
センター方式研修	県内社会福祉事業所(老人・障害福祉施設等)に勤務する職員	センター方式で学ぶこれからの認知症ケア 利用者本位のケア マネジメント実現 センターの特徴と使い方の実践	1回	1カ所	10時間	46人	-	-	-	

事業者団体調査(福井県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
福井県社会福祉協議会	小規模多機能型居宅介護におけるケアマネジメント研修	認知症介護実践研修 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修受講者または受講予定者	小規模多機能ケアの視点 地域での暮らしを支える 地域での暮らしを支える事例から学ぶ	1回	1カ所	10時間	12人	-	-	-
	認知症介護実践研修(実践者研修)	・介護保険施設・事業所等に勤務し、身体介護に関する基本的知識・技術を習得しており、かつ介護実務経験が2年以上で、当該施設・事業所長から推薦された者 ・認知症対応型共同生活介護事業所の計画作成担当者になることが予定される者	福祉専門職に必要な認知症介護の理念及び基本的知識・技術	2回	2カ所	126時間	155人	-	-	-
	認知症介護実践研修(認知症対応型サービス事業管理者研修)	指定認知症対応型通所介護事業所、指定小規模多機能型居宅介護事業所または指定認知症対応型共同生活介護事業所の管理者になることが予定される者であって、認知症介護実践研修における実践者研修(旧基礎課程を含む)を修了している者。	福祉専門職に必要な認知症介護の理念及び基本的知識・技術	2回	2カ所	8時間	75人	-	-	-
	認知症介護実践研修(小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修)	指定小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成担当者になることが予定されている者であって、認知症介護実践研修における実践者研修(旧基礎課程を含む)を修了している者	福祉専門職に必要な認知症介護の理念及び基本的知識・技術	2回	2カ所	5.3時間	36人	-	-	-
	認知症介護実践研修(認知症対応型サービス事業開設者研修)	指定小規模多機能型居宅介護事業者または指定認知症対応型共同生活介護事業者の代表者になることが予定されている者	福祉専門職に必要な認知症介護の理念及び基本的知識・技術	2回	2カ所	16.75時間	16人	-	-	-
	認知症介護実践研修(実践リーダー研修)	指定小規模多機能型居宅介護事業者または指定認知症対応型共同生活介護事業者の代表者になることが予定されている者	認知症介護の理念の介護現場での実践、ケアチームを効果的・効率的に機能させるための養成	1回	1カ所	241時間	55人	-	-	-
	平成21年度アセスメント研修「居宅サービス計画ガイドライン方式」	介護支援専門員実務研修・再研修受講者等	講義「居宅サービス計画ガイドラインの使い方」 演習「各種様式の作成演習～フェイスシートから居宅サービス計画書まで～」	1回	2カ所	2時間40分	139人	-	-	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
研修講師の発掘、養成と確保 広い駐車場を備えた研修会場の確保 研修受講の必要性の理解促進(現状で満足している事業所にどのような研修参加を促すか。) 研修効果の評価(受講後の変化の把握がしにくい) 他の研修開催機関との棲み分け(役割分担)	連続しての開催日設定はなるべく避ける。 参加しやすいような研修開催日を考慮する。 参加申し込み状況に応じ、年度内に複数回開催の実施 HPでの記載や事業所への文書案内はもとより、様々なキャリアの職員に案内が行き渡るよう研修受講者に他の研修も案内する。	参加者のニーズ把握とそのニーズに応じた研修の企画立案 キャリアごとの到達目標を明示し、スキルアップを促す(チェックシートの作成) 施設管理者(派遣提示者)の意識改革(人材育成を図る上での研修受講の大切さとキャリアごとの到達目標や必要スキルの認識を促す。) 職員の受講履歴の整備と管理。(カードを作成し、受講必要研修の明示)

事業者団体調査(山梨県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
山梨県社会福祉協議会	介護福祉士養成支援研修	①3年以上介護等業務従事経験者 ②高等学校等の専攻科において、所定の教科の履修者 ③将来国家試験受験予定者	学科(10日間・16科目)、実技(2日間)、模擬試験(2回)	1回	1力所	12日	72人	28,000円	2,044,000円	-
	社会福祉施設主任介護職員研修	主任介護職及び指導的立場にある職員	・職員指導育成の展開 ・福祉の人材育成と職場研修の意義	1回	1力所	5時間(1日)	71人	0円	63,000円	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
受験資格制度の変更に伴う研修内容(科目)の改正を検討	特になし	特になし

事業者団体調査(長野県社会福祉協議会)

実施主体 質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。

1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間 実施回数	5 実施力 所数	6 時間数 (期間)	7 年間 受講者数	8 費用 (1人当 たり)	8 費用 (総事業 費)	9 そ の他
長野県 社会福 祉協議 会 介護職員スキルアップ研修 (実技)	福祉施設・事業所の介護職員	介護職員を対象に介護技術を高め、より良い介護を目指すことにより、利用者へのサービス向上を図る。 長野県介護福祉士会に依頼して、介護技術の基本について講習を行っている。	4回	2カ所	6時間	242人	-	-	-
介護職員スキルアップ研修 (講義)	福祉施設・事業所の介護職員	介護職員を対象に介護の知識を身につけ、より良い介護を目指すことにより、利用者のサービス向上を図る。 介護記録の意義や方法について、講義を行った。	2回	2カ所	4時間30分	446人	-	-	-
高齢者施設職員研修	高齢者施設・事業所の中堅職員(主に 介護職員を対象)	高齢者施設の中堅職員を対象に必要な知識と技術を高め、利用者へのサービス向上を図る。「利用者の安全・安心を考える」をテーマに講義、鼎談、グループ討議、全体会を行った。	4回	2カ所	4時間10分	563人	-	-	-
小規模施設管理者研修	小規模施設(宅老所・小規模多機能 居宅介護・グループホームなど)の管理 者等	小規模施設・事業所の管理者を対象に管理職の役割やマネジメントについて理解を深め、施設運営の方法及び職場環境の整備など利用者へのサービス向上を図る。 小規模施設における「労務管理の重要性について」をテーマに講義及び対談を行った。	4回	4カ所	3時間	215人	-	-	-
小規模ケア施設スタッフ研修	小規模ケア施設(宅老所、グループ ホーム、共同作業所等)の職員	1日目に、地域における小規模施設の役割や利用者ケアについて学び、2日間、他施設での現場実習を行ったあと、4日目には演習を中心に、現場実習の振り返りや今後の小規模施設のケアについて考えた。	4回	4カ所	9時間55分(1・4 日目分)	225人	-	-	-
社会福祉施設看護師研修	福祉施設・事業所の介護職員事業所の 看護師	社会福祉施設事業所の看護師を対象に専門職の知識や役割を理解し、利用者へのサービス向上を図る。 「看護職と介護職の連携・協働について」をテーマにしたため介護職員の参加があった。	1回	1カ所	4時間30分	222人	-	-	-
障害者施設職員研修	障害者施設・事業所の中堅職員	障害者施設の中堅職員を対象に利用者の視点に立った知識と技術を身につけ、利用者へのサービス向上を図る。 県内で活躍されている2人の講師による講義演習を行った。	2回	2カ所	5時間	88人	-	-	-
地域福祉推進研修	市町村福祉担当職員、市町村社会福祉 協議会職員、福祉施設職員、自治会関 係者、民生・児童委員、ボランティア・ NPO団体関係者 等	認知症地域支援体制づくりに取り組む長野県飯綱町と、「認知症徘徊模擬訓練」に取り組んだ同県大桑村。二つの事例をもとに、民生児童委員、施設関係者、行政・社会福祉協議会職員等の参加者が、具体的な取り組みの進め方について意見交換を行った。	2回	2カ所	4時間40分	412人	-	-	-
職場研修担当職員研修	社会福祉施設・市町村社会福祉協議会 の研修担当職員	キャリアパスについて、施策の動向等について学ぶとともに、人材育成や事業展開への反映について、講義が行われた。 また、社会福祉施設における安全衛生対策について講義・演習を行い、自職場におけるリスクマネジメントの推進について理解を深めた。	1回	1カ所	4時間30分	85人	-	-	-
社会福祉施設新任職員研修	原則として、経験年数1年未満の社会福 祉施設等に従事する新任職員(嘱託・臨 時職員を含む)	先輩職員による体験談をはじめ、対人援助の基本姿勢および接遇や、地域、福祉、専門職の考え方、さらには福祉サービスの根幹を成すコミュニケーション等、新任職員として学ぶべき事項について習得した。	2回	2カ所	10時間30分(2 日)	802人	-	-	-
高齢者施設・障害者施設リ ーダー研修	高齢者施設・障害者施設の指導的職員 等	高齢者施設・障害者施設のリーダーに求められる役割・責任、組織の活用方法について理解を深めるとともに、職場における課題発見の着眼点と解決のための実践手法を習得した。	1回	1カ所	5時間10分	187人	-	-	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
<ul style="list-style-type: none"> 介護職員といっても経験年数も違い、施設・事業所の規模も違う中で、同じ内容の研修を行わざるをえない。 本会の研修体制では1日の研修が中心になってしまう。 キャリアパスに対応した研修体系の構築について 他研修実施機関との連携や情報の収集。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設に併設が多いデイサービスなど、小規模施設・事業所に対しても施設・社協とは別に直接研修案内を送付し、大勢の参加につながるよう努めている。 研修ニーズに対応した研修の追加開催の実施・検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員が研修に参加できるような施設体制や施設長など管理者に対する研修の必要性についての啓発が重要であると考えている。(広報の充実等) 特に、小規模施設・事業所は、職員が少ないので、研修を受けられるような環境づくりが必要だと思う。 職員の研修参加を促進するための、事業所への公的助成事業の展開。

事業者団体調査(岐阜県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
岐阜県社会福祉協議会	新任職員研修(岐阜地域)	経験年数2年未満の福祉・介護職員(保育所を除く)	福祉・介護サービスの基本理念や職業倫理等を理解するとともに、基本動作や組織活動の基礎を学ぶ	1回	1カ所	3日	100人	-	-	-
	新任職員研修(東濃地域)	経験年数2年未満の福祉・介護職員(保育所を除く)	福祉・介護サービスの基本理念や職業倫理等を理解するとともに、基本動作や組織活動の基礎を学ぶ	1回	1カ所	3日	80人	-	-	-
	中堅職員研修	経験年数2年以上の管理職を除く福祉・介護職員(保育所を除く)	中堅職員として期待される役割の理解と組織活動を推進するための知識・技術(組織性)を学ぶ	1回	1カ所	3日	80人	-	-	-
	指導的職員研修(岐阜地域)	主任・係長、課長等の役職にある福祉・介護職員(保育所を除く)	職場のリーダー、中間管理職として期待される役割の理解と組織活動推進のための知識・技術(組織性)を学ぶ	1回	1カ所	2日	80人	-	-	-
	指導的職員研修(東濃地域)	主任、係長、課長等の役職にある福祉・介護職員(保育所を除く)	職場のリーダー・中間管理職として期待される役割の理解と組織活動推進のための知識・技術(組織性)を学ぶ	1回	1カ所	2日	80人	-	-	-
	社会福祉トップセミナー	社会福祉施設・介護保険事業所及び市町村社協の役員・事務局長等	これからの法人運営・組織のあり方について学ぶ	1回	1カ所	1日	100人	-	-	-
	福祉・介護施設職員接遇研修(基礎コース)	福祉・介護サービスに携わっている職員	利用者本位の質の高いサービスを提供するために必要な接遇対応の基本と知識・技術を学ぶ	1回	1カ所	1日	100人	-	-	-
	福祉・介護施設職員接遇研修(ステップアップコース)	接遇研修基礎コースの受講の修了者または、他の機関が実施した基礎的な接遇研修を終了した者	接遇改善における先輩スタッフの役割、職場での接遇改善の進め方について学ぶ	1回	1カ所	1日	100人	-	-	-
	介護職員記録研修	高齢者・障がい者関係の入所施設に勤務している介護職員	介護職員が提供するサービスの日々の記録の重要性について学ぶとともに、介護記録のポイント・記入上の留意点を学ぶ	1回	1カ所	1日	100人	-	-	-
	リスクマネジメント研修(第1回)	福祉施設・介護保険事業所で介護職員の指導を行う者およびサービス提供責任者	リスクマネジメントの考え方や対応の方法、事故を防ぐための危険予知訓練の手法について学ぶ	1回	1カ所	1日	140人	-	-	-
リスクマネジメント研修(第2回)	福祉施設・介護保険事業所で介護職員の指導を行う者およびサービス提供責任者	リスクマネジメントの考え方や対応の方法、事故を未然に防ぐための危険予知訓練の手法について学ぶ	1回	1カ所	1日	140人	-	-	-	
個人情報保護対策研修	福祉施設・介護保険事業所等で個人情報の管理を担当する者	個人情報保護に関する知識を習得するとともに、その管理・対応についての手法を学ぶ	1回	1カ所	1日	100人	-	-	-	

事業者団体調査(岐阜県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他	
岐阜県社会福祉協議会	介護職員医療的行為基礎研修(第1回)	福祉施設・介護保険事業所の介護職員で介護福祉士の資格を有する者	高齢者・障がい者等に対する介護現場において、必要な医療の基礎知識および医療除外行為について学ぶ	1回	1カ所	1日	50人	-	-	-	
	介護職員医療的行為基礎研修(第2回)	福祉施設・介護保険事業所の介護職員で介護福祉士の資格を有する者	高齢者・障がい者等に対する介護現場において、必要な医療の基礎知識および医療除外行為について学ぶ	1回	1カ所	1日	50人	-	-	-	
	障がい者福祉関係施設職員研修	障がい者福祉関係施設の中堅職員で、3年以上の経験のある者	障がい者の自立支援に対する理解を深めるとともに、個別支援計画理解のための知識・技術を学ぶ	1回	1カ所	1日	55人	-	-	-	
	精神保健福祉研修	福祉・介護の業務に従事している経験年数が2年以上の職員	高齢者・障がい者等に対する介護現場において、ストレスケアについて基礎知識及び対応について学ぶ	1回	1カ所	1日	100人	-	-	-	
	市町村社会協相談業務従事者研修	市町村社協の総合相談業務に従事する民生委員及び担当職員等	市町村社協等の相談業務に必要な知識や相談援助技術を習得する。	1回	1カ所	1日	95人	-	-	-	
	介護支援専門員実務研修受講試験準備講習	介護支援専門員実務研修受講試験の受験資格を充たす者	介護支援専門員実務研修受講試験対策として必要な知識を習得する。	1回	1カ所	5日	150人	-	-	-	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
①参加者アンケートに対応する研修を行うための指導者情報(評判・報酬額等)の収集 ②企画運営にあたる職員の確保と育成(人件費の確保を含む) ③参加者のニーズに応じた研修プログラムの開発 ④研修会場の確保	①参加者募集にあたっては、事業所単位に開催要綱を配布するとともに、ホームページで研修の周知を行う。 ②定員を超えても運営に支障がない限りは、最大限受け入れを行う。 ③参加申し込みが定員の倍以上であった場合には、予定開催回数を増やして対応する。	①参加費の一部または、全額補助を行う。 ②研修参加日は出勤扱いとし、旅費の支給を行う。 ③研修日の代替職員の確保 ④法人又は事業所単位で必須研修と選択研修に分け計画的に職員が研修に参加できる仕組みをつくる(キャリアパスへの取り組み)

事業者団体調査(静岡県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
静岡県社会福祉協議会	新任研修Ⅰ	社会福祉施設の新規採用者及び経験年数2年未満の者	・講義「福祉サービスの理念・動向と新任職員への期待」 ・演習「福祉サービスの実践Ⅰ」 ・演習「職場生活の基本動作」	8回	5カ所	12時間(2日)	423人	-	-	
	新任研修Ⅱ	新任研修Ⅰを修了した者	・演習「コミュニケーションの基礎」 ・演習「組織活動の基本」 ・講義と演習「自己啓発の基本」	2回	1カ所	12時間(2日)	107人	-	-	
	中堅職員研修Ⅰ	社会福祉事業の従事経験が2年以上で係長・主任等の役職にない者	・講義「福祉サービスの理念・動向と中堅職員への期待」 ・演習「福祉サービスの実践Ⅱ」 ・演習「組織活動の自立的遂行」	3回	3カ所	12時間(2日)	156人	-	-	
	中堅職員研修Ⅱ	中堅職員研修Ⅰを受講した者	・演習「職場の問題解決」 ・演習「創意工夫と企画提案」ほか	1回	1カ所	12時間(2日)	54人	-	-	
	中堅職員研修Ⅲ	中堅職員研修Ⅰ・Ⅱを受講した者	・演習「チームワークの促進」 ・演習「職員指導・育成の基本」	1回	1カ所	12時間(2日)	38人	-	-	
	指導的職員研修Ⅰ	社会福祉施設において主任・係長・事務長等の役職にある者	・講義「福祉サービスの理念・動向と指導的職員への期待」 ・演習「福祉サービスの実践Ⅲ」 ・演習「部門組織活動の管理」	2回	2カ所	12時間(2日)	94人	-	-	
	指導的職員研修Ⅱ	指導的職員研修Ⅰを受講した者	・演習「部門の問題解決・改善改革」 ・演習「リーダーシップの基本」 ・演習「職員指導・育成の展開」	1回	1カ所	12時間(2日)	38人	-	-	
	施設長等運営管理職員研修Ⅰ	社会福祉施設の施設長等の管理的職員	・講義「福祉サービスの理念・動向と運営管理職員への期待」 ・演習「福祉サービス実践Ⅳ」	1回	1カ所	12時間(2日)	45人	-	-	
	施設長等運営管理職員研修Ⅱ	施設長等運営管理職員研修Ⅰを受講した者	・演習「管理者の問題解決・課題作成」 ・講義と演習「管理者としての自己革新」ほか	1回	1カ所	12時間(2日)	26人	-	-	
	認知症介護実践者研修	介護保険施設、事業所等の経験年数が2年以上の者	認知症高齢者介護の基本的理念、基本的知識及び技術の習得	7回	4カ所	36時間(6日)	471人	-	-	7回中、2回は政令市からの委託のため受講料なし(テキスト代のみ)
	認知症介護実践リーダー研修	高齢者介護実務経験5年以上で、認知症介護実践研修終了者	「認知症介護の在り方」「認知症介護のための組織論」「認知症介護の実践技法」「人材育成のための技法」	2回	2カ所	60時間(10日)	57人	-	-	
	認知症対応型サービス事業開設者研修	小規模多機能型居宅介護事業所・認知症高齢者共同生活介護事業所の代表者	「認知症高齢者の基本的な理解」「認知症高齢者ケアのあり方」「適切なサービスのあり方」 ・講義と職場体験	1回	1カ所	14時間(2日)	31人	-	-	2日目は職場体験
	認知症対応型サービス事業管理者研修	認知症対応型通所介護事業所・小規模多機能型居宅介護事業所・認知症高齢者共同生活介護事業所の管理者	「管理運営に必要な指定基準等の正しい理解」「職員の労務管理」「適切なサービス提供のあり方」	3回	3カ所	11時間(2日)	184人	-	-	
	小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成担当者であって認知症介護実践研修修了者	居宅介護計画・居宅介護支援計画を作成する上で必要な「基準の正しい知識」「適切なサービス提供」「利用計画作成演習」の知識・技術の習得	2回	2カ所	11時間(2日)	51人	-	-	
	回想法講座	老人福祉施設等に勤務する者	・講義「回想法とは」「回想法の効果」 ・実習「認知症高齢者のグループ回想の実際」ほか	1回	1カ所	5時間(1日)	107人	-	-	
	認知症高齢者支援講座	老人福祉又は介護保険事業に従事する者	・認知症高齢者の基本的介護の見方、考え方 ・認知症高齢者への対応	3回	3カ所	5時間(1日)	343人	-	-	
	認知症介護予防講座	老人福祉又は介護保険事業に従事する者	・認知症に関する基礎講座 ・脳活性化訓練について	2回	1カ所	5時間(1日)	292人	-	-	
	介護技術基礎講座	老人福祉施設等に勤務する者	・講義「体の仕組みと働きの理解」 ・実技「基礎介護技術のポイント」	4回	1カ所	5時間(1日)	139人	-	-	
	コミュニケーション技法講座(基礎編)	社会福祉又は介護保険事業所に従事する者	社会福祉事業従事者を対象としたコミュニケーション技法の習得	3回	3カ所	10時間(2日)	128人	-	-	
	コミュニケーション技法講座(応用編)	基礎編を修了した者	社会福祉事業従事者を対象としたコミュニケーション実践技法の習得	1回	1カ所	5時間(1日)	50人	-	-	
感染症講座(初級編)	社会福祉又は介護保険事業所に従事する者	利用者の健康維持のために必要な感染症についての基本的知識の習得	1回	1カ所	5時間(1日)	159人	-	-		
感染症講座(中級編)	社会福祉又は介護保険事業所に従事する者	利用者の健康維持のために必要な感染症についての実践的知識の習得	1回	1カ所	5時間(1日)	113人	-	-		
はじめての介護・看護リーダーに必要な指導力養成講座	介護保険施設・事業所に勤務する者	介護保険施設の中間管理職・リーダーに必要な指導力の習得	1回	1カ所	25時間(5日)	58人	-	-		
口腔ケア講座	老人福祉施設等に勤務する者	口腔ケアに必要な知識・技術の習得	1回	1カ所	5時間(1日)	109人	-	-		

事業者団体調査(静岡県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
静岡県社会福祉協議会	急変を見逃さないための救急講座(高齢者編)	老人福祉施設・介護保険事業所に勤務する者	利用者の容体変化を見逃さずに対応するために必要な知識・技術の習得	1回	1カ所	5時間(1日)	60人	-	-	
	急変を見逃さないための救急講座(児童・障害者編)	児童・障害者施設に勤務する者	利用者の容体変化を見逃さずに対応するために必要な知識・技術の習得	1回	1カ所	5時間(1日)	44人	-	-	
	高齢者の転倒予防講座	老人福祉施設・介護保険事業所に勤務する者	高齢者の転倒予防について、必要な知識・技能の習得	1回	1カ所	5時間(1日)	77人	-	-	
	リスクマネジメント講座	福祉サービス事業所・介護保険事業所職員	施設・事業所の危機管理・安全管理に必要な知識・技術の習得	2回	1カ所	5時間(1日)	261人	-	-	
	介護従事者のための意識改革講座	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する介護職員等	介護職員として必要な基本的な姿勢・職業意識の習得	1回	1カ所	3時間(1日)	164人	-	-	
	フットケア講座	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する者	高齢者への支援方法とフットケア・足指ケアの知識・技術の習得	1回	1カ所	5時間(1日)	64人	-	-	
	介護職のための腰痛予防・リラクゼーション講座	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する者	介護職の負担軽減のために腰痛予防・リラクゼーションについての知識・技術の習得	1回	1カ所	5時間(1日)	65人	-	-	
	リハビリテーション講座	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する者	介護保険事業所等におけるリハビリテーションについての知識・技術の習得	1回	1カ所	5時間(1日)	88人	-	-	
	高齢者のメイクアップ講座	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する者	高齢者への支援方法としてのメイクアップの知識・技術の習得	1回	1カ所	5時間(1日)	20人	-	-	
	介護食講座	訪問介護事業所・グループホーム等に勤務する者	ホームヘルパーやグループホームの職員の介護食調理に必要な知識・技術の習得	1回	1カ所	5時間(1日)	39人	-	-	
	接遇・マナー講座	社会福祉施設又は介護保険事業所等に勤務する者	介護職・看護職に求められる接遇マナーの習得	3回	3カ所	5時間(1日)	236人	-	-	
	身体拘束廃止講座	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する者	福祉・介護サービス従事者として身体拘束・虐待防止のための知識・技術の習得	1回	1カ所	5時間(1日)	70人	-	-	
	認知症の人のためのケアマネジメント講座	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する者	認知症高齢者への支援方法としてのパーソンセンタードケアの知識・技術の習得	2回	2カ所	5時間(1日)	140人	-	-	
	社会福祉ミニセミナーA(「介護報酬改定に伴う加算・減算項目の効果的な経営への活かし方の習得	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する者	介護報酬改定に伴う加算・減算項目の効果的な経営への活かし方の習得	1回	1カ所	3時間(1日)	115人	-	-	
	社会福祉ミニセミナーB(高齢者の医学基礎知識 総論)	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する者	高齢者の医学基礎知識の習得	1回	1カ所	3時間(1日)	145人	-	-	
	社会福祉ミニセミナーC(高齢者の医学基礎知識 各論)	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する者	高齢者の医学基礎知識の習得(疾患の各総論)	1回	1カ所	3時間(1日)	146人	-	-	
	社会福祉ミニセミナーD(褥瘡(床ずれ)の原因と対策)	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する者	褥瘡(床ずれ)に関する基本的な知識の習得	1回	1カ所	3時間(1日)	106人	-	-	
	権利擁護・成年後見セミナー(高齢者編)	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する者	認知症高齢者を支援する介護職として必要な権利擁護・成年後見の基本的知識・技能の習得	1回	1カ所	5時間(1日)	109人	-	-	
	権利擁護・成年後見セミナー(障害者編)	障害者福祉施設等に勤務する者	知的障害者等を支援する介護職として必要な権利擁護・成年後見の基礎的知識・技能の習得	1回	1カ所	5時間(1日)	31人	-	-	
	排泄ケア講座	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する者	介護職に必要な排泄ケアの基礎的知識・技術の習得	1回	1カ所	15時間(3日)	58人	-	-	
	介護職のための薬の知識講座	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する者	介護職に必要な薬の基礎的知識の習得	1回	1カ所	5時間(1日)	108人	-	-	
	介護記録の書き方講座(入門編)	入所系の社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する者	介護職に必要な介護記録の書き方の基礎的知識の習得	1回	1カ所	5時間(1日)	76人	-	-	
	介護記録の書き方講座(通所・訪問編)	通所・訪問介護事業所に勤務する者	介護職に必要な介護記録の書き方の基礎的知識の習得	1回	1カ所	5時間(1日)	78人	-	-	
	介護職のストレスケアのためのアロマテラピー講座	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する者	介護職のバーンアウト予防やストレスケアのために、自分自身でできるアロマテラピー基礎知識・技能習得	1回	1カ所	5時間(1日)	56人	-	-	
	コンプライアンス講座	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する者	福祉サービス事業従業者が最低備えておくべき、コンプライアンスの基礎的知識・技能の習得	1回	1カ所	5時間(1日)	66人	-	-	
	介護職のためのストレスマネジメント講座	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する者	介護職に必要なストレスケア予防のための知識・技術の習得	1回	1カ所	5時間(1日)	71人	-	-	
傾聴講座	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する者	福祉職の対人援助に必要な傾聴・面接スキルの習得	1回	1カ所	5時間(1日)	63人	-	-		
介護スタッフを離職させない指導術講座	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する者	管理者に必要な離職防止のマネジメント習得	1回	1カ所	5時間(1日)	63人	-	-		
職場研修担当者講座	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する者	計画的なOJTやOFF-JTなどの職員の定着に向けた有効な研修を企画実施するための知識・技術の習得	1回	1カ所	10時間(2日)	75人	-	-		

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
<ul style="list-style-type: none"> 研修の受講者が特定の施設や事業者に片寄っており、特に小規模の事業所の受講が少ない。 研修の成果が職場への還元や活用につなげられていない。 研修の実施効果を評価する手法がないため、研修の企画について、担当者の経験や受講者アンケート(満足度)に頼りがちである。 研修の受講が必ずしも受講者のキャリアアップにつなげられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 定員大幅に上回る応募があった研修については、追加で開催 受講不承者が希望する場合、「キャンセル待ち」で対応 可能なものは、県中部地域だけでなく東部・西部地域でも開催 	<ul style="list-style-type: none"> より多くの人員配置を可能とする介護報酬等の見直し 人材育成の重要性に関する経営者・管理者の意識改革 職員に研修を受けさせるために、施設や事業所が行っている予算や時間の工夫について情報提供

事業者団体調査(愛知県福祉人材センター)

実施主体 質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他	
愛知県福祉人材センター	老人福祉施設直接処遇職員初級研修	特別養護老人ホーム及び養護老人ホームの経験3年以内の直接処遇職員	「老年期の精神疾患について」 認知症、老人のうつ等の老年期に特徴的な精神疾患について 「口腔ケアについて」 口腔ケアの重要性とともに、各施設内での状況・工夫等について情報交換	1回	1カ所	5時間	82人	0円	-	-
	老人福祉施設直接処遇職員中級研修	特別養護老人ホーム及び養護老人ホームの介護職員、指導員、相談員で経験年数が3年以上の者	「職場の人間関係づくりトレーニング」 研修を通して職場内の人間関係の円滑化のヒントを得てもらうことにより、離職率の低下につなげる。	1回	1カ所	5時間	94人	0円	-	-
	老人福祉施設職員研修	特別養護老人ホーム及び養護老人ホームの主任職員	「職場における人間関係づくり(技術・方法)について」 職場内におけるリーダーが、率先して良好な人間関係を築き、職場内の活性化を図れるようにする。	1回	1カ所	5時間	85人	0円	-	-
	障害者(児)福祉施設直接処遇職員初級研修	障害者(児)福祉施設の直接処遇職員で経験年数3年未満	「障害者自立支援法について」 「第2期愛知県障害者福祉計画について」 「インシデント・プロセス法での問題の解決手順を習う」	1回	1カ所	5時間(1日)	150人	0円	-	-
	障害者(児)福祉施設直接処遇職員中級研修	障害者(児)福祉施設の直接処遇職員で経験年数3年以上の者	「ストレングス・モデルで作成する個別支援計画」	1回	1カ所	5時間(1日)	122人	0円	-	-
	障害者(児)福祉施設主任職員研修	障害者(児)施設の主任級指導員等の職員	「主任職員に求められる技量」 ・どのように利用者・家族の声を聴いているか ・施設の改善点に気づき、対応できているか等	1回	1カ所	5時間(1日)	114人	0円	-	-
	訪問介護員研修	指定訪問介護事業所の現任の訪問介護員等であって、平成21年6月末日において、サービス提供責任者として2年以上従事している者	「指定訪問介護事業所の運営基準と指導監査について」 「認知症への理解と家族支援」 「訪問介護計画の作成と展開」等	1回	1カ所	30時間(5日)	93人	0円	-	-
	障害者ホームヘルパー研修	障害者ホームヘルパー事業所に従事するホームヘルパー	「自閉症スペクトラムの特性理解と発達障害の理解」 「現場におけるコミュニケーション支援」 「インシデント・プロセス法で問題解決の手順を習う」	1回	1カ所	4.5時間(1日)	110人	0円	-	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
介護職員の資質向上を図るために、より効果的・効率的な研修実施をめざし、研修体系の見直しを検討していく必要がある。	・委託元である愛知県の担当課と協議し、時宜に合ったテーマをとり上げることで介護職員の研修参加の意欲を高めるよう工夫している。 ・前年度末に、1年間の研修スケジュールを各施設に通知することで、施設側が研修参加を考慮した勤務体制を組むことが可能となる。	該当者が研修を受講する間、人的な補充がスムーズにできるような支援が必要。

事業者団体調査(三重県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
三重県社会福祉協議会	接遇マナー講座	特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・市町社会福祉協議会の職員	オリエンテーション (講義・演習)接遇マナー講座	1回	1カ所	14.5時間(2日)	45人(定員)	-	-	
	クレーム対応研修	特別養護老人ホーム・介護老人保健施設通所介護事業所・市町社会福祉協議会の職員等	リスクマネジメント講座～クレーム対応の基礎から、高齢者施設におけるクレーム対応～	2回	1カ所	6時間(1日)	100人(定員)	-	-	
	職場内の円滑なコミュニケーション	県内各福祉施設、市町社会福祉協議会職員等	(講義) 職場内の円滑なコミュニケーションについて	1回	1カ所	6時間(1日)	80人(定員)	-	-	
	介護記録講座(介護記録の取り方について)	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、訪問介護事業所、市町社会福祉協議会の職員で、主に介護に従事する職員	介護記録講座(お昼休憩1時間挟む)(講義・演習)実践的な介護記録の書き方について	1回	1カ所	6時間(1日)	80人(定員)	-	-	
	排泄ケア講座	介護老人福祉施設、介護老人保健施設等を中心とした入所施設職員	講義・演習「排泄ケアについて」・排泄ケアの基本・ストーマケアの基本	1回	1カ所	6時間(1日)	50人(定員)	-	-	
	口腔ケア講座	特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・訪問介護事業所・市町社会福祉協議会の職員他	口腔ケア講座 (講義)施設における口腔ケアの取り組み状況～松阪地区での活動より～ (演習指導)口腔ケアの実技指導 ～いろいろな口腔ケアグッズの使用法・口腔機能向上トレーニング～	1回	1カ所	3時間(1日)	60人(定員)	-	-	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
-	-	-

事業者団体調査(大阪府社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
大阪府社会福祉協議会 大阪社会福祉研修センター	社会福祉施設職員研修 老人施設課程基礎コース	社会福祉施設に勤務して3年未満の職員及び施設長が認めた者	現在の高齢者福祉の課題・動向を把握し、利用者の自立支援・生活支援に立った援助技術、利用者へのサービスの質の向上を図ることを目的として実施。	1回	1カ所	18.5時間(3日)	74人	-	-	1日目と2日目は応用コースと合同で実施
	社会福祉施設職員研修 老人施設課程応用コース	社会福祉移設に勤務して3年以上の職員及び施設長が認めた者	現在の高齢者福祉の課題・動向を把握し、利用者の自立支援・生活支援に立った援助技術、利用者へのサービスの質の向上を図ることを目的として実施。	1回	1カ所	18.5時間(3日)	78人	-	-	1日目と2日目は応用コースと合同で実施
	老人施設課程(介護技術コース・レクリエーション編)	老人福祉施設に勤務する職員及び施設長が認めた者	講義、演習、受講者自らの実践の振り返りを通じて、「レクリエーション」の考え方ならびに各老人福祉施設で利用者への援助に役立つ具体的方策等について学ぶ	1回	1カ所	12.5時間(3日)	50人	-	-	-
	老人施設課程(介護技術コース・実技編)	老人福祉施設に勤務する職員及び施設長が認めた者	利用者(要介護者)にとっての食事・入浴・排せつ・移動の意味合いや各介助に関するさまざまな知識や介助方法について講義、演習(実技)、グループディスカッション	1回	1カ所	14時間(2日)	30人	-	-	-
	特別養護老人ホームでのケアの在り方に関するゼミナール	特別養護老人ホームの5年以上の職員(介護職員・生活相談員と医療・看護系職員等)の2人で参加されることが望ましい)で、全3回出席が可能であり、加えて施設長の推薦がある者	「特別養護老人ホームでケアのあり方」をテーマに、現在、増えつつある、重度化した利用者がその人らしい生活ができるケアのあり方、医療をはじめ、他職種との連携のあり方、看取りケア等について、ゼミナール形式で研究、実践	1回	1カ所	15時間(3日)	44人	-	-	-
	老人施設スーパーバイザー養成専門ゼミナール	老人福祉施設の主任級の指導的職員で加えて施設長の推薦のある者	対人援助について考察を深めるとともに、スーパービジョンの理論を学び、実践的な応用力を高める。またスーパービジョンの構造と機能を理解する。	1回	1カ所	25時間(10日)	14人	-	-	-
	老人施設スーパーバイザー養成スキルアップゼミナール	平成20年度「老人施設スーパーバイザー養成専門ゼミナール」修了者であって、加えて施設長の推薦のある者	20年度のゼミナールの受講生を対象に、スーパーバイザーとしての力量をより高め、スキルアップしていただくことを目的に開催。ゼミナールでは、受講生が中心となり、各自が事例等を持ち寄り、討議によってスーパービジョンを実践的に学ぶ。	1回	1カ所	12.5時間(5日)	5人	-	-	-
	老人施設課程非常勤職員コースⅠ(非常勤介護職員スキルアップ研修)	社会福祉施設の非常勤介護職員	介護現場全体のスキルアップ、他施設との情報交換など、研修を通じて介護の仕事の魅力を改めて感じていただくとともに、職場への定着・離職防止を目的として実施	3回	1カ所	5時間(1日)	118人(第1回32人、第2回38人、第3回48人)	-	-	地域ごと3ブロックに分けての開催 本会 老人施設部会と共催で実施
	老人施設課程非常勤職員コースⅡ(非常勤介護職員スキルアップ研修Ⅱ)	非常勤職員で、非常勤職員コースⅠを受講した者	介護現場全体のスキルアップ、他施設との情報交換など、研修を通じて介護の仕事の魅力を改めて感じていただくとともに、職場への定着・離職防止を目的として実施	2回	1カ所	6時間(1日)	92人(第1回47人、第2回45人)	-	-	本会・老人施設部会と共催で実施
老人施設課程リーダー認定コース	勤務3年以上経過した職員であり、リーダー及びリーダー候補者として施設長が推薦する者	仕事へのやりがいを見出し、モチベーションを高めていくことを目的に、現場の実践に直結する講義内容でリーダーとして必要な技量を習得する内容を実施	1回	1カ所	17.5時間(5日)	146人	-	-	本会・老人施設部会と共催で実施	
老人福祉施設における死生学研修会	大阪府の老人福祉施設に勤務する職員(生活相談員、介護職、看護職等)で、実際にターミナルケアにかかわっている人(経験のある人)、もしくはターミナルケアや看取りについて日ごろから高い問題意識をもっている者	看取りやターミナル期に焦点を当てて、福祉専門職としての死生観を構築する	1回	1カ所	14.5時間(3日)	40人	-	-	-	

事業者団体調査(大阪府社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人あたり)	8 費用(総事業費)	9 その他
大阪府社会福祉協議会 大阪社会福祉研修センター	認知症介護実践研修 実践者研修	介護経験2年以上で、認知症の知識を習得している地域密着型サービスに従事している者	認知症介護に関する実践的な知識及び技術を習得する。	3回	1カ所	47時間(8日)+実習	239人(第1回:78人、第2回:80人、第3回:81人)	-	-	-
	認知症対応型サービス事業者管理者研修	認知症対応型通所介護事業所等の管理者(予定者も含む)であって、認知症介護実践研修実践者研修を修了している者	認知症対応型通所介護事業所等を管理・運営していくために必要な知識・技術を習得する。	2回	1カ所	7時間(2日)	108人(第1回:61人、第2回:47人)	-	-	-
	小規模多機能型サービス計画等計画作成担当者研修	小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成又は計画作成担当者になることが予定される者で、実践者研修を修了している者	小規模多機能型居宅介護事業所において利用者及び事業の特性を踏まえた小規模多機能型居宅計画を作成するために必要な知識及び技術を習得する。	2回	1カ所	9.5時間(2日)	33人(第1回:11人、第2回:22人)	-	-	-
	福祉職員研修(新任職員)	社会福祉施設に勤務する職務経験2年未満の職員	福祉職員として共通する専門性と併せて組織人としての基本的役割を具体的に理解する。	4回	2カ所	12時間(2日)	142人(第1回:36人、第2回:35人、第3回:36人、第4回:35人)	-	-	-
	福祉職員研修(中堅職員)	社会福祉施設に勤務する職務経験2年以上5年未満の職員	利用者理解の方法や福祉課題への気づきを学び、後輩への指導など新たに課せられた中堅職員の役割を理解する。	4回	2カ所	12時間(2日)	140人(第1回:36人、第2回:36人、第3回:31人、第4回:37人)	-	-	-
	福祉職員研修(指導的職員)	社会福祉施設で主任、係長、事務長等の指導的立場にある者	利用者へのサービスを保持向上させるための職員指導や職場改善のあり方を学び、指導的職員の役割行動を理解する。	4回	3カ所	6時間(2日)	141人(第1回:36人、第2回:36人、第3回:35人、第4回:34人)	-	-	-
	福祉職員研修(OJTリーダー養成)	主任、リーダークラスの職員、研修担当の職員	OJTとは何か、OJTリーダーの役割について学び、リーダーとしてどうあるべきかを身につける。	4回	2カ所	12時間(2日)	138人(第1回:35人、第2回:37人、第3回:30人、第4回:36人)	-	-	-
福祉職員研修(施設長等運営管理職員)	施設長及び施設の運営に関する方	マネジメントや組織革新のあり方を学び、職員の能力開発や職場の問題解決の手法等を学ぶ。	4回	3カ所	12時間(2日)	147人(第1回:40人、第2回:41人、第3回:35人、第4回:31人)	-	-	-	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
<ul style="list-style-type: none"> 適切な研修受講料の設定をいかにするか。(委託研修、補助研修、自習研修での違いなど) 申込み人数が定員割れした場合や定員以上になったときの対処方法。(施設からのクレームをいかに少なくさせるか) 新たな課題や現場で直面する課題解決にむけた研修内容やテーマについての設定(時宜にかなった内容、ニーズの把握等) 	<ul style="list-style-type: none"> 研修案内を早期に行い、職員の勤務体制などの日程調整がしやすいようにしている。 一部の研修については、本会・老人施設部会とも共催したり、また、老人施設課程の研修専門委員会で施設関係者にも委員に入っていたり、企画検討するなど、受講者のニーズにできるだけかなった形で実施できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の処遇改善(人材不足の解消、勤務時間等の改善、給与改善等) 研修参加期間中は、代替職員が確保できるようにするなど、職員が研修に参加出来るようにしていく体制を構築していけるように支援していくことが急務であると思う。 研修参加が職員のキャリア形成の際に昇進等で考慮もしくは反映されるような仕組みがあれば、さらにモチベーションが高まると思う。 理事長、施設長等が研修に対する理解を深めていけるようにする働きかけ等が必要でないかと思う。

事業者団体調査(兵庫県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業)	9 その他
兵庫県社会福祉研修所	障害福祉施設系事業所新任職員研修	障害福祉施設系事業所の新任職員	福祉施設業務に従事する上で、必要な基礎的知識、技能、心構え等についての理論と実際	1回	1カ所	9.75時間(2日)	139人	-	-	-
	老人福祉施設新任職員研修	老人関係福祉施設の新任職員	福祉施設業務に従事する上で、必要な基礎的知識、技能、心構え等についての理論と実際	3回	1カ所	17時間(3日)※総計	344人	-	-	-
	障害福祉施設系事業所職員研修	障害福祉施設系事業所の中堅職員	障害者(児)福祉の動向ならびにサービス理念を理解し、今後、事業所職員として必要な知識と技法	1回	1カ所	5時間(1日)	86人	-	-	-
	老人福祉施設職員研修	老人関係福祉施設の中堅職員	高齢者福祉の動向ならびにサービス理念を理解し、今後、事業所職員として必要な知識と技法	1回	1カ所	5時間(1日)	121人	-	-	-
	相談面接技術研修(初級)	福祉施設・社協等に勤務し、相談援助業務従事年数3年未満の職員(保育所保育士を除く)	適切な相談援助を進める上での基礎的な知識・技術	1回	1カ所	10時間10分(2日)	61人	-	-	-
	相談面接技術研修(中級)	福祉施設・社協等に勤務し、相談援助業務従事年数3年以上の職員(保育所保育士を除く)	適切な相談援助を進める上での実践的な知識・技術	2回	1カ所	20時間20分(4日)※総計	48人	-	-	-
	レクリエーションリーダー養成研修	老人福祉施設及び障害施設系事業所でレクリエーション業務を担当している職員	レクリエーションの知識・技術と施設におけるレクリエーションの企画・運営の考え方・手法	1回	1カ所	10時間10分(2日)	99人	-	-	-
	新任リーダー研修	社会福祉施設・団体等において、新たに指導監督的立場に就任した職員	組織課題の把握や解決に取り組むための視点・方法と組織運営を効果的に進めていく知識・技術	1回	1カ所	5時間10分(1日)	92人	-	-	-
	接遇・日常マナーリーダー養成研修	社会福祉施設・団体等において、新任職員や職員を指導する立場にある指導監督的職員	利用者やその家族と接する上での基本的マナーや、日常の行事や食事等の作法や対応について、職員に対して指導できるリーダーの養成	2回	1カ所	20時間50分(4日)※総計	143人	-	-	-
	接遇・日常マナーリーダー養成研修(フォローアップ研)	平成19・20年度の接遇・日常マナーリーダー養成研修修了者	研修受講後の職場での取り組みの振り返りと実践能力の向上	1回	1カ所	5時間20分(1日)	55人	-	-	-
	中間指導者・管理者ステップアップセミナー	現場チームのチームリーダーの職責にある職員、またはリーダーに準じる職員(役割を期待されている職員も含む)	中間管理職として役割、チーム運営を基本に業務を適正かつ確実に進める知識及び技術	2回	1カ所	44時間(8日)※総計	89人	-	-	-
	老人福祉施設職員ゼミナール	老人福祉施設で主任など指導的立場にある職員	老人福祉施設における様々な援助課題の解決方策	1回	1カ所	21時間20分(4日)	7人	-	-	-
	介護福祉士受験セミナー(受験準備講習会)	第22回介護福祉士国家試験を受験予定の方	介護福祉士国家資格(筆記試験)の受験予定者を対象に、過去問題・福祉情勢・法改正の内容等から、合格の鍵を握る「頻出ポイント」に焦点をあてて学習し、得点力アップを目指す。	1回	1カ所	18.75時間(3日)	152人	-	-	筆記模擬試験を含む。
	介護福祉士受験セミナー(筆記模擬試験)	第22回介護福祉士国家試験を受験予定の方	介護福祉士国家資格(筆記試験)の受験予定者を対象に、過去問題・福祉情勢・法改正の内容等から、合格の鍵を握る「頻出ポイント」に焦点をあてて学習し、得点力アップを目指す。	1回	1カ所	3時間50分(1日)	213人	-	-	-
介護職員のエンパワメント研修	県内の施設等で勤務する介護職員または関心のある方	より質の高いケアを行うために、日々の実践を振り返りながら、介護職員がいきいきと輝いて「適切なケア」を実践できる方法を考える。	1回	1カ所	5時間20分(1日)	144人	-	-	-	
職場研修推進フォーラム	福祉現場の職場研修担当者、社会福祉法人の役職員、福祉事業所の経営者・従事者など、関心のある方	記念講演「私が育つ、職場も育つ、職場研修」 パネルディスカッション「職場研修を通じた職場づくり～職場研修支援事業の取り組みから～」	1回	1カ所	4時間45分(1日)	152人	-	-	-	

事業者団体調査(兵庫県社会福祉協議会)

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
<p>(1) 研修参加費の設定によって、主催者側と受講者側双方において負担感が生じる。</p> <p>①参加費を無料など低額に設定した場合、研修経費に不足を生じる。</p> <p>②参加費(※)を徴収すると、受講者や使用者において負担感が予想される。</p> <p>※当所では、特別な場合を除いて1日研修では、4千円を徴収。</p> <p>(2) 当所が実施する研修が、職能団体や事業者団体等の他団体が実施する研修と重なる可能性がある。</p> <p>(3) 介護職員の範囲(老人・障害等の施設種別、介護福祉士・ヘルパーなどの資格種別)が多岐にわたり、研修内容の企画が難しい。また、参加者数の見込みが難しい。</p>	<p>(1) 上記質問2中(1)について、平成22年度では、緊急雇用対策事業を活用した「介護職員確保定着促進事業」において、受講料を無料とした研修を4講座計画している。</p> <p>(2) 上記質問2中(2)について、県と労働局が招集し、職能団体、事業者団体代表者等が参集する「福祉人材確保推進協議会」により情報共有を行っている。</p> <p>(3) 研修出席による施設職員の空白について、次の対応をとっている。</p> <p>①当所が作成している研修計画を、年度当初など、早目に関係団体に送付・案内し、計画的な研修参加を促す。</p> <p>②施設職員に空白を生じる場合には、県において経費的救済制度があるので、施設に対して制度の利用案内を行う。</p> <p>(4) 研修(予定、計画)情報が、法人・施設において、職員に伝わっていない可能性がある。次の対応を採り、関係職員への周知・案内に努めている。</p> <p>①当所ホームページに研修情報を掲載、告知し周知を図っている。</p> <p>②法人・施設幹部(理事、理事長等)の研修に対する必要性について、次の方法により、理解を促している。</p> <p>ア 「職場研修支援員による職場訪問(平成21年度からの事業)」により、また、「社会福祉法人職場研修支援研修(毎年実施)」により、施設幹部(及び職員)に対して、職場研修の意義について理解を促している。</p> <p>イ 職能団体や事業者団体代表者、学識経験者等が参加する「研修委員会」において、職能団体、事業者団体代表者に対しても、職場研修の意義について理解を促すとともに、傘下構成員に対する啓発を促している。</p>	<p>(1) 法人・施設幹部(理事業、理事等)の研修に対する必要性に対する理解を深める。</p> <p>(2) 介護職員の就労環境改善や、研修参加によるメリットを付加することなどにより、職員の研修参加意欲の向上を図る。</p> <p>(3) 研修機会を増やす。</p>

事業者団体調査(奈良県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他	
奈良県社会福祉協議会 奈良県福祉人材センター	新任職員研修	県内社会福祉施設、事業所及び社協等において、利用者の相談援助や介護サービス等に従事する者で、概ね業務経験が2年未満の新任職員。	福祉サービスの基本理念や、対人援助技術の基礎を理解・習得するとともに、社会人・組織人としての基本的能力を身につけることを目的に研修を実施することで、新任職員の一定の資質の確保と職場への円滑な適応の一助を図る。 また、年度末にフォローアップ講座を開催することで、福祉職員としての1年を振り返る機会を持ち、次年度に向けて専門職としての再動機づけを図る。	1回	1カ所	25時間(6日)	94人	10,000円	395,763円	-	
	中堅職員研修<基礎課程>	県内社会福祉施設及び社協等において、利用者の相談援助や介護サービス等に従事する者で、概ね業務経験が3年以上で、主任・係長等の役職にない者	職場における中堅職員としての役割について理解を深め、職場の人間関係や問題解決等に関して自己の果たすべき行動を身につけるとともに、福祉専門職としての資質・能力の開発と対人援助技術の向上を図る。	1回	1カ所	20時間(4日)	79人	10,000円		-	
	中堅職員研修<応用課程>	県内社会福祉施設及び社協等において、利用者の相談援助や介護サービス等に従事する者で、概ね業務経験が3年以上で、主任・係長等の役職にない者のうち、昨年度以前に中堅職員研修「基礎課程」を修了した者	職場における中堅職員としての役割について理解を深め、職場の人間関係や問題解決等に関して自己の果たすべき行動を身につけるとともに、福祉専門職としての資質・能力の開発と対人援助技術の向上を図る。	1回	1カ所	20時間(4日)	40人	10,000円	664,167円	-	
	リーダー職員研修	主任・係長等の役職にある職員	職場における自己の役割について理解を深め、よりよい援助関係を築くために、職場の人間関係や問題解決等に関して自己の果たすべき行動を総合的に習得する。	1回	1カ所	23時間(4日)	50人	10,000円		-	
	リーダー職員研修 オプション講座「スーパーバイザー養成講座」	スーパービジョンを行う立場にある方	リーダー職員研修専門性分野で学んだスーパービジョンを職場で実践し、研修で振り返り等を行うことでスーパービジョンの実践力を高め、かつ、職場でのスーパービジョンの定着を目指す。	1回	1カ所	17.5時間(3日)	13人	10,000円	647,282円	-	
	職場内研修指導者養成研修	県内社会福祉施設及び社協等の、職場内研修の企画担当者、各セクションのリーダー職員など	OJTをはじめとした「職場研修」の考え方や推進方法に関する知識やスキルを養うことにより、職員の定着化と資質向上、および福祉サービスの質の向上を図る。	1回	1カ所	16.5時間(3日)	50人	5,000円	139,487円	-	
	福祉サービスマナー研修	相談・指導職、介護サービス提供現場におけるリーダー職員	利用者にとって心地よい、信頼感あふれる支援を展開できるよう、応対や接遇など福祉専門職に求められるサービスマナーの習得を図る。	1回	1カ所	5.5時間(1日×2コース)	87人	5,000円	146,552円	-	
	アクティブ・ケア研修	①介護主任・フロアリーダーの方 ②職場内研修担当者	「利用者に負担のない介護技術」「利用者主体の介護計画」を習得・再認識してもらい、福祉力の向上・底上げを図る。	1回	1カ所	15時間(3日)	62人	8,000円	253,210円	-	
	行動援護従業者養成研修	行動援護サービスを提供している(予定の)従事者	知的障害者・精神障害者の移動支援を行う行動援護を実践する者にはどのような価値観、知識、技術が必要かを学ぶ。また、演習を通して実践に対する不安を解消し、スムーズに実践へと移行できるようにすることを目的とする。	1回	1カ所	22時間(4日)	42人	13,000円	253,669円	-	

事業者団体調査(奈良県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
奈良県社会福祉協議会 奈良県福祉人材センター	相談面接技術研修	日々利用者と接する対人援助職(相談職・介護職・ケアマネジャーなど)の方	相談職・介護職など日々利用者と関わる者に、相談面接技術に関する講義及び面接技術の演習を実施し、援助技術の向上を図る。	1回	1カ所	12時間(2日×2コース)	42人	10,000円	263,440円	-
	介護福祉士試験準備講習会(筆記試験講習)	介護福祉士試験受験予定者	第22回介護福祉士試験を受験される方を対象に「新版介護福祉士養成講座」(中央法規出版)を用いて最近の福祉の動向や試験にむけて必要な事柄についての解説、講義を中心とした筆記試験の準備講習会を開催。	1回	1カ所	36時間(6日)	47人	18,000円	1,424,402円	-
	介護福祉士試験準備講習会(実技直前講習)	介護福祉士試験受験予定者	介護福祉士国家試験(実技試験)にむけて、演習・実技を中心とした介護実技講習を開催いたします。	1回	1カ所	(2日×2コース)	53人	10,000円		-
	介護福祉士試験準備講習会(模擬試験)	介護福祉士試験受験予定者	中央法規出版が実施する全国統一の模擬試験を使用し行うもので、問題の解説はもちろん、全国レベルでの平均点や順位を知ることができます。時間配分等は国家試験と同様に行います。	1回	1カ所	(1日)	84人	6,000円		-
	介護支援専門員試験準備講習会	介護支援専門員実務研修受講試験受験予定者	介護支援専門員実務研修受講試験受験予定者を対象に、最近の福祉の動向や試験にむけて必要な事柄についての解説、講義を中心とした準備講習会を開催。	1回	1カ所	18時間(3日)	207人	5,000円	345,280円	「介護支援分野対策講座」「福祉サービス分野対策講座」「保健・医療サービス分野対策講座」の3分野から受講生に必要な分野のみ選択いただく。

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
<p>昨今の現状を鑑み、平成22年度は特に他業種からの転入者が目立つ。このことから、生涯研修のスタートでもある新任職員研修の研修カリキュラムを見直す必要があると考えている。福祉系の専門学校・大学を卒業した新任職員と福祉の知識・経験があまりない他業種からの転入者等が同じ研修カリキュラムで受講いただくことの研修効果を考えた時、カリキュラムの見直しは課題に挙がる。</p> <p>例)どちら(福祉系学校卒または未経験者)の視点を重視し、講師に依頼すべきか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護職として従事している職員に、研修修了後、すぐにでも活用いただける研修内容の提供 2. 研修会に参加しやすい日程を組む(3日以上連続日程としないなど) 3. 研修内容を正確に情報発信・提供する 4. 研修情報を誰でも閲覧できるようにする(ホームページに掲載) 	<p>夜勤明けの研修参加、研修直後の勤務、研修を途中で抜けて夜勤に就くなど、労働後等に受講いただくのではなく、現場職員が安心して研修に参加出来る体制作りが必要である。</p> <p>既に実施されている「介護職員研修支援事業」は時限的措置であるため、各事業所が長期的な視点で職員の育成計画(研修計画)を立てられるような体制づくり、職員配置支援が必要ではないだろうか。</p>

事業者団体調査(和歌山県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
和歌山県社会福祉協議会	新任職員研修	社会福祉施設等に勤務する業務経験年数2年未満の者	新任職員として必要な福祉サービスに関する知識及び技術を習得します	1回	1カ所	18時間(3日)	58人	-	-	-
	中堅職員研修	社会福祉施設等に勤務する業務経験年数2年以上で主任、係長等の役職にない者	中堅職員として必要な福祉サービスに関する知識及び技術を習得します	1回	1カ所	36時間(6日)	192人	-	-	-
	相談面接技術研修	社会福祉施設等に勤務する者	現場で役立つ面接等の基本的な技能を身につけ、福祉サービスの向上を図ります	2回	1カ所	6時間(1日)	81人	-	-	-
	腰痛予防のための介護技術講習会	現在、介護職員、ホームヘルパーに従事されている方	介護職の日常業務で生じる腰痛についての知識を深め、腰の負担にならない正しい介護技術を習得します。	1回	1カ所	4時間(1日)	51人	-	-	-
	認知症高齢者処遇研修	社会福祉施設等に勤務する者	認知症高齢者を支える専門職として、認知症高齢者の自立した生活を支援するために求められる認知症介護の知識及び技術を習得し	1回	1カ所	10時間(2日)	155人	-	-	-
	福祉サービスマナー研修	社会福祉施設等に勤務する者	質の高いサービスが提供できるよう、福祉サービスに求められる接遇に関する知識と技術を習得します。	1回	1カ所	5時間(1日)	54人	-	-	-
	メンタルヘルスセミナー	社会福祉施設等に勤務し、主任、係長の役職にある方、または日常業務の中で部下の育成・指導にあたる方	指導的立場の職員が自らのメンタルヘルスについての知識を深め、職場でメンタルヘルス対策を促進し、より良い職場環境作りを図ります。	2回	1カ所	12時間(2日)	59人	-	-	-
	介護職のための医学基礎講座	高齢者福祉施設等に勤務する者	高齢者福祉施設職員として必要な感染症や口腔ケアの基礎知識を学びます。	3回	1カ所	5時間(1日)	147人	-	-	-
	レクリエーション研修	社会福祉施設等に勤務する者	利用者のいきがづくりや健康の保持及び増進し、レクリエーション活動に必要な知識と技術を習得します。	1回	1カ所	12時間(2日)	39人	-	-	-
	職場研修担当者研修	社会福祉施設等に勤務する者	職員の資質向上を目的とし、職場研修を推進する際に、研修担当者として必要な知識を習得します。	1回	1カ所	20時間(4日)	27人	-	-	-
	レクリエーションスキルアップ研	社会福祉施設等に勤務する者	職場内におけるレクリエーションの知識及び技能や利用者にもたらす効果等を理解し、利用者一人ひとりにあったレクリエーションを学	2回	1カ所	10時間(2日)	133人	-	-	-
	コミュニケーション力向上のための講習会	社会福祉施設等に勤務する者	社会福祉施設等で利用者やその家族、職場の同僚との信頼関係を構築するため、コミュニケーションについての理解を深め、相手の気持ちを引き出すコミュニケーション技法を習得します。	1回	1カ所	5時間(1日)	46人	-	-	-
	介護職のための救急法講習会	社会福祉施設等に勤務する者	社会福祉施設等で利用者のけがや急病が発生したとき、速やかに利用者の安全確保に努め、正しく救助するために必要な知識及び技術を習得します。	1回	2カ所	5時間(1日)	93人	-	-	-
リスクマネジメント研修	社会福祉施設等に勤務する者	本講集会は、講義と演習を通してリスクマネジメントの重要性を理解し、実践につながる具体的な手法を学びます。	2回	1カ所	12時間(2日)	108人	-	-	-	
介護支援専門員試験事前講習会	「介護支援専門員実務研修受講試験」を受験する者	「介護支援専門員実務研修受講試験」受験に必要な知識を総合的に学習します	1回	1カ所	36時間(7日)	67人	-	-	-	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。下欄にご記入ください。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。下欄にご記入ください。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。下欄にご記入ください。
研修開催場所や研修科目数を増やし、ニーズにあった研修を実施し、チラシを配布するなど、受講促進に努める必要があります。	社会福祉施設等に対してアンケート調査・研修後の受講者アンケートをもとに施設のニーズを把握し、研修テーマやプログラム、開催形態などを工夫しています。	福祉職員の質の向上は大切であるが、特に小規模事業所にとって人員不足の深刻な状況であるため、職員を研修に受講させる体制が整っていない事業所が多く存在し、人材確保・定着の支援が必要と考えています。

事業者団体調査(鳥取県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
鳥取県社会福祉協議会	介護専門職レベルアップ講座	医療、福祉、保健の分野に勤務する専門職及び福祉系有資格者	介護専門職を対象に介護の専門的知識や技術を高め、よりよいサービスを提供することを目的とする。	44回	3カ所	88時間(23日)	1,562人	-	-	-
	住環境整備関係者研修会	住宅改修施工業者、福祉用具供給業者、介護支援専門員等専門職	高齢者、障がい者及びその家族が住宅改修や福祉用具の活用にあたって、福祉用具の活用とその用具の効果を引き出すための住宅改修の導入について、住宅改修関係者等が共通理解を図り、他職種の役割を相互理解した上で、より良いサービスを提供することを目的とする。	14回	2カ所	75時間(14日)	331人	-	-	-
	職員のやる気高めるための中堅的・指導的職員研修会	県内の社会福祉施設及び社会福祉協議会でチームリーダーや指導的職員として業務に従事している方	各職場において、知識や技術の指導だけではなく、“やる気”や“やりがい”を持って働き続けられるような職員育成が行われるよう、職場内リーダー、指導的職員の資質の向上を目的として開催する。	1回	1カ所	5時間(1日)	50人	-	-	-
	階層別(新任・中堅・指導・管理的職員)研修	新任/職務経験年数1年未満の役職にない職員 前年度の福祉施設等採用予定者研修会の受講者 中堅/職務経験年数3~8年で主任・係長の役職にない職員 指導/主任・係長・事務長等の役職にある職員 管理/施設長・副施設長・事務局長等の運営管理職員	福祉サービス事業所及び社会福祉協議会の職員を対象に、階層別(新任、中堅、指導、管理)に分かれ、福祉サービスの基本理念及び動向への理解を深めるとともに、福祉サービスの実践力、職場の課題解決能力等を養う。	1回	新任3カ所、他各1カ所	新任 3時間(1日) 中堅、指導、管理 各34時間(各4日)	新任70人、中堅47人、指導42人、管理12人(計171人)	-	-	-
	福祉マンパワー講習会(潜在的有資格者等再就業支援研修)	福祉職場従事者・経験者、福祉職就労希望者、福祉人材バンク登録者、福祉に関心のある者	福祉人材の養成・確保の一環として、福祉職場に従事した経験のある方、これから就労を希望する方、また、福祉に関心のある方などを対象に、福祉に関する情報の提供を行うことで福祉職場への就労意欲を喚起する。	1回	1カ所	2時間(1日)	184人	-	-	-
	介護職員基礎研修(150時間課程)	訪問介護員養成研修2級課程修了者で1年以上の実務経験がある者	介護職員として将来的には、任用資格は介護福祉士を基本とすべきことを踏まえて、より専門的な知識・技術を習得することを目的とし、「鳥取県介護員養成研修実施要綱」に基づき、鳥取県知事の指定を受け実施する	1回	1カ所	150時間(講義80時間、通信70時間) ・平成21年10月4日~平成22年2月26日 ・6科目16日程	7人	-	-	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
<ul style="list-style-type: none"> ・受講料の妥当性について ・県内講師が少なく、講師養成の研修課程も必要 ・研修講師のスキルアップ ・受講者定員を満たすための呼びかけ方法 ・特に階層別研修の管理職課程では参加が少ないため、各法人・事業所において年間研修計画の位置づけが不十分 ・ニーズ把握につながる研修実施後の追跡・フォローの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに掲載したり、各団体に配布している ・本会が実施する全研修の開催時期(日程)の精査により重複を避ける
	<ul style="list-style-type: none"> ・階層別研修の受講奨励(受講の義務化、受講料助成、など) ・法人役員、管理職員等へ研修の必要性について理解を促す ・施設管理者、有識者等を含む企画会によるカリキュラム開発・検討の実施 ・受講者不在時の職員の補充・賃金の助成等、受講しやすい環境・体制の整備

事業者団体調査(島根県福祉人材センター)

実施主体 質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
島根県福祉人材センター	生涯研修(新任職員研修課程)	福祉職務経験2年未満の職員	新任職員に必要とされる知識や技能の習得を図る	2回	2カ所	26時間(5日)	152人	-	-	-
	生涯研修(中堅職員研修課程)	福祉職務経験2年以上の職員(主任・係長等の役職なし)	中堅職員に必要とされる知識や技能の習得を図る	1回	1カ所	28.8時間(5日)	143人	-	-	-
	生涯研修(指導的職員研修課程)	福祉職場の指導的職員(主任・係長等の役職あり)	指導的職員に必要とされる知識や技能の習得を図る	1回	1カ所	27.5時間(5日)	116人	-	-	-
	職場研修担当者研修会	福祉職場の研修担当者・指導者	職場研修の必要性・推進方法について学ぶ	1回	1カ所	23時間(4日)	43人	-	-	-
	福祉職場OJT推進研修	福祉職場のリーダー・主任クラス・研修担当者等	OJTの重要性・推進体制の理解と効果的な指導方法を学ぶ	1回	1カ所	11時間(2日)	72人	-	-	-
	職場・チーム力向上研修	福祉職場の施設長・管理者・リーダークラス	職場・チームの特性理解・チームマネジメント向上を図る	1回	1カ所	12時間(2日)	80人	-	-	-
	障害者ホームヘルパーフォローアップ研修	障害者(児)ホームヘルプサービスに従事するホームヘルパー	障害者ホームヘルパーの知識・技術の向上を図る	5回	5カ所	34時間(6日)	68人	-	-	-
	ガイドヘルパー養成研修	ガイドヘルプ業務従事(予定)者	ガイドヘルプ業務に必要な知識・技術の習得を図る	4回	4カ所	40時間(8日)	79人	-	-	-
	介護支援専門員実務研修受講試験対策セミナー	介護支援専門員受験資格者	利用者のいきがづくりや健康の保持及び増進し、レクリエーション活動に必要な知識と技術を習得します。	1回	2カ所	34時間(6日)	85人	-	-	-
	介護福祉士国家試験対策セミナー	介護福祉士国家試験予定者	介護福祉士国家試験対策	1回	1カ所	51時間(8日)	103人	-	-	-
行動援護従業者養成研修	行動援護従業(予定)者	行動援護業務に必要な知識・技術の習得を図る	1回	1カ所	20時間(3日)	27人	-	-	-	
重度訪問介護従業者養成研修	重度訪問介護従業(予定)者	重度訪問介護業務に必要な知識・技術の習得を図る	1回	1カ所	20時間(3日)	12人	-	-	-	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
介護職員のキャリアパスに対応した研修体系の構築	ホームページやifax等を活用した情報提供	研修体系の構築と研修実施機関相互の役割分担の明確化、調整、情報共有

事業者団体調査(岡山県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他	
岡山県社会福祉協議会岡山福祉人材センター	接遇セミナー	福祉職場に従事する新任職員	「サービスの時代に求められる人物像」、社会人としての心構え、安心感をあたえる対応の基本対応の実践	1回(2日程度)	1カ所	5時間(1日)	237人	-	-	-	
	接遇リーダー研修会	福祉職場に従事する職場リーダー	「接遇リーダーに求められる役割とマナー」接遇コミュニケーションと顧客満足度、接遇リーダーに求められるもの、指導者としての待遇を再確認、職場の接遇改善に向けて	1回(3日程度)	1カ所	5時間(1日)	201人	-	-	-	
	岡山県福祉職員生涯研修会(新任コース)	新社会人1年目(新規採用者等)及び職務経験2年未満の者	「福祉の理念」「組織活動の基本と仕事の進め方」「チームワークの基本」「コミュニケーション」	1回(3日程度)	1カ所	10.5時間(2日)	176人	-	-	-	
	岡山県福祉職員生涯研修会(中堅コース)	職務経験2年以上で役職(主任、リーダー等)についていない者	「求められる福祉実践の改革と中堅職員の役割」「職場における能力開発」「チームワークの促進とチームアプローチ」「職場の問題解決と課題形成」	1回(4日程度)	1カ所	11時間(2日)	241人	-	-	-	
	岡山県福祉職員生涯研修会(指導コース)	主任・リーダー・係長等の役職にあり、指導的立場にある職員もしくは、指導的立場になることを予定している職員	「組織活動とそのマネジメント」「意識されている課題は何か」「指導者としての課題形成」「介護のあり方、進め方」「後輩(人材)育成のプランニング」「これからの自己開発に向けて」	1回(3日程度)	1カ所	10時間(2日)	172人	-	-	-	
	岡山県福祉職員生涯研修会(管理コース)	県内の福祉関係事務所に勤務している施設長・副施設長・事務局長等の管理経営者	「管理者としての組織管理の推進」「管理職員の問題解決力・課題形成力の養成」「管理者の役割行動とリーダーシップ」「管理職員のリーダーシップにいかすスーパービジョンとコーチング技術」	1回(1日程度)	1カ所	9時間(2日)	63人	-	-	-	
	岡山社会福祉セミナー	県内の社会福祉施設に勤務している、通算勤務年数3年未満の新任教員	「高齢社会の現状と課題」「認知症の基本的理解と関わり」	1回(1日程度)	1カ所	4時間(1日)	199人	-	-	-	
	職場研修担当者研修会	県内福祉施設の研修担当者	「これからの福祉人材の確保・育成と職場研修」「職場研修の考え方と推進方法」「職場研修の推進実態の診断及び研修ニーズの分析」「年度研修計画の策定」「OJT活性化施策の推進」「意図的・計画的指導の推進」「私たちの credo(使命)、ベーンシク(行動規範)」「OFF-JTによる職場研修の推進」「職場内研修者の役割と課題」	1回(1日程度)	1カ所	19.5時間(3日)	52人	-	-	-	
	救急法講習会	県内の社会福祉施設に勤務する職員	利用者のいきがいきづくりや健康の保持及び増進し、レクリエーション活動に必要な知識と技術を習得します。	1回(3日程度)	1カ所	4時間(1日)	148人	-	-	-	
	介護職員実技講習(基礎コース)	県内の社会福祉施設において、直接介護サービス業務に従事している者。介護の業務経験が1年未満程度であること。	「介護職員の専門性と役割」「コミュニケーションの意義と役割」「ボディメカニクスの理解」移乗・移動の介助(食事の姿勢保持)「衣類の脱着の介護」「排泄の介護(身体の清潔・整容)」事例を通じての介護の基礎の確認」	1日(4日程度)	1カ所	10時間(2日)	134人	-	-	-	
介護職員技術講習(ステップアップコース)	県内の社会福祉施設において、直接介護サービス業務に従事している者。介護の業務経験が2年以上であること。	「嚥下・誤嚥の仕組みと対応方法の実例」「自立に向けた動作介助」「口腔機能の説明と口腔ケアの役割」「事例検討～自らの介護法を理論化する」	1回(3日程度)	1カ所	12時間(2日)	94人	-	-	-		
介護職員技術講習(介護技術指導法コース)	各施設で介護技術の研修を担当するもの、もしくは後輩の指導にあたるもの等	「指導者としての心得・指導方法とポイント」「事例にみる技術のポイント」「指導技術の実践」「人を育てる体験発表・人を育てるということ」	1回(3日程度)	1カ所	10時間(2日)	113人	-	-	-		
リスクマネジメント講座	社会福祉施設・事業所の中堅・指導的職員	「社会福祉施設におけるリスクマネジメントの基本的理解」「現場で使えるリスクマネジメント手法について」	1回(2日程度)	1カ所	4.5時間(1日)	188人	-	-	-		
コーチング研修会	施設・事業所の中堅・指導的職員(後輩を指導している人)	「コーチング概要を知る」「人間観」「コーチングの基本スキル」「コーチングのモデルケース」「コーチングを現場で活かすために」	1回(1日程度)	1カ所	12時間(2日)	116人	-	-	-		
メンタルヘルス講習会	中堅・指導・管理職員	「ストレスフルな日常生活の対処法～健康心理学的視点から～」	1回(1日程度)	1カ所	4時間(1日)	81人	-	-	-		

事業者団体調査(岡山県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
岡山県社会福祉協議会岡山福祉人材センター	認知症介護の実践研修(実践者研修)	介護保険施設・事業所に従事する介護職員等(実務経験2年程度以上)のうち次のもの 認知症対応型通所介護事業所の管理者(就任予定者含) 小規模多機能型居宅生活介護事業所の管理者又は計画作成担当者(就任予定者含) 認知症対応型共同生活介護事業所の管理者又は計画作成担当者(就任予定者含) 上記以外の施設で、介護業務に従事している者	「研修の目的と修了者の役割」「高齢者施策の概要」 「認知症高齢者及び家族の理解と人権」 「認知症の医学的理解心理的理解」「認知症介護の理念と基礎」 「生活の捉え方、生活の質の保証とリスクマネジメント」 「アセスメント・ケアプラン・モニタリング」「高齢者虐待防止と成年後見制度」 「高齢者消費者被害の防止」「認知症介護基本技術(コミュニケーション)」	1回(6日程度)	1カ所	27時間(4日)	440人	—	—	—
	介護福祉士国家試験準備講習会	県内で介護福祉士国家試験の受験資格のある者	「社会福祉概論」「老人福祉論」「レクリエーション活動援助法」「社会福祉援助技術」「介護技術Ⅰ」「介護技術Ⅱ」「介護概論」「精神保健」「老人・障害者の心理」「障害者福祉論」「リハビリテーション論」「形態別介護技術」「医学一般」「家政学概論」	1回(1日程度)	1カ所	42時間(7日)	581人	—	—	—
	介護福祉士国家試験(実技試験)準備講習会	県内で介護福祉士国家試験の受験資格のある者	「基本編」・試験に臨む心構え、・介護技術の基本 基本動作のポイント確認 「問題編」・問題に挑戦 模擬問題 過去問題をもとに演習	1回(1日程度)	1カ所	10時間(2日)	75人	—	—	—
	介護支援専門員実務研修受講試験準備講習会	介護支援専門員実務研修受講試験受験資格者	「介護保険制度と介護支援」「介護保険サービス」 「高齢者保健医療」「福祉の基礎知識」 「模擬試験・解説」「直前チェックポイント」	1回(1日程度)	1カ所	17時間(3日)	84人	—	—	—
	介護支援専門員実務・更新(未経験者向け)・再研修	介護支援専門員実務研修受講試験の合格者等	「資格管理手続きオリエンテーション」、「介護保険制度の理念」「ケアマネジメントの基本」、「要介護認定の基礎」、「受付・相談・契約」、「相談面接技術」、「アセスメント・ニーズ把握」、「ケアプランの作成方法」、「実習オリエンテーション」、「実習(アセスメント～ケアプラン作成)」、「ケアプランの自己点検演習」、「サービス担当者会議」、「モニタリング」、「意見交換・助言・講評」、「地域包括支援センターの概要」、「主治医連携」、「介護予防支援」、「介護予防マネジメント」	1回(1日程度)	1カ所	44時間(7日)	905人	—	—	—
	ケアマネジメント技術ステップアップ研修	平成21年度介護支援専門員実・更新(未経験者向け)・再研修修了者、県内の介護支援専門員(初任者・ケアマネジメントの基礎を学びたい方)	「知っておきたい！現場に必要なケアマネジメントの知識」 「アセスメントツールの理解と活用」	1回(1日程度)	1カ所	5.5時間(1日)	159人	—	—	—
	小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	計画作成担当者であって、実践者研修を修了している者	「ケアマネジメント論」、「小規模多機能型サービス事業の理念」	1回(1日程度)	1カ所	7時間(1日)	46人	—	—	—
	認知症対応型サービス事業管理者研修	管理者であって、実践者研修を終了している者	「高齢者虐待防止法」「地域密着型サービス事業の制度理解」 「自己評価、外部評価」「介護従事者の労務管理」 「地域密着型サービス事業～管理者の役割～」	1回(3日程度)	1カ所	7時間(1日)	217人	—	—	—
	認知症対応型サービス事業開設者研修	施設等代表者	「地域密着型サービス事業の制度理解」、「認知症高齢者の理解」、「認知症の医学的理解」、「認知症高齢者ケアのあり方」	1回(1日程度)	1カ所	6時間(1日)	39人	—	—	—

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
<ul style="list-style-type: none"> ・全ての受講希望者を受け入れることができない。 ・他機関との情報共有不足(他機関が実施している研修を十分に情報提供できていない。) ・地区別での開催ができない。(県南での開催が多いのが現状。) ・一部受講態度が悪い受講者がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本会会員施設等への開催要綱の郵送 ・本会HPにおける開催要綱の掲載 ・メールサービスにおける開催要綱の案内。 ・同内容における複数回の開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区別研修開催 ・同内容における複数回の開催 ・他機関との情報共有の徹底(効果的な情報共有についての検討)

事業者団体調査(広島県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他	
広島県社会福祉協議会	社会福祉従事予定者(内定者)研修	新規採用内定者	組織で働くことの重要性とともに、社会人としての自覚を促し、責任感を持って業務に従事できるよう、必要とされる人材や基本マナーについて学び、就業への意欲を高めます。	2回	2カ所	3日	120人	-	-	-	
	福祉職員生涯研修(新任職員)(新卒)	新任	新任職員(新卒者)に期待される基本的役割を理解し、必要となる知識や技能を習得します。	2回	2カ所	3日	130人	-	-	-	
	福祉職員生涯研修(新任職員)(社会人)	新任	新任職員(社会人)に期待される基本的役割を理解し、必要となる知識や技能を習得します。	2回	2カ所	3日	130人	-	-	-	
	社会人としての必要なビジネスマナー研修	新任	社会人として必要な基本的マナーを学びます。	1回	1カ所	1日	60人	-	-	-	
	仕事で知っておきたい時間をうまく活用できる研修	新任	限られた時間の中で本当に重要なことを実行するための時間管理と発想とスキルを習得します。	1回	1カ所	1日	60人	-	-	-	
	新任教員のためのコミュニケーション力向上研修	新任	社会福祉施設・事業所に従事する新任職員に必要な相互理解と接遇に関する知識と技術を学び、実践力を身につけます。	2回	2カ所	1日	100人	-	-	-	
	福祉職員生涯研修(中堅職員)	中堅	中堅職員に期待される基本的役割を理解し、必要となる知識や技能を習得します。	3回	2カ所	3日	220人	-	-	-	
	スーパービジョン基礎研修	中堅	スーパービジョンの意義と基本的な機能・手順について学びます。	1回	1カ所	1日	80人	-	-	-	
	マニュアル作成スキルアップ研修(基本編)	中堅	利用者のいきがづくりや健康の保持及び増進し、レクリエーション活動に必要な知識と技術を習得します。	1回	1カ所	1日	50人	-	-	-	
	マニュアル作成スキルアップ研修(フォローアップ編)	中堅	基本を踏まえ作成したマニュアルをいかに活用し、職場に定着させていけばよいのか、その具体的な手順・方法と仕組み作りについて学びます。	1回	1カ所	1日	50人	-	-	-	
	実践コーチング研修	中堅	中堅係員が自分自身を含めた職場全体のモチベーションを高め、自発的な職務能力・スキルを向上し、実際にコーチングができる人材を養成します。	2回	1カ所	2日	160人	-	-	-	
	コーチングアドバンスコース	中堅	「平成22年度実践コーチング研修」参加者を対象に実際にコーチング技術を活用できる人材を養成します。	1回	1カ所	1日	30人	-	-	-	
	メンタルヘルストレーニング応用研修	中堅、指導的	社会福祉施設・事業所の中堅指導的職員が日常抱えるストレスとのつきあい方やストレスをかかえる職員との接し方など健康管理を含めて、考え方や具体的な対応策などを自分の経験を通し学びます。	2回	2カ所	2日	60日	-	-	-	
	コミュニケーション力向上(アサーティブ)研修	中堅、指導的	相手の要望を受け止めながら自分の感情や思いを上手に伝える方法を学びます。	1回	1カ所	1日	60人	-	-	-	
	職場内研修担当職員基礎研修	指導的	職場内職員研修担当者を対象として「職場研修」の運営実務に関する知識及び技術を習得し、個々の「職場研修」の整備について実践的に学びます。	2回	2カ所	2日	120人	-	-	-	
	スーパーバイザー養成基礎研修	指導的	スーパービジョンの基礎を学び職場内でスーパーバイザーに求められる役割と技術について、演習を交えて実践的に学ぶことにより、職員の相談・育成・支援に関わる人材の養成を行います。	1回	1カ所	5日	25人	-	-	-	
スーパーバイザーフォローアップ研修	指導的	スーパービジョン基礎講座受講者のレベルアップを目指します。	1回	1カ所	1日	20人	-	-	-		

事業者団体調査(広島県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他	
広島県社会福祉協議会	リスクマネジメント研修	指導的	社会福祉施設・事業所におけるリスクマネジメントの考え方や具体的な対応策など、リスクマネジメントの仕組み作り・体制作りのために必要な実務について学びます。	1回	1カ所	1日	140人	—	—	—	
	福祉職員生涯研修(指導的職員)	指導的、ミドル	指導的職員に期待される基本的役割を理解し、必要となる知識や技能を習得します。	1回	1カ所	3日	80人	—	—	—	
	職場内研修担当職員応用研修	指導的、ミドル	今年度の職場内研修を振り返るとともに、今後の効果的な職場内研修に向けてカリキュラム策定方法や有効な技法について実践的に学びます。	1回	1カ所	1日	60人	—	—	—	
	管理者のための組織管理研修	ミドル、トップ	組織の基盤づくり、内部統制・情報公開・説明責任などの理解を深めます。	1回	1カ所	1日	40人	—	—	—	
	管理者のためのサービス管理研修	ミドル、トップ	業務手順や顧客満足度の把握、成功要因の分析(事例研修について学びます。)	1回	1カ所	1日	40人	—	—	—	
	知っておきたい! 運営管理者のための労務管理能力向上研修	ミドル、トップ	①管理者の基本の共通理解、②管理者としての計画スキル、③管理者としての指導スキルの向上を目的とし、ビジネスコーチングを活用した計画管理と部下指導の実践を学びます。	1回	1カ所	1日	80人	—	—	—	
	運営管理者のための部下とコミュニケーション力向上(アサーティブ)研修	ミドル、トップ	広い視野・視点で、部下の強みや持ち味を活かしながら育成する考え方を学び、「想い」を紡ぎ、部下を元気にするコミュニケーションスキルを習得します。	1回	1カ所	1日	40人	—	—	—	
	運営管理者のための部下のメンタルヘルス向上研修	ミドル、トップ	メンタルヘルスに関する知識と技術を学び、職場のメンタルヘルス問題へのリスク感覚を養い、関連症状の理解とともに管理者が実践しやすい適切な対応方法について学びます。	2回	2カ所	1日	60人	—	—	—	
	福祉職員生涯研修(運営管理者)	トップ	運営管理者に期待される基本的役割を理解し、必要となる知識や技能を習得します。	1回	1カ所	2日	50人	—	—	—	
	運営管理者のための福祉経営総論研修	トップ	事業展開の策定手法、自律的経営に向けた体質改善への理解を深めます。	1回	1カ所	1日	40人	—	—	—	
	運営管理者のための社会副法人財務管理研修	トップ	社会福祉法人会計基準の適切な運用方法と安定的な法人経営のための財務管理の基本視点について、事例を交えながら学びます。	1回	1カ所	1日	80人	—	—	—	
	防災安全研修(通所)	関係職員	煙中避難などの体験者各種消防設備を使用した実践的な訓練を通じて、行動力、判断力をみにつけ、必要な知識や専門技術を習得します。	1回	1カ所	1日	60人	—	—	—	
	防災安全研修(入所)	関係職員	夜間訓練など実践的な訓練を通じ、行動力、判断力をみにつけ、必要な知識や専門技術を習得します。	3回	1カ所	2日	75人	—	—	—	
	人権擁護研修	関係職員	身近なことから人権問題について学び、人権意識の高揚に主体的かつ積極的に取り組むことができる人材を養成します。	2回	2カ所	1日	100人	—	—	—	
	医学知識習熟基礎研修	関係職員	介護に求められる基礎的な医学知識を学びます。	2回	2カ所	1日	90人	—	—	—	
	保健衛生担当職員研修	関係職員	社会福祉施設・事情所における保健衛生管理に必要な知識及び技術を学びます。	2回	2カ所	1日	160人	—	—	—	
社協経理研修	関係職員	社協会計の基礎について学び日々の会計処理の困りごとを解決します。	1回	1カ所	1日	30人	—	—	—		

事業者団体調査(広島県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他	
広島県社会福祉協議会	食の知識・技術スキルアップ研修	関係職員	嚥下の仕組みと食べる機能の基本的な理解をはじめ、安全においしく食べていただくためのアプローチ方法を学び、食事介助の演習により食事ケアのスキルアップを目指します。	2回	2カ所	2日	110人	—	—	—	
	救急対応技術(AEDを学ぶ)研修	関係職員	AED使用方法等について学びます。	4回	1カ所	1日	120人	—	—	—	
	口腔ケア基礎研修	介護職員等関係職員	口腔に関する基礎的な知識や実践的なケアの方法を身につけます。	1回	1カ所	1日	60人	—	—	—	
	介護職のための最新介護知識技術向上研修	介護職員等関係職員	最新の介護知識・技術(腰痛予防等含む)を学びます。	1回	1カ所	1日	80人	—	—	—	
	相談援助職のための面接技術スキルアップ研修	生活相談員関係職員	介護職の職員が行う相談業務のスキルアップを目指します。	1回	1カ所	1日	60人	—	—	—	
	社会福祉法人理事研修	社会福祉法人理事	法人指導監査の状況と関連施策の動向を確認し、適切な法人運営を行うための理事の役割と財務諸表の基本的な見方について学びます。	2回	2カ所	0.5日	200人	—	—	—	
	社会福祉法人監事研修	社会福祉法人監事	監事監査の種類・特徴を把握し法人会計監査上の着眼点と決算書(財務諸表)の見方のポイントについて学びます。	2回	2カ所	0.5日	200人	—	—	—	
	子育て支援スタッフ研修	保育士及び児童関係施設職員	被虐待児の心のケア、保護者に対する相談援助技法、発達障害児との関わり等について学びます	1回	1カ所	1日	60人	—	—	—	
	今日からつかえる「労働保険と社会保険」の実務研修	事務担当職員	労働保険・社会保険実務の的確な事務処理能力の向上と適切な労務管理について認識を深めます。	2回	2カ所	1日	140人	—	—	—	
	社会福祉法人新会計基準研修	会計担当職員	社会福祉法人の新会計基準の適切な運用方法と安定的な法人運営のための財務管理の基本視点について、事例を交えながら学びます。	3回	2カ所	1日	230人	—	—	—	
	記録の方法と活用研修(老)	高齢者関係施設・事業所(訪問介護を除く)職員	ケース記録にに焦点を絞り、記録の意義や目的を理解し、記録の大原則を確認するとともに、より良い記録の取り方について演習を交えて学びます。	1回	1カ所	1日	70人	—	—	—	
	記録の方法と活用研修(障害・児)	障害者・児童関係施設事業所(保育所を除く)職員	ケース記録にに焦点を絞り、記録の意義や目的を理解し、記録の大原則を確認するとともに、より良い記録の取り方について演習を交えて学びます。	1回	1カ所	1日	60人	—	—	—	
	地域密着型サービス職員のための防災安全研修	認知症高齢者グループホーム職員及び小規模多機能型居宅介護事業所職員	認知症対応型グループホーム、小規模多機能型居宅介護事業所の火災事故に対応するために必要な知識及び技術を習得します。	2回	2カ所	1日	50人	—	—	—	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
<ul style="list-style-type: none"> ○研修案内に係る広報 ○講師の確保・開拓 ○研修参加費と収支のバランス ○施設・事業所のニーズに応じきれていないこと(定員・内容・実施場所) 	<ul style="list-style-type: none"> ○研修事業の積極的広報 ○同研修の複数回実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設・事業所が実施する職場内研修と外部機関(県社協)が実施する研修に連動性をもたせる仕組みが必要。

事業者団体調査(山口ひとつくり財団)

実施主体 質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業)	9 その他	
(財)山口ひとつくり財団 社会福祉研修部	老人福祉施設職員研修(新任職員研修)	特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム及びこれらの施設に併設のデイサービスセンターの新任職員並びに認知症高齢者グループホーム	これからの介護サービスを担っていく新任職員として業務の基礎となる介護サービスの動向、職業倫理、社会人としてのマナーについて学ぶ。	4回	1カ所	7日	245人	500円	-	-
	老人福祉施設職員研修(中堅職員第1部研修)	特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム及びこれらの施設に併設のデイサービスセンター並びに認知症高齢者グループホームの職員で、老人福祉施設等における実務経験が2年以上5年未満の方	老人福祉施設の中堅職員として、質の高いケアを実践していくために必要な知識・技術を学ぶことにより、専門性の向上を継続的に目指していくための土台づくりとする。	2回	1カ所	4日	148人	500円	-	-
	老人福祉施設職員研修(中堅職員第2部研修)	特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム及びこれらの施設に併設のデイサービスセンター並びに認知症高齢者グループホームの職員で、老人福祉施設等における実務経験が5年以上の方。ただし、主任、係長等の職にない方。	「高齢者の尊厳を支えるケアの確立」をめざして、老人福祉施設の中堅職員として、これまで実践してきた介護サービスを改めて見直し、日常業務の中で改善・工夫していくための研修の場とする。	1回	1カ所	2日	76人	500円	-	-
	児童・障害者(児)福祉施設職員研修(新任職員研修(障害福祉施設コース))	障害児福祉施設、障害者支援施設、相談支援事業所、知的障害者援護施設、身体障害者更生援護施設、障害福祉サービス事業所、障害者就業・生活支援センター、精神障害者社会復帰施設、救護施設、地域活動支援センター、障害福祉サービス事業所、デイケアハウスにおける新任職員	社会福祉施設で働く社会人として、また組織の一員としての基本姿勢を学ぶとともに、専門職としての基礎知識、自己管理の手法を習得する。	4回	1カ所	6日	277人	500円	-	-
	児童・障害者(児)福祉施設職員研修(中堅職員第1部研修(障害福祉施設コース))	児童・障害者(児)福祉施設等の業務に従事する職員で勤務年数2年以上5年未満の者	仕事の段取り術について学び、業務を客観的に見直し改善を図るとともに具体的な事例研究をとおして援助職としての資質の向上を図る。	1回	1カ所	2日	42人	500円	-	-
	児童・障害者(児)福祉施設職員研修(中堅職員第2部研修(障害福祉施設コース))	児童・障害者(児)福祉施設等の業務に従事する職員で勤務年数5年以上の者	「強度行動障害」について具体的な支援方法について学び、専門性の向上を図る。自分を見つめる時間の中で、ストレスマネジメントの手法を学び、自己管理能力の向上を図る。	1回	1カ所	2日	51人	500円	-	-
	認知症介護実践研修(実践者研修)	認知症介護業務従事者	認知症介護の基本理念、基本的知識の習得	2回	1カ所	5日(他施設実習1日)(自施設実習4週間)	139人	10,000円	-	-
	認知症介護実践研修(実践リーダー研修)	基礎課程又は実践者研修修了者で介護業務に概ね5年以上従事した経験を有する者	認知症介護の専門職員の養成及び事業所内のケアチームを効率的に機能させる指導者の養成	2回	1カ所	7日(他施設実習3日)(自施設実習4週間)	30人	12,000円	-	-
	訪問介護テーマ別技術向上研修	現在の2級以上の訪問介護員等	利用者のいきがいきづくりや健康の保持及び増進し、レクリエーション活動に必要な知識と技術を習得します。	6回	1カ所	6日	424人	1,000円	-	-
質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。		質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。		質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。						
当財団の研修は主として山口県からの委託で実施しているが、年々委託料が減額される傾向にあり、質の低下や受講料の上昇を懸念するところである。		アンケートなどをもとにして、実施時期や実施方法(日程、回数など)等をできるだけ参加しやすいように計画している。また受講料をなるべく安くするよう配慮している。		実施時期や実施方法、受講料などへの配慮。						

事業者団体調査(徳島県社会福祉協議会)

実施主体 質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業)	9 その他	
徳島県社会福祉協議会	社会福祉新規採用職員研修会	初めて福祉職に就いた社会福祉施設・社協等の職員	・社会福祉の動向と福祉従事者としての心構え ・現場で役立つ救急法 ・職場の人間関係の作り方 ・接遇マナー	2回	1カ所	18時間(3日)	およそ120人	-	-	-
	社会福祉新任職員研修会	業務3年未満の社会福祉施設職員、社協職員	・社会福祉の動向と福祉従事者としての心構え ・職場の人間関係の作り方 ・接遇マナー ・チームの重要性と組織理解 ・福祉レクリエーション	2回	1カ所	18時間(3日)	およそ120人	-	-	-
	社会福祉中堅職員研修会	業務経験が3年以上の社会福祉施設職員・社協職員で、係長・課長等の役職に就いている者	中堅職員に求められるスーパービジョンの技法	1回	1カ所	6時間(1日)	およそ70人	-	-	-
	社会福祉指導的職員研修会	業務経験が3年以上の社会福祉施設職員・社協職員で、係長・課長等の役職に就いている者	社会福祉施設と地域の協働・問題解決のプロセス	1回	1カ所	12時間(2日)	およそ60人	-	-	-
	コミュニケーション強化セミナー	社会福祉施設職員・社協の職員	効果的な仕事集団になるためのコミュニケーション	1回	1カ所	6時間(1日)	およそ50人	-	-	-
	接遇・マナー研修会	社会福祉施設職員・社協の職員	接遇の持つ特性、電話対応のポイントなど	1回	1カ所	6時間(1日)	およそ60人	-	-	-
	ストレスマネジメント研修会	社会福祉施設職員・社協の職員	職員のストレスをコントロールするスキル学習、利用者への心理的関わりについて	1回	1カ所	6時間(1日)	およそ50人	-	-	-
	クレーム対応力強化セミナー	社会福祉施設職員・社協の職員	福祉サービスにおけるクレーム対応	1回	1カ所	6時間(1日)	およそ60人	-	-	-
	組織マネジメント研修会	社会福祉施設職員・社協の職員	利用者のいきがいづくりや健康の保持及び増進し、レクリエーション活動に必要な知識と技術を習得します。	1回	1カ所	18時間(3日)	およそ30人	-	-	-
	福祉カウンセリング実践講座	社会福祉施設職員・社協の職員	福祉カウンセリングの理解と実践	1回	1カ所	12時間(2日)	およそ50人	-	-	-
	地域ケアマネジメント研修会	社会福祉施設職員・社協の職員	地域に存在する社会資源の活用、他職種との連携方法についてなど	1回	1カ所	6時間(1日)	およそ40人	-	-	-
	福祉の職場研修担当者養成研修	社会福祉施設職員・社協の職員	職場内の効果的な研修開催方法	1回	1カ所	6時間(1日)	およそ40人	-	-	-
	介護福祉士準備講座	社会福祉施設・社協に勤める者で、今年度介護福祉士国家試験を受験予定の者	介護福祉士国家試験(筆記試験)対策	1回	1カ所	30時間(5日)	およそ30人	-	-	-
	介護福祉士実技講座	社会福祉施設職員・社協の職員	介護福祉士国家試験(実技試験)のポイント	3回	1カ所	6時間(1日)	およそ90人	-	-	-
	効果的な組織運営を行うための研修会	社会福祉施設職員・社協の職員	組織の運営・管理に必要な知識・技術の習得	1回	1カ所	6時間(1日)	50人	-	-	-
	コミュニティ・ソーシャルワーク研修会	社会福祉施設職員・社協の職員	地域を基盤としたあらゆる分野の社会福祉を総合的・横断的に捉え、実践へ活かす方法を学ぶ。	1回	1カ所	6時間(1日)	50人	-	-	-
	チームカンファレンス実践講座	社会福祉施設職員・社協の職員	関わるケースにおける解決課題を整理し、必要な視点やネットワークづくりの技法等について学ぶ。	1回	1カ所	6時間(1日)	50人	-	-	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
・介護福祉士国家試験(筆記試験)の内容について、5日間で効果的な研修会を実施するためのプログラムづくり、講師の確保。	・介護職員に絞っているわけではないが、受講しやすくするために、年間3回程度は今後のスケジュールを前もって通知するようにしている。	・事業所の内部に研修体系を創る。(外部の研修、内部の研修) ・もちろん、多くの方に受講していただくことも必要だが、ひとりの職員がより効果的に継続して研修会を受講できる仕組み、事業所に呼びかけ、築いてもらう必要がある。

事業者団体調査(かがわ健康福祉機構)

実施主体 質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他	
(財)かがわ健康福祉機構	施設等新任職員研修	社会福祉施設等に勤務して概ね2年未満の者	・福祉サービスの理念・動向と職業倫理 ・新任職員の役割行動 ・コミュニケーションの基本 ・問題解決とチームワーク	2回	1カ所	13時間(2日)	206人	-	-	-
	高齢者福祉施設等職員研修	高齢者福祉施設職員等	どうすれば職員のモチベーションを高めることができるか -利用者本位サービスを担う事業所となるために取り組むべきこと-	1回	1カ所	5時間(1日)	115人	-	-	-
	訪問介護適正実施研修	指定訪問介護事業所のサービス提供責任者	・訪問介護サービスの現状における諸問題 ・さまざまな問題(医療関連、リスク等)の解決に向けて -状態の把握と分析、具体的な援助方法-	1回	1カ所	6時間(1日)	115人	-	-	-
	訪問介護計画作成・展開研修	指定訪問介護事業所のサービス提供責任者等	・介護課題への気付き、利用者が期待する訪問介護 ・高齢者の口腔ケア-口をのぞけば介護が見える- ・医療依存度の高い人のケアについて ・訪問介護計画への対応。訪問介護計画作成と展開	1回	1カ所	19.5時間(3日)	77人	-	-	-
	レクリエーション・アクティビティ研修	入所施設やデイサービスセンター等においてレクリエーション及び介護予防プログラムを担当する職員等	・コミュニケーションスキルをアップして心地よい介護につなげよう ・脳の活性化に繋げる愉快的なゲームの遊び方 坊主めぐり、サイコロゲーム、将棋ゲームなど	1回	1カ所	5.5時間(1日)	150人	-	-	-
	ファミリーカウンセリング研修	在宅支援サービス担当職員	・家族を見る視点 ・アセスメントを検討する ・事例検討 ロールプレイ	1回	1カ所	5時間(1日)	75人	-	-	-
	介護技術特別研修	介護担当者	・利用者本位の介助技術 -感情労働としての介護職の専門性- ・心地よさを増す介護テクニック	1回	1カ所	6時間(1日)	140人	-	-	-
	介護福祉士養成実習施設実習指導者研修	介護福祉士として3年以上の実務経験があり、実習施設における実習指導者になる者及び現任者	・介護の基本。実習指導の理論と実際 ・介護過程の理論と指導方法 ・スーパービジョンの意義と活用及び学生理解 ・実習指導の方法と展開。実習指導の課題への対応	1回	1カ所	2.5時間(4日)	103人	-	-	-
	施設実習指導者ステップアップ研修	介護福祉士養成実習施設の実習指導者等	利用者のいきがづくりや健康の保持及び増進し、レクリエーション活動に必要な知識と技術を習得します。	1回	1カ所	20時間(4日)	メニュー式で延べ230人(3コース)	-	-	-
	福祉従事者等キャリアアップ支援研修	実務経験2年以上の介護職員等	・自立支援の基盤となるもの、専門職の連携による利用者理解 ・豊かな人間理解と介護の原則、個別性の尊重と人の尊厳 ・セーフティマネジメントのプロセス、安全配慮義務と施設介護サービス計画 ・難病の基礎知識、「介護」「遊び」にそりハビリテーション	1回	1カ所	20時間(4日)	メニュー式で延べ335人(4コース)	-	-	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。下欄にご記入ください。 研修への参加希望は多くなっているが、受講者の基礎知識・スキルのばらつきが大きく系統立てた研修の企画が難しくなっている。仕事に対する価値観、職業倫理のばらつきも大きい。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。下欄にご記入ください。 ・年度の初めに全施設の施設長あて、「施設職員一人一人の研修を検討(計画)の上、当所のどの研修に派遣していただけるか」の一括した申込書を郵送し、年間の研修申込み書の提出(回答)を依頼している。 ・当機構研修部のホームページにその都度研修のお知らせを掲載しているが、県の委託・補助事業については、県のホームページにも掲載してもらっている。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。下欄にご記入ください。 ・きめ細かい研修を行うには適正な人員であることが大切だが、少人数だと受講料に跳ね返り高額となる。また駐車料金負担等もあり、回を重ねての受講は経済的にも難しい意見も多い。受講料の補助ができれば参加しやすくなると思う。 ・研修の参加で施設等を留守にすると他の職員に負担がかかるという本人の負担感と、施設長の「現場の職員定数減・定員数の未達成」となる意見があり、代替職員派遣制度等があれば研修の参加がしやすくなると思う。
--	--	---

事業者団体調査(愛媛県社会福祉協議会)

実施主体 質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。

1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
「福祉の職場」職員研修 新任職員研修会	経験年数2年未満の職員	新任職員に期待される役割を理解し、必要な知識や技術を習得する。	2回	1カ所	5時間(1日)	93名	-	-	-
「福祉の職場」職員研修 中堅職員研修会	経験年数10年程度の職員	中堅職員に期待される役割を理解し、必要な知識や技術を習得する。	1回	1カ所	5時間(1日)	46名	-	-	-
「福祉の職場」職員研修 管理職員研修	管理職員	管理職員に期待される役割を理解し、必要な知識や技術を習得する。	1回	1カ所	10時間(2日)	28名	-	-	-
ストレスマネジメント研修会	人事・労務管理職員	職場におけるストレスマネジメントの知識や技術を習得する	1回	1カ所	5.5時間(1日)	70名	-	-	-
人事労務管理研修会	人事・労務管理職員	人事労務に関する知識や技術を習得する	1回	1カ所	5時間(1日)	88名	-	-	-
介護相談担当者研修会	相談援助業務担当職員	要介護高齢者を抱える家族を理解し、相談援助技術を習得する	1回	1カ所	5時間(1日)	33名	-	-	-
サービス向上研修会 個人情報と内部告発制度	福祉サービス事業従事者	個人情報と内部告発制度についての知識を習得する	1回	1カ所	3.5時間(1日)	99名	-	-	-
サービス向上研修会 コンプライアンス	福祉サービス事業従事者	法令遵守・倫理・ハラスメントについての知識を習得する	1回	1カ所	3.5時間(1日)	141名	-	-	-
サービス向上研修会 リスクマネジメント	福祉サービス事業従事者	利用者のいきがいきづくりや健康の保持及び増進し、レクリエーション活動に必要な知識と技術を習得します。	1回	1カ所	3時間	178名	-	-	-
サービス向上研修会 ケアとサービスの標準化	福祉サービス事業従事者	ケアとサービスの標準化(マインド ノウハウ)についての知識を習得する	1回	1カ所	3.5時間(1日)	122名	-	-	-
サービス向上研修会 スーパービジョン(中級編)	福祉サービス事業従事者	スーパービジョン(中級編)についての知識を習得する	1回	1カ所	3.5時間(1日)	104名	-	-	-
サービス向上研修会 ファシリテーション(基礎編)	福祉サービス事業従事者	ファシリテーションについての知識を習得する	1回	1カ所	5.5時間(1日)	76名	-	-	-
サービス向上研修会 権利擁護	福祉サービス事業従事者	権利擁護についての知識を習得する	1回	1カ所	3.5時間(1日)	143名	-	-	-
住宅改修・福祉用具活用セミナー(基礎コース)	地域における在宅介護の相談に携わっている者	住宅改修と福祉用具に関する基礎的な知識や技術を習得する	1回	1カ所	12時間(3日)	27名	-	-	-
介護職員基礎研修(1級修了者)	ホームヘルパー1級修了者で実務経験1年以上の者	介護職員養成研修における介護職員基礎研修の資格を取得する	1回	1カ所	60時間(5日)	1名	-	-	-
介護職員基礎研修(2級修了者)	ホームヘルパー2級修了者で実務経験1年以上の者	介護職員養成研修における介護職員基礎研修の資格を取得する	1回	1カ所	150時間(14日)	12名	-	-	-
介護福祉士国家試験全国統一模擬試験 基礎編	介護福祉士国家試験受験予定者	介護福祉士国家試験(筆記試験)に向けた模擬試験を実施する	1回	1カ所	4時間(1日)	81名	-	-	-
介護福祉士国家試験 実力編	介護福祉士国家試験受験予定者	介護福祉士国家試験(筆記試験)に向けた模擬試験を実施する	1回	1カ所	4時間(1日)	208名	-	-	-
介護福祉士国家試験受験対策講座 筆記	介護福祉士国家試験受験予定者	介護福祉士国家試験(筆記試験)に向け、必要な知識を習得する	1回	1カ所	16.5時間(3日)	103名	-	-	-
介護福祉士国家試験受験対策講座 実技	介護福祉士国家試験(実技試験)受験予定者	介護福祉士国家試験(実技試験)に向け、必要な技術を習得する	2回	1カ所	5時間(1日)	58名	-	-	-
介護支援専門員受験対策講座	介護支援専門員実務研修受講試験受験予定者	介護支援専門員実務研修受講試験に向け、必要な知識を習得する	1回	1カ所	22時間(4日)	362名	-	-	-
介護職員技術向上講習 身体介護・初級コース	実務経験2年程度の介護職員	介護職員としての役割を理解し、必要な介護技術を習得する	2回	1カ所	6時間(1日)	70名	-	-	-
介護職員技術向上講習 身体介護・中級コース	実務経験2年～5年程度の介護職員	介護職員としての役割を理解し、必要な介護技術を習得する	2回	1カ所	6時間(1日)	55名	-	-	-
介護職員技術向上講習 身体介護・上級コース	実務経験5年以上の介護職員	介護職員としての役割を理解し、必要な介護技術を習得する	2回	1カ所	6時間(1日)	45名	-	-	-
身体介護・テーマ(介護現場における医療連携)	実務経験3年以上の介護職員	介護現場における医療連携について習得する	1回	1カ所	6時間(1日)	34名	-	-	-
身体介護・テーマ(体位変換等)	実務経験3年以上の介護職員	体位・姿勢変換、車いす移乗等の介護技術を習得する	1回	1カ所	6時間(1日)	48名	-	-	-

事業者団体調査(愛媛県社会福祉協議会)

実施主体 質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。											
1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他		
愛媛県社会福祉協議会	身体介護・テーマ(着脱・食事等)	実務経験3年以上の介護職員	衣服着脱、食事等の介護技術を習得する	1回	1カ所	6時間(1日)	49名	-	-	-	
	身体介護・テーマ(排泄等)	実務経験3年以上の介護職員	排泄、尿失禁等の介護技術を習得する	1回	1カ所	6時間(1日)	48名	-	-	-	
	身体介護・テーマ(清潔等)	実務経験3年以上の介護職員	からだの清潔、寝具の清潔(シーツ交換)等の介護技術を習得する	1回	1カ所	6時間(1日)	48名	-	-	-	
	認知症介護 実践者研修	認知症高齢者の介護業務が2年以上の者	認知症介護に関する専門的な知識や技術を習得する	4回	1カ所	36時間(5日)	242名	-	-	-	
	認知症介護 認知症対応型サービス事業管理者研修	実践者研修終了者で管理者となることが予定される者	事業所を管理・運営していく上で必要な知識や技術を習得する	2回	1カ所	13時間(2日)	151名	-	-	-	
	認知症介護 実践リーダー研修	実践者研修修了者で認知症高齢者の介護業務が5年以上の者	ケアチームを効果的に機能させる知識や技術を習得する	2回	1カ所	46時間(7日)	99名	-	-	-	
	介護職員技術向上講習 認知症介護・初級コース	実務経験2年未満の介護職員	認知症に関する正しい知識を習得する	1回	1カ所	4時間(1日)	48名	-	-	-	
	介護職員技術向上講習 認知症介護・中級コース	実務経験2年～5年程度の介護職員	認知症に関する正しい知識や技術を習得する	1回	1カ所	10.5時間(2日)	60名	-	-	-	
	介護職員技術向上講習 認知症介護・上級コース	実務経験5年以上の介護職員	認知症ケアのリーダーとしての知識や技術を習得する	1回	1カ所	5時間(1日)	59名	-	-	-	
	介護保険サービス事業者講習会(訪問介護事業所サービス提供責任者研修)	訪問介護事業所でサービス提供責任者として実務に従事している者	サービス提供責任者として必要な知識や技術を習得する	1回	1カ所	12時間(2日)	127名	-	-	-	
	訪問介護員テーマ別技術向上講習会(6テーマ)	訪問介護事業所でホームヘルパーとして実務に従事している者	訪問介護サービスに必要な知識や技術を習得する(6テーマ)	1回	1カ所	36時間(6日)	231名	-	-	-	
	訪問介護員養成研修等指導員講習会(介護実技普及指導員認定研修)	介護員養成研修等の指導を行っている者	指導者として必要な知識や技術を習得する	1回	1カ所	28時間(4日)	21名	-	-	-	
	訪問介護員介護技術再点検講習	訪問介護員として実務経験が5年以上の者	介護技術の再点検を行い、専門性の保持・向上を図る	1回	1カ所	6時間(1日)	54名	-	-	-	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。下欄にご記入ください。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。下欄にご記入ください。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。下欄にご記入ください。
研修内容の充実と相反する効率性、必要性(義務を含む)に相反する採算性との葛藤。PR経費とそれに見合う参加があるかどうかのリスク。事業所へ案内しているが、事業所が、対象となる職員や希望する職員まで情報を周知しているのかどうか。	参加者アンケートは言うに及ばず、種別協議会の諸会議や専門誌等からの情報収集を怠らず、時宜に応じた研修の企画に努めている。また、参加者が多い研修会については、同様の内容を複数日開催し、参加出来る機会を増やすよう努めている。	休日扱いの研修参加ではなく、業務として参加出来ること。さらに参加経費を事業所負担とすればより効果的。また研修参加者の代替を置けるだけの余裕を持った人員配置が望まれる。事業所が積極的に職員を参加させる姿勢、支援が望まれる。

事業者団体調査(高知県社会福祉協議会)

実施主体 質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人あたり)	8 費用(総事業費)	9 その他
高知県社会福祉協議会	認知症介護実践研修「実践者研修」「実践リーダー研修」	①実践者研修「身体介護に関する基礎的知識・技術を習得している者であって、実務経験が概ね2年以上の者。」 ②リーダー研修「介護保険施設・事業所において、介護業務に概ね5年以上従事した経験を有する者であり、実践者研修を修了し、1年以上を経過している者。」	①実践者研修「認知症高齢者の介護に必要な知識・技術の身につけ実践力を養う」 ②リーダー研修「職場において効果的なチームケアを実践し、認知症ケアの質の向上を図る」	①実践者研修 3回 ②リーダー研修 1回	①実践者研修 1カ所 ②リーダー研修 1カ所	①実践者研修 41時間30分(6日間) ②リーダー研修 50時間(9日間)	-	-	-
	認知症介護実践研修「管理者研修」「開設者研修」「小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修」	①管理者研修「地域密着型サービス事業所の管理者または管理者になることが予定されている者」 ②開設者研修「指定小規模多機能型居宅介護事業所及び指定認知症対応型共同介護事業所の代表者または代表者になることが予定される者」 ③計画作成担当者研修「指定小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成担当者となる者」	①管理者研修「事業所を管理・運営していく上で必要な知識・技術を習得する」 ②開設者研修「事業所を運営していく上で必要な知識・技術を習得する」 ③計画作成担当者研修「計画を適切に作成するうえで必要な知識・技術を習得する」	①管理者研修 2回 ②開設者研修 1回 ③計画作成担当者研修 2回	①管理者研修 1カ所 ②開設者研修 1カ所 ③計画作成担当者研修 1カ所	①管理者研修 13時間30分(2日) ②開設者研修 13時間(2日) ③計画作成担当者研修 14時間(2日)	-	-	-
	障害者ケアマネジメント相談支援従事者研修「初任者研修」「現任者研修」「サービス管理責任者研修」	①初任者研修「障害者の相談支援業務に従事している者もしくは従事する予定である者など」 ②現任者研修「障害者の相談支援業務等に従事している者で、前年度までに相談支援従事者「初任者」研修等を修了している者」 ③サービス管理責任者研修「サービス管理責任者の要件である実務経験を満たす者など」	①初任者研修「地域の障害者等の生活を支援するための援助技術を、支援方法を学ぶ」 ②現任者研修「障害者等の困難事例等に対する支援方法についての助言、日常の相談支援業務の検証を行う」 ③サービス管理責任者研修「サービスの質の確保に必要な知識、技能を有するサービス管理責任者の養成を図る」	①初任者研修 1回 ②現任者研修 1回 ③サービス管理責任者研修 4回	①初任者研修 1カ所 ②現任者研修 1カ所 ③サービス管理責任者研修 1カ所	①初任者研修 3時間30分(5日) ②現任者研修 20時間(3日) ③サービス管理責任者研修 19時間(3日)	-	-	-
	介護支援専門員研修「専門研修」「更新研修」	①専門研修 実務に従事している者(I-6カ月以上、II-3年以上) ②更新研修 有効期限が1年以内に到来する者	①専門研修「一定の実務経験をもとに必要な応じた専門知識、技能の習得を図る」 ②更新研修「資格の更新に必要な知識及び技能の向上を図る」	①専門研修 2回 ②更新研修 3回	①専門研修 1カ所 ②更新研修 1カ所	①専門研修 (I-35時間(7日)、II-26時間(3日)) ②更新研修 (I-35時間(7日)、II-26時間(3日)、未経験-45時間(6日))	-	-	-
	介護支援専門員研修「実務従事者基礎研修」「主任研修」	①基礎研修 実務終了後概ね1年未満の方 ②主任研修 十分な知識と経験を有する方	①基礎研修「実務従事者としての必要な技術・技能の研鑽を図る」 ②主任研修「サービスを提供する者との連絡調整、他の介護支援専門員に対する助言・指導などケアマネジメントが適切かつ円滑に提供されるために必要な業務に関する知識及び技術の習得を図る」	①基礎研修 1回 ②主任研修 1回	①基礎研修 1カ所 ②主任研修 1カ所	①基礎研修 31時間(4日) ②主任研修 64時間(9日)	-	-	-
	介護支援専門員研修「実務研修」	受講試験に合格した方	必要な知識、技能の習得を図る	2回	1カ所	46時間(6日)	-	-	-
	難病患者等ホームヘルパー養成研修	基礎課程I「ホームヘルパー2級課程の修了者又は履歴者の者、介護福祉士」 基礎課程II「介護職員基礎研修若しくは1級課程研修の修了者又は履歴者の者、介護福祉士」	難病患者等の多様化するニーズに対応した適切なサービスを提供するために必要な知識、技能を有するホームヘルパーの養成を図る。	基礎課程I 1回 基礎課程II 1回	基礎課程I 1カ所 基礎課程II 1カ所	基礎課程I 4時間(1日) 基礎課程II 6時間(1日)	-	-	-
	福祉職場新任職員研修会	新任職員(経験年数概ね1年未満)	①対人援助者としての接遇・サービスマナー ②福祉従事者の心得	1回	1カ所	11時間30分(2日)	-	-	-
	介護基本研修会	社会福祉・介護保険施設及び事業所の職員等	利用者のいきがいくつりや健康の保持及び増進し、レクリエーション活動に必要な知識と技術を習得します。	11回	5カ所	6時間(11日)	-	-	-
	基礎から学ぶ健康管理・服薬管理研修会	介護従事者等	①健康管理のための医療基礎知識 ②介護現場で知っておきたい薬に関する知識	1回	1カ所	5時間30分(1日)	-	-	-
	コミュニケーション基礎研修会	社会福祉・介護保険施設及び事業所の職員等	①対人技術の基本とコミュニケーション ②コミュニケーション特製の理解とアセスメントの視点	1回	1カ所	12時間(2日)	-	-	-
	認知症はじめの一步研修会	社会福祉・介護保険施設及び事業所の職員等	①認知症基礎知識 ②認知症に伴う行動と心理状況	1回	1カ所	8時間40分(2日)	-	-	-
	高齢者虐待を考える研修会	社会福祉・介護保険施設及び事業所の職員等	事例から高齢者虐待と身体拘束を考える	1回	1カ所	4時間(1日)	-	-	-
	身体介護・生活介助研修会	社会福祉・介護保険施設及び事業所の職員等	①褥瘡予防について考える ②食事・入浴・排せつ介助などの場面に応じたケアについて考える。	6回	1カ所	36時間(6日)	-	-	-
	食を総合的に考える研修会	社会福祉・介護保険施設及び事業所の職員等	①現場の課題整理 ②口腔ケアのイロハ ③摂食・咀嚼・嚥下の仕組み ④利用者の栄養 ⑤総合的な利用者のア	1回	1カ所	11時間(2日)	-	-	-
	職場内介護技術指導者養成研修会	社会福祉・介護保険施設及び事業所におけるリーダー的役割を持つ職員	①介護理論の理解 ②正しい介護技術(動作)の理解 ③介護技術指導の演習	3回	1カ所	37時間(5日)	-	-	-
	包括的な人事管理を進めるための研修	社会福祉・介護保険施設及び事業所の管理者、または管理者に準じる職員	サービスの質、ケアの質を高めるための包括的な人事管理の仕組みの創出	1回	1カ所	12時間(2日)	-	-	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
研修の体系化とメニューの整備をすすめているが、それを施設・事業所で職員を計画的に育てていくためにどう活用するか、そのために必要な仕組みなどを具体的に示す必要がある。 また、人材の定着化やサービスの向上、経営の効力化等において、研修の効果がどのように表れているのか、検証とエビデンスの伝達が必要。	施設・事業所に対し、サービスの質向上や人材の確保・定着化のための職員の資質向上やキャリアアップの必要性を伝え、人事管理研修と合わせ、包括的に体系化している。 また、年度当初に体系化した研修の概要と研修日程を一覧化したものを示すとともに、定型的な研修は実施頻度を高め、施設・事業所側が職員を計画的に参加できるようにしている。	質問3の回答を効果的に行っていくこと。

事業者団体調査(福岡県社会福祉協議会)

実施主体 質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について										
1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他	
福岡県社会福祉協議会	新任職員研修	社会福祉施設等の新任職員(2年未満)	社会福祉施設等の新任職員に対し、職務遂行に必要な基礎的知識の修得を目的として実施	4回	-	10時間(2日)	433名	4,000円	-	-
	基礎研修	社会福祉施設の中堅職員(2年以上5年未満)	社会福祉施設の中堅職員の職務遂行に必要な知識等の修得を図ることを目的として実施	2回	1カ所	9.5時間(2日)	180名	4,000円	-	-
	課題研修 職場研修指導者養成コース(基礎編)	5年以上の勤務経験を有し、職員を指導する立場にある者	各施設における職場内研修の指導者を養成するためOJTの考え方や進め方を修得する目的で実施	3回	1カ所	10時間(2日)	155名	4,000円	-	-
	課題研修 職場内研修指導者養成コース(強化編)	昨年度までに基礎編を受講した者	本会が実施する課題研修 職場内研修指導者養成コース(基礎編)受講者のスキルアップを目的として強化編を実施	2回	1カ所	10時間(2日)	89名	4,000円	-	-
	老人福祉施設 直接処遇職員(介護職員・看護職員)コース	老人福祉施設の介護職員及び看護職員	老人福祉施設の介護・看護職員に必要な専門的知識及び技術の向上を図ることを目的として実施	2回	1カ所	5.5時間(1日)	178名	2,000円	-	-
	在宅福祉担当者コース・ホームヘルパー現任者研修	県社会福祉法人が運営する老人福祉施設、市町村社会福祉協議会の通所介護事業所職員及び訪問介護事業所のホームヘルパー	高齢者の介護に携わる通所介護事業所職員並びに訪問介護事業所ホームヘルパーを対象に、必要な専門知識及び技能の向上を図ることを目的として実施	2回	1カ所	4時間(1日)	117名	2,000円	-	-
	障害者施設職員研修	社会福祉法人が運営する障害者福祉施設職員	障害者施設職員を対象に、職務遂行に必要な基礎知識・専門知識御・技術の向上を図ることを目的として実施	2回	2カ所	5時間(1日)	164名	2,000円	-	-
	処遇記録研修(高齢者分野)	介護老人福祉施設、介護老人保健施設、認知症対応型共同生活介護事業所の職員	社会福祉施設職員が施設利用者の処遇記録を行う際に必要な専門的知識・技術を修得することを目的として実施	2回	2カ所	8時間(1日)	344名	5,000円	-	-
	処遇記録研修(障害者分野)	身体障害者福祉施設、知的障害者福祉施設の職員	利用者のいきがいがづくりや健康の保持及び増進し、レクリエーション活動に必要な知識と技術を習得します。	1回	1カ所	4.5時間(1日)	145名	5,000円	-	-
	身体拘束廃止推進員養成研修	介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護付有料漏示ホームの施設長、介護主任等で身体拘束廃止の取り組みを指導的立場から推進することができる者	身体拘束廃止に関する実践的手法を修得し、現場レベルで身体拘束廃止の取り組みを行う人材を養成することを目的として実施	1回	2カ所	17時間(3日)	209名	6,000円	-	-
	訪問介護適正実施研修(基礎コース)	サービス提供責任者として従事している者	訪問介護サービスにおいて、訪問介護計画を作成するなど、重要な役割を担うサービス提供責任者に対し、必要な知識の習得及び技術の向上を図り、訪問介護サービスの適正な提供及び質の向上を図ることを目的として実施	3回	1カ所	12.5時間(2日)	248名	6,000円	-	-
	訪問介護適正実施研修(スキルアップコース)	サービス提供責任者として従事している者	訪問介護サービスにおいて、訪問介護計画を作成するなど、重要な役割を担うサービス提供責任者に対し、必要な知識の習得及び技術の向上を図り、訪問介護サービスの適正な提供及び質の向上を図ることを目的として実施	2回	1カ所	12.5時間(2日)	215名	6,000円	-	-
	認知症介護実践研修	(1)介護老人福祉施設の生活相談員及び介護・看護職員 (2)介護老人保健施設の視線相談員及び介護・看護職員 (3)介護療養型医療施設の介護・看護職員 (4)認知症対応型通所介護事業所の生活相談員及び介護・看護職員 (5)小規模多機能型居宅介護事業所の介護・看護職員 (6)認知症対応型共同生活介護事業所の介護職員 (7)新規開設予定又は開設している指定認知症対応型通所介護事業所の管理者に就任予定の者 (8)新規開設予定又は開設している指定小規模多機能型居宅介護事業所の計画策定担当者及び管理者に就任予定の者 (9)新規開設予定又は開設している指定認知症対応型共同生活介護事業所の計画作成担当者及び管理者に就任予定の者	高齢者介護実務者に対し、認知症高齢者の介護に関する実践的研修を実施すること、また、認知症介護を提供する事業所を管理する立場にある者等が、適切なサービスの提供に関する知識等を修得するための研修を実施することにより、認知症介護技術の向上を図り、認知症介護の専門職員を養成し、もって認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図ることを目的として実施	2回	1カ所	39時間(6日間)	612名	12,000円	-	-
	認知症対応型サービス事業管理者研修	新規開設予定又は開設している「認知症対応型共同生活介護事業所」「認知症対応型通所介護事業所」及び「小規模多機能型居宅介護事業所」(福岡市及び北九州市内の事業所は除く)において、管理者または管理者に就任予定の者	認知症高齢者の介護に携わる「認知症対応型共同生活介護事業所」(以下、「認知症高齢者グループホーム」という)・「認知症対応型	2回	1カ所	12時間(2日)	218名	4,000円	-	-
	小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	新規開設予定又は開設している小規模多機能型居宅介護事業所(福岡市及び北九州市内の事業所は除く)において計画作成担当者に就任予定の者。	認知症高齢者の介護に携わる「小規模多機能型居宅介護事業所」の計画作成担当者が、認知症高齢者の処遇、介護に関する知識の修得及び技術の向上を図り、もって認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図ることを目的として実施	2回	1カ所	11.5時間(2日)	48名	4,000円	-	-
	認知症対応型サービス事業開設者研修	福岡県内(福岡市及び北九州市内の事業所は除く)の指定認知症対応型共同生活介護事業所、又は指定小規模多機能型居宅介護事業所の法人代表者	指定小規模多機能型居宅介護事業所又は指定認知症対応型共同生活介護事業所の代表者が、認知症介護に係る基本的な知識及び認知症対応型サービス事業の運営に必要な知識を修得することにより、認知症高齢者に対する介護サービスや事業運営の充実を図ることを目的として実施	2回	1カ所	9時間(2日)	35名	4,000円	-	-
	介護支援専門員実務研修受験準備講習会	第12回介護支援専門員実務研修受講試験の受験予定者	第12回介護支援専門員実務研修受講試験等の受験予定者	6回	1カ所	6時間(1日)	417名	5,000円	-	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
-	・同じ内容の研修を複数回設定している。 ・1施設あたりの参加人数制限を極力しない。	・研修等に参加出来る、ゆとりのある人員配置体制。

事業者団体調査(佐賀県社会福祉協議会)

実施主体 質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について										
1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他	
佐賀県社会福祉協議会 佐賀県福祉人材研修センター	新任職員研修	社会福祉従事者で勤務2年未満の者	新任職員に求められる基本的な知識や技能の修得。また、社会人・組織人として求められる組織活動を理解する。	2回	-	161.5時間(32日)	160名	7,000円 (県社協非会員:10,000円)	-	
	中堅職員研修	社会福祉従事者で勤務2年以上の者	中堅職員としての心構えや自己啓発・企画力などを養うとともに、組織の一員として課題解決の手法を理解する。	1回	-		115名	7,000円 (県社協非会員:10,000円)	-	
	指導的職員研修	社会福祉従事の主任・係長以上など指導的立場にある者	指導的立場に立つ職員としての役割と責務を理解し、職員・利用者間の課題や問題解決、業務改善や改革を推進する手法の修得。	1回	-		91名	7,000円 (県社協非会員:10,000円)	-	
	新任職員フォローアップ研修	社会福祉従事者で概ね勤務2年未満の者	新任職員としての実務経験を踏まえ、キャリアアップを目指すうえで、心構え、基本姿勢について再確認する。	1回	-		72名	7,000円 (県社協非会員:10,000円)	-	
	中堅職員フォローアップ研修	社会福祉従事者で勤務2年以上の者	中堅・指導的職員としての役割を認識し、仕事の成果に繋げるマネジメント能力の向上を図る。	1回	-		70名	7,000円 (県社協非会員:10,000円)	-	
	指導的職員フォローアップ研修	社会福祉従事者の主任・指導的立場にある者	中堅・指導的職員としての役割を認識し、仕事の成果に繋げるマネジメント能力の向上を図る。	1回	-		51名	7,000円 (県社協非会員:10,000円)	-	
	メンタルヘルス研修	社会福祉従事者	職場でのメンタルヘルスの現状を知り、セルフケアの基礎知識やストレスの上手な対処法を修得する。	1回	-		55名	5,000円 (8,000円)	-	
	認知症対応型サービス事業開設者研修【受託研修】	認知症高齢者に携わる社会福祉従事者	認知症介護を提供する事業所を管理する立場にあるもの、計画作成担当者に対し、適切なサービス提供における知識、技術を修得	1回	-		10名	5,300円	-	
	認知症対応型サービス事業管理者研修【受託研修】	認知症高齢者に携わる社会福祉従事者		1回	-		78名	3,300円	-	
	認知症対応型サービス事業計画作成担当者研修【受託研修】	認知症高齢者に携わる社会福祉従事者		1回	-		9名	3,300円	-	
	認知症高齢者介護研修	認知症高齢者に携わる社会福祉従事者	認知症高齢者対応のための知識と技術を高める。	1回	-		67名	5,000円 (8,000円)	-	
	施設の非常災害時の対応と救急	社会福祉従事者	火災や地震など非常時・災害時の対応方法、また、事故や急病などの正しい救急法の知識と技術を修得する。	2回	-		69名	5,000円 (8,000円)	-	
	危機管理研修	福祉事業所の指導的管理的立場の職員	危機管理体制構築の目的、実際の運営方法、その効果、事件・事故、不祥事、新型インフルエンザ等施設の緊急事態対応・準備の具体策を習得する。	1回	-		104名	5,000円 (8,000円)	-	
	カウンセリング研修	相談業務に携わる社会福祉従事者	利用者等への相談援助の専門性を図るため、カウンセリングの基本的理解と技術を修得する。	1回	-		56名	5,000円 (8,000円)	-	
	福祉レクリエーション研修	社会福祉従事者	福祉の職場でレクリエーションを通じて、QOL(生活の質)を高めていくための企画・準備・運営等を学ぶ。	1回	-		49名	5,000円 (8,000円)	-	
	介護予防(運動器機能向上)	介護業務に携わる社会福祉従事者	日常生活動作(ADL)の低下を予防し、心身機能の向上を図る技術と知識を修得する。	1回	-		38名	5,000円 (8,000円)	-	
	ビジネスマナー(中堅・管理者)	社会福祉従事者	社会人・組織人としての「ビジネスの基本」である、接客対応スキルの基礎から応用、苦情対応等を体得する。	1回	-		42名	5,000円 (8,000円)	-	
介護技術(移動)研修	社会福祉従事者	移動・移乗の知識と技術を修得し、援助技術の向上を図る。	1回	-	103名	5,000円 (8,000円)	-			
介護福祉士国家試験対策講習会	介護福祉士国家試験受験希望者	介護福祉士国家試験に必要な知識と近年の試験出題傾向のポイントを修得する。	1回	-	72名	8,000円	-			
介護福祉士国家試験(模擬試験・解説)	介護福祉士国家試験受験希望者	本試験と同じ時間配分と問題数で受験し、試験講習会で修得した知識を確認する。試験終了後、問題の解説。	1回	-	97名	8,000円	-			

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
研修時にアンケートを実施し、それらの意見を反映した研修内容を実施しているが、全ての参加者のニーズに沿った内容(開催時間、開催曜日等の配慮も含め)までには時間的、人的制約等により、それら全てのニーズに対応した研修が実施できていないのが現状である。	研修案内を一方的に送付するだけでなく、他の事業に係る訪問時や来客時また、機会があるごとに職員が直接接して説明および照会する努力をしている。	質問2と関連するが、やはり開催時間(夜間開催など)や開催曜日への配慮や同じ内容を複数回実施するなど、参加者に対する機会を提供することなども必要と感じている。

事業者団体調査(長崎県社会福祉協議会)

質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他	
介護記録研修会	福祉施設事業所に勤務する介護職員 他	介護記録の書き方、読み方、助言指導の仕方を学び、介護記録の質を高める	1回	1カ所	5時間(1日)	99人	-	-	-	
摂食嚥下障害研修会	福祉施設事業所に勤務する介護職員 他	摂食嚥下障害の基礎知識を学ぶ	1回	1カ所	5時間(1日)	69人	-	-	-	
訪問介護実践事例研修会	福祉施設事業所に勤務する介護職員 他	演習を通じて、困難事例の解決ポイントを学ぶ	1回	1カ所	5時間(1日)	36人	-	-	-	
認知症ケア・アプローチ研修会	福祉施設事業所に勤務する介護職員 他	行動心理症状(BPCD)の理解	1回	1カ所	5時間(1日)	88人	-	-	-	
「転落事故防止」の介護理論&実技研修会	福祉施設事業所に勤務する介護職員 他	正しい介助法を「理論」と「実技」の両面から習得する	1回	1カ所	5時間(1日)	86人	-	-	-	
介護職のための医学知識基礎研修会	福祉施設事業所に勤務する介護職員 他	介護職として知っておくべき医療基礎知識を習得する	1回	1カ所	5時間(1日)	91人	-	-	-	
医療と連携するための介護職講習	福祉施設事業所に勤務する介護職員 他	介護職に必要な医療知識と医療職との連携ポイントを学ぶ	1回	1カ所	5時間(1日)	105人	-	-	-	
パーソンセンタードケア ワークショップ	福祉施設事業所に勤務する介護職員 他	パーソンセンタードケアの実践を学ぶ	1回	1カ所	5時間(1日)	27人	-	-	-	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
<ul style="list-style-type: none"> 運営効率(講師の移動費や謝金:拘束日数など)上、長崎市市内での開催が多くなり、県内遠方の方に負担をかけてしまうこと。 施設や事業所によって参加・不参加の判断に偏りがあり、県内全体の質の向上が難しいこと。(全く研修会に参加されない施設へのアプローチが課題) 	<ul style="list-style-type: none"> 現場のニーズに合ったテーマとするため、毎年パブリックコメントを募集したり、施設訪問、アンケート調査などを通じてニーズ把握に力を入れている。 「職場内研修担当者研修会」「出張セミナー」などの事業を通じて、人材育成の機運が高まるよう働きかけを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修などのスキルアップを行うことが各自のキャリアにきちんと反映され、見える形で証明できるシステムがあれば、より参加のモチベーションが高まると考える。

事業者団体調査(熊本県社会福祉協議会)

質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他	
新任職員研修会	就業してから概ね2年未満の職員	福祉理念の動向、基本的な役割の理解、組織人としての基本能力の習得	5回	2カ所	(2日)	252名(定員)	8,000円	-	-	
中堅職員研修会	就業してから概ね2年以上で組織の中核となる職員	組織活動の基本的原則等組織人としての応用実践能力の習得	2回	1カ所	(4日)	84名(定員)	16,000円	-	-	
指導的職員研修会	主任・係長、事務長等の役職にある職員	部門責任者としての管理・指導能力の向上	1回	1カ所	(4日)	42名(定員)	16,000円	-	-	
ビジネスマナー研修	社会福祉施設及び社会福祉協議会の2年未満の職員	社会人として基本的なマナー及び職場生活の基本的な動作の習得	3回	1カ所	(1日)	144名(定員)	4,000円	-	-	
ビジネスマナー指導者養成研修会	社会福祉施設及び社会福祉協議会において、ビジネスマナーを指導する立場の職員	基本的な動作のマナーとその指導方法	1回	1カ所	(1日)	48名(定員)	4,000円	-	-	
カウンセリング研修会(基礎編)	社会福祉施設及び市町村社協の職員等	福祉サービスの利用者等が主体的に問題を解決できるように援助する際に必要となるカウンセリングの基本的な知識と基本的技法の習得	2回	1カ所	(2日)	160名(定員)	12,000円	-	-	
カウンセリング研修会(発展編)	平成18年度、19年度、20年度のカウンセリング研修会(基礎編)を受講した者	具体的な問題解決の方法を修得するとともに福祉職員としての自己覚知を深める	1回	1カ所	(2日)	160名(定員)	12,000円	-	-	
スーパーバイザー養成研修会	対人援助に10年以上経験を有する者で、職員の指導的立場にいる職員	スーパービジョンの理念と実践	1回	1カ所	(2日)	48名(定員)	24,000円	-	-	
スーパーバイザーフォローアップ研修会Ⅱ	平成21年度スーパーバイザー養成研修を受講した者	スーパービジョン実践	1回	1カ所	(2日)	48名(定員)	-	-	-	
スーパーバイザーフォローアップ研修会Ⅰ	平成19年度及び20年度のスーパバイザー養成研修を受講した者	スーパービジョン実践	1回	1カ所	(2日)	30名(定員)	12,000円	-	-	
福祉職員レクリエーション研修会	社会福祉施設及び市町村社協の職員等職員等	福祉の現場で活用できる福祉レクリエーション技術の習得	2回	1カ所	(1日)	160名(定員)	4,000円	-	-	
救急法研修会(救急法基礎講習コース)	社会福祉施設及び市町村社協の職員等	救急法の知識・技術の習得(修了者には受講証を授与)	3回	2カ所	(1日)	90名(定員)	4,000円	-	-	
救急法研修会(幼児安全法コース)	社会福祉施設及び市町村社協の職員等	救急法の知識・技術の習得(修了者には受講証を授与)	1回	1カ所	(1日)	30名(定員)	4,000円	-	-	
人事管理セミナー	社会福祉施設長、市町村社協事務局長及び人事担当職員等	人材確保・育成、労務管理など管理者に求められる管理・指導能力の向上	1回	1カ所	(1日)	100(定員)	0円	-	-	
相談面接技術研修会	社会福祉施設等において相談援助業務に携わる職員で、経験が概ね5年未満の者	対人援助の基本となる相談面接技術の習得	1回	1カ所	(2日)	54名(定員)	12,000円	-	-	
福祉職場OJT推進研修会	社会福祉施設等において職員の指導・育成・教育等を担当する立場にある職員	職場のビジョンに沿った「OJT計画書」立案と福祉職場における職場研修体制の構築	1回	1カ所	(2日)	54名(定員)	12,000円	-	-	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
平成21年度は定員を超える受講申し込みがあり、今後、研修内容・日程・開催時期などを考慮し、より参加しやすい環境を整備し、定員や開催回数なども再検討することが課題といえる。	できるだけ多くの方が参加出来るよう、同内容の研修会を年に数回開催し、日程を選択できるように設定している。また、施設内で早めの日程調整を行っていただけるよう、研修年間計画表を前年度(3月中)中に県内施設へ配布している。	研修受講者のアンケート結果を分析し、研修内容、日程・開催時期など、ニーズに対応した研修の企画・実施に取り組む必要がある。

事業者団体調査(大分県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
社会福祉法人 大分県社会福祉協議会 大分県社会福祉介護研修センター	社会福祉施設等新任職員研修	勤務年数1年未満	新任の社会福祉従事職員として必要な基礎知識、心得を修得するとともに、自己啓発を図る。	1回	1カ所	20時間(4日)	129名	資料代2,000円(受講料は無し、県の委託費)	-	-
	社会福祉施設等中堅職員研修(第1部)	業務経験年数3年以上5年未満	福祉サービスの理念・動向や中堅職員に期待される基本的役割を理解するとともに組織人としての応用実践能力や自己啓発・相互啓発の促進方法等について学ぶ。	1回	1カ所	10時間(2日)	132名	資料代2,000円(受講料は無し、県の委託費)	-	-
	社会福祉施設等中堅職員研修(第2部)	業務経験年数5年以上	職場における中堅職員としての役割について理解を深め、職場における職員の連携や能力開発等に関して自己の果たすべき役割を身につけるとともに、福祉専門職としての資質・能力の開発を図る。	1回	1カ所	10時間(2日)	118名	資料代2,000円(受講料は無し、県の委託費)	-	-
	社会福祉施設等指導監督職員研修	指導監督職員	社会福祉を取り巻く環境が大きく変革している状況下において、社会福祉施設等の指導監督職員として求められる基本的役割を理解し、福祉サービス従事者としての組織性・専門性を高めるとともに、人材の育成と職場研修について理解を深める。	1回	1カ所	12時間(2日)	84名	資料代1,000円(受講料は無し、県の委託費)	-	-
	介護職員基礎研修	ホームヘルパー1・2級習得者で実務経験1年以上	介護職員として介護サービスに従事しようとする者を対象とした基礎的な職業教育として、対人理解や対人援助の基本的な視点と理念、専門的な職業人としての職務にあたる上での基本姿勢、基本的・専門的な知識・技術を修得する。	1回	1カ所	(1級)60時間(10日) (2級)150時間(25日)	(1級)10名 (2級)28名	(1級)20,000円 (2級)50,000円	-	-
	社会福祉施設介護担当職員初任者研修	新任の介護担当職員	多様化する福祉ニーズに対応するため、質の高い施設介護職員の養成が喫緊の課題であることから、新任の施設介護職員に対して介護業務に携わる職員の均質化を図り、もって社会福祉施設におけるサービス全体の質の向上を図る。	1回	1カ所	55.5時間(14日)	100名	資料代5,000円(受講料は無し、県の委託費)	-	-
	社会福祉施設介護職員中堅研修	従事経験年数3~5年の介護担当職員	多様化する福祉ニーズに対応するため、質の高い施設介護職員の養成が重要な課題であることから、中堅の施設介護職員に対して基礎的な研修を実施し、介護業務に携わる職員の向上を図り、もって社会福祉施設におけるサービス全体の質の向上を図る。	1回	1カ所	11時間(2日)	55名	資料代1,000円(受講料は無し、県の委託費)	-	-
	障がい児(者)施設等職員研修	障がい児(者)施設等の直接処遇職員	障害者自立支援法が施行され、障がい者が地域で自立した生活を可能にする基盤整備が全国各地で進められているが、法施行から3年が経過したことから、その現状と課題について考える。	1回	1カ所	10時間(2日)	54名	資料代1,000円(受講料は無し、県の委託費)	-	-
	訪問介護員現任研修(テーマ別技術向上研修)	指定訪問介護事業の介護福祉またはホームヘルパー養成研修2級以上の者で、実務経験1年以上の者	利用者のいきがづくりや健康の保持及び増進し、レクリエーション活動に必要な知識と技術を習得します。	6回	6カ所	8時間(2日)	272名	資料代1,000円(受講料は無し、県の委託費)	-	-
	訪問介護現任研修(サービス提供責任研修)	指定訪問介護従事者のサービス提供責任者	介護保険制度における訪問介護サービスにおいて、訪問介護計画を作成するなど重要な役割を担うサービス提供責任者の研修を実施し、必要な知識の習得、技術の向上を図り、もって訪問介護サービスの適正な提供及び質の向上を図ることを目的とする。	2回	1カ所	10時間(2日)	298名	資料代2,000円(受講料は無し、県の委託費)	-	-
障がい者(児)居宅介護従業者養成研修	ホームヘルパー1・2級課程修了者	障がい者(児)に対する適切な居宅介護サービスを提供するため、介護保険法に基づく訪問介護員が居宅介護業務を行う場合に必要な知識及び技能を習得することを目的とする。	1回	1カ所	9時間(2日)	60名	資料代0円(受講料は無し、県の委託料)	-	-	
視覚障がい者外出介護従業者養成研修	ホームヘルパー1・2級課程修了者、介護福祉士	訪問介護員養成研修1、2級課程修了者及び介護福祉士を対象に重度視覚障がい者の外出時の移動介護等に必要な知識、技能を有するガイドヘルパーの養成を図る。	3回	1カ所	11時間(3日)	94名	資料代1,000円(受講料は無し、県の委託費)	-	-	
難病患者等ホームヘルパー養成研修	介護職員基礎研修修了者、ホームヘルパー1級修了者、介護福祉士	難病患者等の多様化するニーズに対応した適切なホームヘルプサービスを提供するため、必要な知識、技能を有する訪問介護員の養成を図る。	1回	1カ所	7時間(1日)	135名	資料代1,000円(受講料は無し、県の委託費)	-	-	

事業者団体調査(大分県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
社会福祉法人 大分県社会福祉協議会 大分県社会福祉介護研修センター	介護担当職員技術研修(有料老人ホーム等施設職員介護研修)	有料老人ホーム、特定施設入居者生活介護施設の職員	介護技術の質を高め、認知症高齢者の理解と接し方を学び、介護職員としての資質向上を図る。	2回	1カ所	(介護技術)30時間(5日) (認知症)18時間(3日)	(介護技術)27名 (認知症)34名	(介護技術)15,000円 (認知症)10,000円	-	-
	介護担当職員技術研修(摂食・嚥下セミナー)	介護福祉士・看護師等介護等職員	摂食・嚥下の専門知識と技術を習得し、質の高い支援を提供できる人材を育成する。	2回	1カ所	(セミナー)38時間(7日) (スキルアップ)5時間(1日)	(セミナー)56名 (スキルアップ)36名	(セミナー)30,000円 (スキルアップ)3,000円	-	-
	介護担当職員(排泄セミナー)	排泄ケアに関わっている者(今後関わる者)	排泄ケアの専門知識と技術を習得し、質の高い支援をできる人材を育成する。	2回	1カ所	(セミナー)30時間(5日) (スキルアップ)3時間(1日)	(セミナー)39名 (スキルアップ)70名	(セミナー)28,000円 (スキルアップ)3,000円	-	-
	認知症介護実践者研修	認知症介護実務経験3年以上 計画作成担当者・管理者	認知症高齢者がその有する能力に応じて自立した生活を営むことを支援できる認知症介護の知識と技術の習得及び実践者の養成を行う。	3回	1カ所	27時間(4日)	247名	資料代1,000円(受講料は無し、県の委託費)	-	-
	認知症介護実践リーダー研修	実践者研修修了者で実務経験5年以上	認知症介護現場のリーダーとして他の職員を指導・支援し、チームケアのための調整役を行い、認知症介護の質の向上の推進役となるリーダーの養成を行う。	1回	1カ所	47.5時間(7日)	65名	資料代1,000円(受講料は無し、県の委託費)	-	-
	救急法研修	社会福祉従事者	施設において、思わぬ事故や災害に遭ったり急病になった利用者に対して、医師や救急隊に引き継ぐまでの応急手当の方法を学ぶ。	5回	1カ所	5.5時間(1日)	199名	資料代1,000円(受講料は無し、県の委託費)	-	-
	レクリエーション研修	高齢者施設等の職員	福祉施設を利用する高齢者や障がい者、児童の快適な生活を創造するため、施設内で提供される既存のレクリエーション手法に対するマンネリズムからの脱却を意図する新たな試みとして、「プレイケア」の知識と技術を習得する。	1回	1カ所	5時間(1日)	85名	資料代1,000円(受講料は無し、県の委託費)	-	-
	カウンセリング研修	社会福祉従事者	カウンセリング技術を活用し、福祉サービス利用者や利用者の家族、職員間における適切な信頼関係を構築しうるコミュニケーション能力向上を図る。	1回	1カ所	10時間(2日)	99名	資料代1,000円(受講料は無し、県の委託費)	-	-
	リハビリテーション研修	社会福祉従事者	「食」は人が生きる上で欠かすことが出来ない行為であるばかりでなく、栄養摂取はもちろん楽しみや生きがいにもつながる大変重要な役割を担っている。食の方法には、経口摂取、胃管の方法等があるが、食の効率からは出来る限り経口摂取が望まれるところである。そこで、「食事介護」にリハビリテーションの観点を加えることで、改めて口から食べることの仕組みを理解し、利用者ができる限り経口摂取が行えるケアの視点を学ぶ。	1回	1カ所	5時間(1日)	70名	資料代1,000円(受講料は無し、県の委託費)	-	-
	スーパーバイザー研修	社会福祉従事者	「記録」は、日常業務のあり方を見直し、職員間の情報共有を可能とし、ケアの継続性・一貫性を保証するための貴重な資料であることから、福祉現場における記録の書き方を学ぶことを通じて利用者本位のサービスを提供しうるスーパーバイザーとしての資質向上を図る。	2回	1カ所	5時間(1日)	93名	資料代1,000円(受講料は無し、県の委託費)	-	-
福祉用具プランナー研修	福祉用具専門相談員以上の資格を有し、実務経験1年以上	介護の現場において適切な福祉用具の利用が促進されるよう、福祉用具の取扱いについての知識、個々の用具の利用方法、選定・適合についての知識など、福祉用具に関する専門知識を有する人材を育成する。	1回	1カ所	52.5時間(8日)	38名	20,000円	-	-	
福祉用具プランナーフォローアップ研修	前年度福祉用具プランナー研修修了者	平成20年度当研修センターにおいて福祉用具プランナーを習得し、現在福祉用具の選定相談、利用者指導など業務をしている者に対して、福祉用具に関するさらなる知識・技術の向上・確立を図る。	1回	1カ所	11時間(2日)	13名	資料代1,000円(受講料は無し、県の委託費)	-	-	
リフトリーダー養成研修	施設等で腰痛予防対策を積極的に推進しようとする者	「介護労働者設備等整備モデル奨励金」の制度を利用する施設等を対象に、職場内に腰痛防止のためのリフト類の導入を推進するため、導入・運用計画の作成・検証や介護労働者がリフト類を適切に取り扱えるようにするための研修会や個別指導等ができる、リーダー的人材を養成する。	1回	1カ所	10.5時間(2日)	28名	7,000円	-	-	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
研修内容が専門化していくにつれ、提供する研修テーマが現場のニーズにマッチしているか、検証が難しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・班分けを行い、希望日を選べるようにしている。(介護担当初任者) ・県下6カ所で実施(出前研修)している。(訪問介護員現任) ・対象範囲を可能な限り緩やかにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の職員定数を見直し、余裕を持った職員体制にする。 ・参加費について、職場から派遣する以上、個人負担でなく事業所負担とする。

事業所団体調査(宮崎県社会福祉事業団)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
宮崎県社会福祉研修センター	社会福祉施設等新任職員研修 A	介護職員	高齢者福祉の動向 人権擁護 接遇 グループワーク 新任職員の役割行動 組織活動の基本	1回	1カ所	2日	265人	-	-	-
	社会福祉施設等新任職員研修 B	介護職員	高齢者福祉の動向 人権擁護 接遇 グループワーク 新任職員の役割行動 組織活動の基本	1回	1カ所	2日	241人	-	-	-
	社会福祉施設等中堅職員研修 I A	介護職員	認知症について 高齢者福祉の動向 グループワーク コミュニケーションの基本	1回	1カ所	2日	240人	-	-	-
	社会福祉施設等中堅職員研修 I B	介護職員	認知症について 高齢者福祉の動向 グループワーク コミュニケーションの基本	1回	1カ所	2日	289人	-	-	-
	社会福祉施設等中堅職員研修 II A	介護職員	認知症介護と対応の違いについて 高齢者福祉の動向 グループワーク 職場におけるチームワークと職員指導について	1回	1カ所	2日	132人	-	-	-
	社会福祉施設等中堅職員研修 II B	介護職員	認知症介護と対応の違いについて 高齢者福祉の動向 グループワーク 職場におけるチームワークと職員指導について	1回	1カ所	2日	151人	-	-	-
	社会福祉施設等新任指導的職員研修 A	介護職員	権利擁護について 指導的職員の役割行動 リーダーシップの基本 職員指導・育成の展開	1回	1カ所	2日	197人	-	-	-
	社会福祉施設等新任指導的職員研修 B	介護職員	権利擁護について 指導的職員の役割行動 リーダーシップの基本 職員指導・育成の展開	1回	1カ所	2日	173人	-	-	-
	社会福祉施設等現任指導的職員研修	利用者のいきがづくりや健康の保持及び増進し、レクリエーション活動に必要な知識と技術を習得します。	権利擁護について 組織におけるリーダーの役割	1回	1カ所	2日	221人	-	-	-
	社会福祉施設等理事長・施設長研修	介護職員	介護報酬改正について 介護施設の経営モデル ～新時代の施設運営、人材育成について～	1回	1カ所	1日	122人	-	-	-
職場研修担当者研修 I (基礎編)A	介護職員	これからの福祉人材育成と職場研修 職場研修の推進実態を診断する 研修ニーズ分析と年度計画の策定	1回	1カ所	1日	86人	-	-	-	

事業所団体調査(宮崎県社会福祉事業団)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
宮崎県社会福祉研修センター	職場研修担当者研修Ⅰ(基礎編)B	介護職員	これからの福祉人材育成と職場研修 職場研修の推進実態を診断する 研修ニーズ分析と年度計画の策定	1回	1カ所	1日	73人	-	-	-
	職場研修担当者研修Ⅱ(応用編)	介護職員	職場研修の推進実態の診断 OJT活性化施策の推進 意図的・計画的指導の推進 職場研修担当者の役割と課題	1回	1カ所	1日	85人	-	-	-
	メンタルヘルス研修 A	介護職員	元気な自分づくり、活力ある職場づくり こころのケア	1回	1カ所	1日	155人	-	-	-
	メンタルヘルス研修 B	介護職員	元気な自分づくり、活力ある職場づくり こころのケア	1回	1カ所	1日	95人	-	-	-
	レクリエーション研修①	介護職員	アクティビティ趣味活動	1回	1カ所	1日	178人	-	-	-
	レクリエーション研修②	介護職員	音楽リズム	1回	1カ所	1日	167人	-	-	-
	カウンセリング研修 A	介護職員	カウンセリングとは～理論と実際～	1回	1カ所	1日	90人	-	-	-
	カウンセリング研修 B	介護職員	カウンセリングとは～理論と実際～	1回	1カ所	1日	55人	-	-	-
	カウンセリング研修 C	介護職員	カウンセリングとは～理論と実際～	1回	1カ所	1日	53人	-	-	-
	リスクマネジメント研修(老人)	介護職員	施設におけるリスクマネジメント	1回	1カ所	1日	249人	-	-	-
	リスクマネジメント研修(障がい児・者)	介護職員	施設におけるリスクマネジメント	1回	1カ所	1日	89人	-	-	-
	看護師研修①	介護職員	感染症について ターミナルケアと緩和ケア	1回	1カ所	1日	166人	-	-	-
	看護師研修②	介護職員	感染症について メンタルヘルス～脳から考えるプロのナースとは～	1回	1カ所	1日	186人	-	-	-
	認知症グループホーム職員研修	介護職員	認知症の基本的理解 認知症ケアについて	1回	1カ所	1日	94人	-	-	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
-	-	-

事業所団体調査(鹿児島県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
鹿児島県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	社会福祉施設等新任職員研修	社会福祉施設・市町村社協に勤務する経験1年未満の職員	①福祉職場で期待される職員像 ②人権・同和問題 ③接遇の基本(接客・対応・挨拶の基本と訓練) ④健康管理について ⑤よき人間関係はよき仕事を作る	2回	1カ所	9時間(2日)	297人	2,000円	-	-
	社会福祉施設等中堅職員研修	新任研修受講後3年経過したもので、社会福祉施設・市町村社会福祉協議会に勤務する職員	①中堅職員の役割について ②問題発見のポイントと問題解決の技法～KJ法の進め方 ③対人援助技術論	1回	1カ所	11時間(2日)	146人	2,000円	-	-
	社会福祉施設等監督職員研修	社会福祉施設・市町村社協に勤務する指導監督の職責を付与された経験年数10年を経過した職員	①福祉の動向と課題について ②指導監査等からみた社会福祉施設の現状と課題 ③監督職員の役割(マネジメントの定義・機能など) ④社会福祉施設に求められているもの ⑤健康管理	1回	1カ所	9時間(2日)	81人	2,000円	-	-
	職場内研修指導者フォローアップ研修	社会福祉施設において職場内研修を推進する指導的立場にある職員	①これからの福祉人材育成と職場研修 ②職場研修の考え方と進め方 ③コーチングと部下育成 ④OJTによる部下指導の進め方	1回	1カ所	20.5時間(3日)	25人	9,000円	-	-
	カウンセリング研修(基礎・発展)	社会福祉施設、福祉事務所、市町村社協において各種相談業務に従事する者	講義・演習・ロールプレイによる研修	3回	1カ所	10時間	115人	6,000円	-	-
	救急法研修	社会福祉施設の職員及び市町村社協に勤務する職員	①基礎学習:一次救命処置 ②気道異物除去 心肺蘇生法 ③全体実技:心肺蘇生法 AEDの使用法 ④実技評価:学科評価	2回	1カ所	5時間(1日)	57人	3,500円	-	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
受講者意欲をどのように高めていくか、引き出していくかが課題である。	職場内研修指導者フォローアップ研修などを通して、事業所ごとに職員が研修に参加する仕組み作り、環境整備を推進することで、多くの方に研修へ参加していただくよう努めている。	事業所ごとに職員が研修に参加する仕組み作り、環境整備が必要であるとする職員のキャリアアップ、人事考課とも連動した職場内研修推進体制確立の支援が必要だと考える。 その際、職場内研修推進体制の確立を介護報酬の加算減算など報酬制度として位置づけることで支援の一層の強化が図られるものとする。 人員配置基準など職員が研修を受講することで業務を外しても支障のない基準を定めることも方法と考える。

事業所団体調査(さいたま市社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
さいたま市社会福祉協議会 地域福祉情報研修センター	コミュニケーションスキル研修 信頼を得るコミュニケーションスキルの習得	市内福祉従事者	(講義)コミュニケーションスキル 傾聴技法等について (演習)事例をもとにロールプレイングによる演習	2回	1カ所	20時間(4日)	113人	3,000円	279,180円	-
	広報上手になる研修 ～伝えるから伝わる広報のポイントを身につける～	市内の福祉施設、ボランティアグループ、地区社協等で広報に関わっている方	広報の基本についての講義及び広報物の制作等	1回	1カ所	8時間(2日)	53人	3,000円	160,650円	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
・講師の情報が乏しく、選定に苦慮している。	・市内の福祉施設の全てに通知し、ホームページにも掲載している。 ・通知の時期は、早目に行い、スケジュール調整ができやすいようにしている。	・計画的、継続的に研修を実施し、参加しやすい環境を整える。 ・福祉ニーズを的確に捉えた、本当に必要な研修を実施していく。

事業所団体調査(千葉市社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
千葉市社会福祉協議会 千葉市社会福祉研修センター	介護技術向上研修	特養・老健等の介護員で、現場経験が2年未満の者	施設における基礎的な介護姿勢について ・介護姿勢の基本 ・ベッドメイキング ・体位交換 ・車椅子操作・移乗 等	1回	1カ所	5時間(1日)	31人		70,700円	
	認知症介護実践研修(実践者研修)	身体介護に関する基本的知識・技術を習得している者で実務経験が概ね2年程度の者	講義・演習 認知症介護の理念、知識及び技術を修得する	4回	1カ所	35時間(5日)※1回	203人	2,000円	2,842,647円	
	認知症介護実践研修(実践リーダー研修)	介護業務に概ね5年以上従事した経験を持ち、実践者研修を履修後、1年以上経過している者	講義・演習・実習 実践者研修で得られた知識・技術をさらに深め、施設・事業所においてチームケアを効果的・効率的に機能させる能力を有した指導者を養成	1回	1カ所	98時間(14日)	15人	4,000円	923,235円	
	認知症対応型サービス事業管理者研修	・認知症介護経験年数が概ね3年以上の者で、実践者研修を履修している者 ・管理者になることが具体的に予定されている者	講義・演習 指定認知症対応型通所介護事業所・指定小規模多機能型居宅介護事業所・指定認知症対応型共同生活介護事業所の管理者となる者が「指定基準等の正しい理解」「職員の労務管理」「適切なサービス提供のあり方」などの必要な知識を身につける	3回	1カ所	14時間(2日)※1回		3,000円	687,622円	
	小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	・実践者研修を修了している者 ・指定小規模多機能型居宅介護事業所で計画作成担当者になることが具体的に予定されている者	講義・演習 指定小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成担当者になる者(介護支援専門員)が、利用登録者に関する居宅介護支援計画や指定小規模多機能型居宅介護事業所における小規模多機能型居宅介護計画を適切に作成する上で必要な当該サービスに係る「基準の正しい理解」「適切なサービスの提供」「利用計画作成演習」などの必要な知識・技術を身につける	1回	1カ所	14時間(2日)	14人	2,000円	202,231円	
質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。			質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。			質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。				
-			-			-				

事業所団体調査(横浜市社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
横浜市社会福祉協議会 ウイリング横浜	指導的職員研修	横浜市在住または在勤の福祉保健従業者で、主任・係長等の指導的役職にある方	福祉事務所の指導的職員に期待される組織的役割や行動について理解し、指導的職員としてのリーダーシップとは何かを考え、職員育成・指導に必要な知識・技法について学ぶ。	1回	1カ所	12時間 (2日)	38人	-	-	-
	中堅職員研修	横浜市内在住または在勤の福祉保健従事者で、職歴満2年以上の方※すでに主任・係長等の役職にある方を除く	中堅職員として求められる役割について理解するとともにその役割を發揮するために必要な知識や技法について学ぶ。	1回	1カ所	12時間 (2日)	38人	-	-	-
	新人研修	横浜市内事業所に勤務する福祉保健従事者で原則社会人経験1年未満の方	社会人としての基本姿勢 ビジネスマナー 専門職としての業務の取り組み方	2回	1カ所	22.5時間 (3日)	102人	-	-	-
	新任研修	横浜市内事業所に勤務する福祉保健従事者で原則勤務経験2年未満の方	福祉への招待 横浜の福祉を学ぶ。	2回	1カ所	3時間 (1日)	85人	-	-	-
	職場研修担当者研修	横浜市内在住または在勤の福祉保健従事者で職場の研修担当者、もしくは職場の研修を推進する立場にある方	・これからの福祉人材育成と、職場研修の重要性(職場研修担当者の役割とは) ・人材育成の具体的推進方法について ~推進実態診断と演習~(OJTの推進施策と方法、OFF-JT研修の企画立案方法と策定演習 ・研修計画の策定の考え方と方法(研修ニーズの分析と次年度の研修計画案の策定演習)	1回	1カ所	13時間 (2日)	35人	-	-	-
	OJT研修	横浜市内の福祉保健事業所の従事者でOJT指導経験が浅い方、もしくは近々OJT指導を担う予定の方	OJTの重要性 OJTの指導の実際 OJTの指導体験学習	2回	1カ所	15時間 (2日)	87人	-	-	-
	説得技法を学ぶ	横浜市内の福祉保健事業所の指導的立場(管理職)の方 OJT指導経験を積まれた方	管理職の役割について リーダータイプ診断 共感的聴き方。説得指導(演習)	1回	1カ所	7.5時間 (1日)	34人	-	-	-
	介護職のためのトレーナー養成研修～更衣・排泄・食事介助～	横浜市内在住または在勤の介護業務従事者で指導的立場の方	「更衣・排泄・食事介助について」 根拠に基づく介護知識・介護技術 受講者相互評価・講師によるデモンストレーション	全2回	1カ所	1コース6時間 計 12時間 (各コース1日、全2日)	76人	-	-	-
	介護職のためのトレーナー養成研修～移動・移乗・体位変換～	利用者のいきがづくりや健康の保持及び増進し、レクリエーション活動に必要な知識と技術を習得します。	「移動・移乗・体位変換について」 根拠に基づく介護知識・介護技術 受講者相互評価・講師によるデモンストレーション	全2回	1カ所	1コース6時間 計 12時間 (各コース1日、全2日)	78人	-	-	-
	業務標準化研修	横浜市内在住または在勤の福祉保健従事者(主な対象:管理者、主任、指導的職員、中堅職員)	業務の標準化の目的と進め方 マニュアル試案の作成演習 マニュアル試案の発表と全体指導	1回	1カ所	6.5時間 (1日)	45人	-	-	-
	リスクマネジメント研修 入門編	横浜市内在勤または在住の福祉保健従事者で管理者、主任、リーダー等、主にリーダー職以上の方	リスクマネジメントの基礎から実践(講義) リスクマネジメント分析手法 ヒューマンエラーについての個人演習 ケースによる演習	1回	1カ所	6.5時間 (1日)	38人	-	-	-
	リスクマネジメント研修 実践編	横浜市内在勤または在住の福祉保健従事者で管理者、主任・リーダー等、主にリーダー職以上の方	・リスクマネジメント理論の基本的な考え方(講義) ・ミニケース(事例)・危機予知トレーニング ・危険予知の考え方(講義) ・リスク改善計画の立案	1回	1カ所	6.5時間 (1日)	37人	-	-	-
	職場のストレス・マネジメント研修	横浜市内の福祉保健従事者で管理者(または主任、リーダー)など管理的立場の方	職場のメンタルヘルスの重要性・法的義務 管理者としてのストレス・マネジメントの進め方 本音を引き出す面談の仕方(演習)	2回	1カ所	7.5時間 (1日)	76人	-	-	-

事業所団体調査(横浜市社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
横浜市社会福祉協議会 ウィリング横浜	労務管理の基礎知識	福祉保健事業所の労務管理担当者	・従事者の募集 ・労働契約締結時の留意点 ・労働契約解消時の留意点 ・労働条件の違いによる社会保険加入基準 ・労働時間と賃金について労働関連法規の理解 ・労働法令基準の休暇・休業制度	1回	1カ所	6時間 (2日)	43人	-	-	独立行政法人雇用・能力開発機構との共催事業。分担により費用支出なし。
	接遇ファーストステップ研修	横浜市内在住または在勤の福祉保健従事者(経験年数概ね3年未満)	福祉を取り巻く変化と現状について 好感を持てる基本対応ポイント 演習(ロールプレイングなど)	1回	1カ所	6時間 (1日)	32人	-	-	-
	接遇ステップアップ研修	横浜市内在住または在勤の福祉保健従事者(現場経験年数概ね3年以上)	福祉を取り巻く変化と現状について 中堅職員に期待される役割 演習(自らの接遇・マナーの振り返り)	1回	1カ所	6時間 (1日)	48人	-	-	-
	自分のためのストレス研修	横浜市内在住または在勤の福祉保健従事者	・ストレスが心の中に生じる状態について ・さまざまな人間関係におけるコミュニケーション ・援助職が抱えやすい悩み ・「悩み」や「ストレス」とうまく付き合う方法について	1回	1カ所	6時間 (1日)	26人	-	-	-
	福祉職場の経験が浅い方のための対人援助の基礎講座	横浜市内在住及び在勤の福祉保健従事者で経験年数が3年未満の方	・専門職としての倫理観 ・専門職としての対人援助技術 ・職場内外での連携について	1回	1カ所	6時間 (1日)	45人	-	-	-
	苦情解決制度の基礎知識	横浜市内在住または在勤の福祉保健従事者	苦情解決制度の基礎知識 ・苦情対応が求められる背景と現状 ・苦情解決制度の概要 ・苦情解決制度の活用促進に向けた取り組み	1回	1カ所	3時間 (1日)	55人	-	-	-
	苦情解決制度の活用を考える	横浜市内在住または在勤の福祉保健従事者	苦情解決制度の仕組みとポイント 組織的な苦情解決システムを構築するために	1回	1カ所	3.5時間 (1日)	34人	-	-	-
	現場管理者のためのコーチング講座	横浜市内に所在する社会福祉事業所の管理者(施設長、事務長)等、人事考課等に携わり組織内において管理的な役割を担っている方	・コーチングの基本知識 ・コーチングに求められる姿勢 ・コーチングの流れ ・コーチに求められる話す・聞く能力 ・よりよい職場を目指して	1回	1カ所	6.5時間 (1日)	44人	-	-	-
	対人援助職のためのコミュニケーション研修 初心者編	横浜市内在住または在勤の福祉保健従事者	・自分を知る ・他者を知る ・傾聴のトレーニング	2回	1カ所	6時間 (1日)	76人	-	-	-
	対人援助職のためのコミュニケーション研修 応用編	横浜市内在住または在勤の福祉保健従事者	・コミュニケーションとは ・自己紹介エクササイズ・コンセンサス法・エゴグラム ・応答トレーニング	1回	1カ所	12時間 (2日)	44人	-	-	-
	プレゼンテーション研修	横浜市内在住または在勤の福祉保健従事者・活動者	・プレゼンテーション入門 ・プレゼンテーションの準備 ・プレゼンテーションの実施	1回	1カ所	6.5時間 (1日)	41人	-	-	-
	ケースカンファレンスの進め方講座 理論編・実践編	横浜市内在住及び在勤の福祉保健従事者(対人援助職を中心に作られたグループ※理論編のみ個人参加可能)	【1日目】理論編:講義 【実習】現場でのカンファレンス 【2日目】実践編:発表・助言	1回	1カ所	15時間 (3日)	【1日目】100人 【2日目】49人	-	-	-
記録の書き方講座	横浜市内在勤または在住の福祉保健従事者で、高齢・障害分野に属する方	・記録について(講義) ・適切な記録の写し方(演習) ・記録の意義と目的(講義)	2回	1カ所	6時間 (1日)	110人	-	-	-	

事業所団体調査(横浜市社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
横浜市社会福祉協議会 ウイリング横浜	サービス提供責任者研修～訪問介護計画書を学ぶ～	横浜市内に所在する指定訪問介護事業所のサービス提供責任者	・サービス提供責任者の基本的な役割とは ・利用者本位のニーズと目標・アセスメント ・担当ヘルパーとの訪問介護計画書の共有化	1回	1カ所	5.5時間(1日)	39人	-	-	-
	サービス提供責任者研修～サービス提供責任者の役割を学ぶ～	横浜市内に所在する指定訪問介護事業所のサービス提供責任者	・定められたサービス提供責任者の役割とは ・ヘルパーに対する教育・指導・マネジメント ・指導業務場面での事例検討	1回	1カ所	6時間(1日)	43人	-	-	-
	調理基礎研修	横浜市内に在住または在勤の福祉保健従事者	・調理の基本を知る ・料理を科学的に学ぶ ・おいしく簡単にできるメニューを学ぶ ・栄養や食べやすさを考えての食事作り	1回	1カ所	6時間(1日)	25人	-	-	-
	介護知識・技術クリニック 介護技術基礎講座	横浜市内在住または在勤の高齢分野の介護業務従事者で、経験年数の浅い方	・介護者にとって介護技術とは ・ボディメカニクスの原理 ・自立につなげる介護とは ・残存能力を活かす介護技術 ・体位変換 ・移動・移乗介助 ・更衣・食事・排泄介助	1回	1箇所	13時間(2日)	42人	-	-	-
	介護知識・技術クリニック 介護職のための医療的基礎知識	横浜市内在住または在勤の福祉保健従事者で、高齢福祉の現場で働いている方	・Aコース 消化 ・Bコース 排泄 ・Cコース 呼吸 ・Dコース 皮膚	各コース1回 全4回	1カ所	各コース1回3時間 全12時間(各コース1日、全4日)	・Aコース 88名 ・Bコース 88名 ・Cコース 75名 ・Dコース 95名	-	-	-
	介護知識・技術クリニック 認知症と認知症高齢者の理解	横浜市内在住または在勤の福祉保健従事者	・認知症の理解 ・アルツハイマー型認知症の特徴 ・レビー小体型認知症の特徴 ・脳血管性認知症の特徴 ・その他の認知症 ・BPSDについての理解 ・BPSDへの対応 ・認知症の方を理解すること	1回	1カ所	6時間(1日)	46人	-	-	-
	介護知識・技術クリニック レクリエーション研修	横浜市内在住または在勤の福祉保健従事者で、地域ケアプラザ等の施設において、高齢者を対象としたレクリエーション活動を担当する方	・介護・生活支援に活用するレクリエーションの基本姿勢と3つの方法 ・秘めた力を引き出すメニューの展開法 ・心地よい時間・空間の提供法 ・生きがい・はりあい実現の支援法	1回	1カ所	6.5時間(1日)	59人	-	-	-
	介護知識・技術クリニック 負担の少ない介助へのヒント	横浜市内在住または在勤の高齢分野介護業務従事者で、ホームヘルパー2級養成研修等を修了し基本的な介護技術を習得済みの方	人間の自然な動き、身体本来の動く仕組みを理解することを出発点として、介護する側介護される側どちらにも安心・安全な介助法を体験し、現場の介護につなげる。	1回	1カ所	3.5時間(1日)	26人	-	-	-
	明治学院大学提携講座 高齢者の生活を支える社会福祉	横浜市内在住及び在勤の福祉保健従事者	・日本の高齢者の実態 ・社会保障制度 ・介護保険制度導入の社会背景と社会変化	2回	1カ所	6時間(2日)	33人	-	-	-
明治学院大学提携講座 社会福祉実践と価値	横浜市内在住及び在勤の福祉保健従事者	・「社会福祉専門職に求められる自己覚知」 ・価値とは・ソーシャルワーカーの自己覚知 ・「社会福祉実践の視点」 ・事例を用いてソーシャルワークの焦点を学ぶ ・ソーシャルワークの援助の基盤	1回	1カ所	6時間(2日)	30人	-	-	-	

事業所団体調査(横浜市社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
横浜市社会福祉協議会 ウィリング横浜	明治学院大学提携講座 精神障害～うつ病と統合失調症	横浜市内在住及び在勤の福祉保健従事者	【1日目】うつ病を知る ・うつ病の症状、原因、進行について ・治療について・予防、ストレスマネジメント ・【2日目】統合失調症を知る ・統合失調症の症状と原因・経過と治療・早期発見について	1回	1カ所	4時間(2日)	103人	-	-	-
	課題別入門講座 成年後見制度の基礎知識講座	横浜市内在住及び在勤の福祉保健従事者	・利用者の権利とは ・権利擁護システムとしての成年後見制度	1回	1カ所	2.5時間(1日)	62人	-	-	-
	課題別入門講座 生活保護制度入門講座	横浜市内在住及び在勤の福祉保健従事者	・公的扶助・生活保護制度の概要 ・自立支援の在り方 ・生活保護の決定までの流れ	2回	1カ所	3時間(1日)	151人	-	-	-
	課題別入門講座 観察力を高める	横浜市内在住及び在勤の福祉保健従事者で高齢者対象の介護業務に従事している方	・介護者の「いつもの様子」をきちんと視る「観察力」を高めるポイントを学ぶ ・医療連携について学ぶ	1回	1カ所	3時間(1日)	109人	-	-	-
	課題別入門講座 個人情報保護制度	横浜市内在住及び在勤の福祉保健従事者	・個人情報とは ・個人情報保護法とは ・個人情報保護の具体的な進め方	1回	1カ所	3時間(1日)	49人	-	-	-
	課題別入門講座 会議運営力を磨く	横浜市内在住及び在勤の福祉保健従事者	会議についての基本知識 会議における問題点とは 会議を成功させるために 会議運営力をより高めるためには	1回	1カ所	3時間(1日)	40人	-	-	-
	精神障害の理解と地域生活支援	横浜市内在住または在勤の福祉保健従事者・活動者	・「精神のやまい」と「生活のしづらさ」の理解 ・地域支援の実際～事例を通して考える～	1回	1カ所	2.5時間(1日)	89人	-	-	-
	介護の現場を伝えるシンポジウム	一般	基調講演「福祉現場の今-利用者が自分らしく生きるサービを目指して」 パネルディスカッション「福祉の魅力～働くことで得られるもの」 パネリスト高齢者施設・高齢者施設・居宅サービス・ハローワーク・行政	1回	1カ所	2.5時間(1日)	180人	-	-	-
	介護支援専門員実務研修受講試験 直前対策講座	横浜市内在住または在勤で平成21年度実務研修受講試験申込者	・出題傾向の説明 ・分野ごとの重要事項の解説 ・問題演習、解説・重要ポイントの説明	1回	1カ所	2.5時間(1日)	1回平均49名	-	-	-
	介護福祉士国家試験受験直前対策講座	横浜市内在住または在勤で平成21年度介護福祉士国家試験申込者	科目ごとの要点解説 問題演習、解説・重要ポイントの説明	1回	1カ所	2.5時間(1日)	1回平均43人	-	-	-
リフレッシュセミナー シェイプアップYOGA & アロマストレッチ	横浜市内在住または在勤で、福祉・保健関係の仕事や活動をされている方	シェイプアップYOGA & アロマストレッチ	2回	1カ所	2.5時間(1日)	55人	-	-	-	
リフレッシュセミナー リフレッシュYOGA & アロマストレッチ	横浜市内在住または在勤で、福祉・保健関係の仕事や活動をされている方	シェイプアップYOGA & アロマストレッチ	2回	1カ所	2.5時間(1日)	28人	-	-	-	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
-	-	-

事業所団体調査(川崎市社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
川崎市社会福祉協議会 川崎市高齢社会福祉総合センター	介護職員基礎研修	2級研修を修了し、介護保険指定サービス事業所において介護職としての経験が1年以上の方	講義と演習	1回	1カ所	150時間(16日)	13人	-	-	
	訪問介護員養成研修2級課程	訪問介護業務等に従事することを希望する方	講義、実技講習、訪問介護等実習	1回	1カ所	190時間(31日)	35人	-	-	
	福祉職員向け現任研修	市内在住又は市内事業所にて、現在訪問介護業務を行っている方、市内高齢者福祉施設などにて、現在介護業務を行っている方、市内事業所にて、現在介護支援専門員としての業務を行っている方	講義または実技演習	38回	1カ所	125時間(43日)	1,469人	-	-	
	介護福祉士資格取得準備講座	介護福祉士国家試験受験資格保有者	講義、実技(実技は筆記試験受験者のみ)	1回	1カ所	44時間(9日)	40人	-	-	
	介護支援専門員実務研修受講試験受験準備講座	介護支援専門員実務研修受講試験受験資格保有者で、今年度の受験を予定している方	講義	1回	1カ所	21時間(4日)	109人	-	-	
	認知症介護実践者研修	次の(1)、(2)又は(3)に該当する方で、認知症の知識に関して、一定の理解がある方。ただし、平成16年度までの痴呆介護実務者研修を受講している方は除きます。 (1)川崎市内の介護保険施設等に勤務する介護職員で、認知症の知識に関して、介護福祉士等の知識を習得している方であり、かつ介護現場の経験が2年以上の方。 (2)川崎市内の地域密着型サービス事業の管理者・計画作成担当者変更に伴い、新たに管理者・計画作成担当者として従事する方。 (3)川崎市内で地域密着型サービス事業を設立予定で、管理者又は計画作成担当者として勤務予定の方。 ※認知症の知識に関して、一定の理解とは、介護福祉士等の知識に準じています。	講義、職場内実習	2回	1カ所	51時間(9日)	76人	-	-	
	認知症介護実践リーダー研修	次の(1)、(2)の条件を満たす方 (1)川崎市内の介護保険施設等に勤務する介護職員で、介護現場の経験が5年以上あり、認知症介護実践者研修を修了し1年以上経過している方、又は痴呆介護実務者研修を修了している方。 (2)介護現場において実践リーダー役の立場にある方、又はその予定にある方。	講義、他施設・職場内実習	2回	1カ所	60時間(10日)	19人	-	-	

事業所団体調査(川崎市社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
川崎市社会福祉協議会 川崎市高齢社会福祉総合センター	認知症対応型サービス事業管理者研修	認知症対応型共同生活介護・認知症対応型通所介護・小規模多機能型居宅介護の管理者となることが具体的に決定している方で、次のいずれかの要件を満たしている方。 (1)平成16年度までの痴呆介護実務者研修(基礎課程・専門課程)を修了している方 (2)認知症介護実践研修(実践者研修・実践リーダー研修)を修了している方	講義	2回	1カ所	17時間(3日)	32人	-	-	
	認知症対応型サービス事業開設者研修	利用者のいきがづくりや健康の保持及び増進し、レクリエーション活動に必要な知識と技術を習得します。	講義、他施設実習	1回	1カ所	19時間(4日)	4人	-	-	
	小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	小規模多機能型居宅介護に勤務している方、又は勤務する予定の方で、介護支援専門員の資格を有し、次のいずれかの要件に該当する方 (1)平成16年度までの痴呆介護実務者研修(基礎課程・専門課程)を修了している方 (2)認知症介護実践者研修(実践者研修・実践リーダー研修)を修了している方	講義	1回	1カ所	13時間(2日)	4人	-	-	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
<ul style="list-style-type: none"> 事業所によって研修参加の取組に温度差があり、申込みに偏りがある。 講師の都合と利便性の良い会場の空き状況とのマッチングが困難である。 	<ul style="list-style-type: none"> 利便性の良い会場の確保 事前の周知 	<ul style="list-style-type: none"> 研修出席者の代替職員の派遣 受講料の補助

事業所団体調査(名古屋市社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
名古屋市社会福祉協議会	新任職員研修 —基礎研修—	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の新任職員	「新任職員としての心構えとは～社会人として必要な意識・知識を身につける～」	1回	1カ所	7時間(1日)	58人	-	-	-
	新任職員研修 —ステップアップ研修—	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の新任職員	「組織の中の一員として～組織で使えるコミュニケーション技法を学ぼう～」	1回	1カ所	6時間(1日)	68人	-	-	-
	中堅職員研修	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の中堅職員	「組織における『中堅』とは～どうすれば利用者本位サービス時代を担う真の専門職になれるか～」	1回	1カ所	5時間(1日)	46人	-	-	-
	指導的職員研修	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の指導的職員	「真の職場リーダーになるために～指導的職員としての役割行動と組織管理～」	1回	1カ所	6時間(1日)	36人	-	-	-
	運営管理職員研修	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の運営管理職員	「変革期の職場課題解決に求められるマネジメントスキル～課題解決における“プロセス”と“リーダーシップ”を学ぶ～」	1回	1カ所	6時間(1日)	10人	-	-	-
	生活相談員研修	高齢者福祉施設の生活相談員	「福祉サービスにおけるリスクの理解と危険予知の必要性について～生活相談員の役割とは～」	1回	1カ所	6時間(1日)	39人	-	-	-
	看護師(看護職員)研修	高齢者福祉施設の看護師(看護職員)	「その人らしく生きぬくためのターミナルケア～看護師に必要な視点と関わり～」	1回	1カ所	6時間(1日)	40人	-	-	-
	介護支援専門員研修	高齢者福祉施設の介護支援専門員	「施設ケアマネとしての基本姿勢と施設ケアプラン～ケアプランを基にしたよりよいチームケアの実践を目指す～」	1回	1カ所	6時間(1日)	32人	-	-	-
	介護職員・支援員研修(高齢)	利用者のいきがいづくりや健康の保持及び増進し、レクリエーション活動に必要な知識と技術を習得します。	「認知症高齢者への支援に必要な知識・視点を学ぶ」	1回	1カ所	6時間(1日)	60人	-	-	-
	デイサービスセンター職員研修	高齢者福祉施設のデイサービスセンター職員	「デイサービスにおける利用者とのコミュニケーション～利用者主体の視点から～」	1回	1カ所	3時間(1日)	24人	-	-	-
	障がい者援助技術研修Ⅰ	障害者福祉施設の職員	「利用者との関わり方を見つめなおす～施設職員として、障がい者について改めて学ぶ～」	1回	1カ所	6時間(1日)	36人	-	-	-
	障がい者援助技術研修Ⅱ	障害者福祉施設の職員	「利用者の地域生活移行を考える～地域移行支援の中で、施設の役割とは～」	1回	1カ所	5時間(1日)	28人	-	-	-
	ケアマネジメント研修Ⅰ(障がい)	障害者福祉施設の職員	「利用者主体の個別支援計画作成を目指す～アセスメントから計画作成まで～」	1回	1カ所	6時間(1日)	21人	-	-	-
	ケアマネジメント研修Ⅱ(障がい)	障害者福祉施設の職員	「個別支援計画を施設の支援プログラムの中で活かす～モニタリングから終結まで～」	1回	1カ所	6時間(1日)	28人	-	-	-
	事務員研修Ⅰ(会計)	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の事務員	「社会福祉施設の会計基礎と就労支援会計基準対策」	1回	1カ所	6時間(1日)	51人	-	-	-
	事務員研修Ⅱ(会計)	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の事務員	「社会福祉施設の予算・決算」	1回	1カ所	6時間(1日)	50人	-	-	-
	事務員研修Ⅲ(労務管理)	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の事務員	「社会福祉施設における労務管理と法律制度～適切な労務管理のためのケーススタディ・Q&A～」	1回	1カ所	6時間(1日)	35人	-	-	-
	食事サービス担当者(栄養士・調理員)研修	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の食事サービス担当者(栄養士・調理員)	「生活機能とQOLの維持・向上を考えた食事サービスをマネジメントする」	1回	1カ所	4時間(1日)	32人	-	-	-
	職場研修担当者研修 —基礎研修—	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の職場研修担当者	「これからの福祉人材育成と職場研修の推進について～『職場研修』の考え方と仕組みを理解する～」	1回	1カ所	6時間(1日)	41人	-	-	-
	職場研修担当者研修 —フォローアップ研修—	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の職場研修担当者	「これからの福祉人材育成と職場研修の推進について～『職場研修』の振り返りと今後の新たな課題とは～」	1回	1カ所	3時間(1日)	25人	-	-	-
	接遇研修	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の職員	「施設職員としての接遇マナーの基本～自分の行動を振り返ろう！ 感じ、考え、実践しよう！～」	1回	1カ所	7時間(1日)	28人	-	-	-
	救急法研修(普通)	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の職員	「救急法について学ぶ～“もしも”のための応急手当(普通救命講習)～」	4回	1カ所	3時間(1日)	117人	-	-	-
	救急法研修(上級)	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の職員	「いろいろな応急手当を学ぶ～“いざ”というときのための応急手当(上級救命講習)～」	2回	1カ所	7時間(1日)	47人	-	-	-
	事業情報管理・活用研修	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の職員	「新任職員必見！ 福祉現場における個人情報保護～個人情報保護法対策の見直しと適切な活用に向けて～」	1回	1ヶ所	3時間(1日)	20人	-	-	-
	QOL向上研修Ⅰ	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の職員	「利用者の生きがい、意欲へと導くレクリエーション～機能回復と体力づくりの視点から～」	1回	1ヶ所	6時間(1日)	46人	-	-	-
	QOL向上研修Ⅱ	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の職員	「人にやさしい施設環境づくり～ケアを助ける環境づくりのスキルを学ぶ～」	1回	1ヶ所	6時間(1日)	43人	-	-	-
	介護技術研修Ⅰ	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の職員	「入浴介助の基礎～安全で安心できる入浴介助法～」	1回	1ヶ所	6時間(1日)	39人	-	-	-
	介護技術研修Ⅱ	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の職員	「自然な動きの体位変換と移乗」	1回	1ヶ所	6時間(1日)	39人	-	-	-
	医学基礎知識研修Ⅰ	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の職員	「施設における感染症の理解と予防～チーム(委員会)活動による理解・意識向上の取り組みを学ぶ～」	1回	1ヶ所	3時間(1日)	62人	-	-	-

事業所団体調査(名古屋市社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
名古屋市社会福祉協議会	医学基礎知識研修Ⅱ	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の職員	「福祉施設に必要な医学知識とその活用～現場で役立つ“薬”の知識と、日常の観察・緊急時対応のポイント～」	1回	1ヶ所	5時間30分(1日)	72人	-	-	-
	対人援助技術研修	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の職員	「対人援助の基本姿勢とセルフコントロール術～心理療法から援助職としての『わたし』を見つめる～」	1回	1ヶ所	6時間(1日)	54人	-	-	-
	教養セミナー	高齢者福祉施設・身体障害者福祉施設の職員	「知って得する東洋医学・漢方の知識～疲労回復・健康増進に活かすポイントを学ぼう～」	1回	1ヶ所	3時間(1日)	15人	-	-	-
	高齢者福祉施設見学研修	高齢者福祉施設の職員	「快適な職場環境を作り出すための職員による取り組みについて学ぶ～利用者への充実したケアへとつなげるために～」	1回	1ヶ所(施設見学2カ所)	6時間(1日)	28人	-	-	-
	経営者・施設長セミナー	名古屋市内社会福祉施設の経営者・施設長	第1回「保育所における家庭支援について」「子どもと大人の豊かな関係づくり」 第2回「災害時の要援護者支援への取り組み」「利用者と職員を守るための“最新”感染症対策」 第3回「障害者自立支援法の今後とこれからの施設運営」「私らしさを実現する車椅子テニス」	3回	1カ所	3時間30分(1日)	175人	-	-	-
	社会福祉施設職員相互派遣研修	高齢者福祉施設・障害者福祉施設の職員	現場実習	1回	1カ所	1ヶ月半のうち2、3日	32人	-	-	-
	福祉ネットワーク研修	名古屋市内社会福祉施設の職員	「地域とつながる福祉施設であるために」	1回	1カ所	3時間(1日)	61人	-	-	-
	福祉サービス苦情相談事業研修	市内社会福祉施設の職員	第1回「医療現場の苦情から学ぶ」 第2回「苦情における法的解釈を学ぶ」「スーパービジョン」	2回	1カ所	3時間(半日)	157人	-	-	-
	認知症介護実践者等養成研修—実践者研修—	高齢者福祉施設の職員	・認知症介護の理念 ・認知症高齢者の理解と生活の捉え方 ・認知症高齢者の生活支援の方法 ・職場実習	3回	1カ所	32時間30分(5日)	292人	-	-	-
	認知症介護実践者等養成研修—実践リーダー研修—	高齢者福祉施設の職員	・認知症 ・認知症介護のための組織論 ・人材育成のための技法 ・チームケアのための事例演習 ・実習課題設定 ・外部実習 ・職場実習 ・実習経過報告を通してのまとめ	1回	1カ所	142時間(20日)	35人	-	-	-
	認知症介護実践者等養成研修—フォローアップ研修—	高齢者福祉施設の職員	・チーム力の育成・向上にむけて ・自施設の職場環境をマネジメントする	1回	1カ所	4時間(1日)	68人	-	-	-
	認知症介護実践者等養成研修—認知症対応型サービス事業開設者研修—	高齢者福祉施設の職員	・認知症高齢者の基本理解 ・認知症高齢者のケアのあり方 ・家族の理解・高齢者との関係の理解 ・地域密着型サービスの取り組みについて ・現場体験	1回	1カ所	14時間(2日)	11人	-	-	-
	認知症介護実践者等養成研修—認知症対応型サービス事業管理者研修—	高齢者福祉施設の職員	・地域密着型サービス基準について ・地域密着型サービスの取り組みについて ・介護従事者に対する労務管理について ・適切なサービス提供のあり方について	2回	1カ所	9時間(2日)	93人	-	-	-
	認知症介護実践者等養成研修—小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修—	高齢者福祉施設の職員	・総論・小規模多機能ケアの視点 ・ケアマネジメント理論 ・地域生活支援 ・チームケア ・居宅介護支援計画作成の実際	2回	1カ所	9時間(2日)	29人	-	-	-
	福祉人材確保のための職員研修 中堅職員(介護職・リーダー)研修	名古屋市内で介護サービスを提供する事業所の従業者の方で通所・入所系介護関係業務従事者(3年以上)	「OJT・コーチングの基本と効果的な実施」「円滑な人間関係の構築、主体性を導く“ビジョン”づくり」	2回	2カ所	6時間(1日)	11人	-	-	-
福祉人材確保のための職員研修 管理者研修(通所・入所系事業所)	名古屋市内で介護サービスを提供する事業所の従業者の方で、通所・入所系事業所で従事する管理者又は人事労務事務従事者	「管理者による簡単・快適職場づくり」「労務管理の基礎知識」「労務管理の実践における知恵と工夫」	3回	3カ所	6時間(1日)	93人	-	-	-	
福祉人材確保のための職員研修 認知症基礎研修(介護職員向け)	名古屋市内で介護サービスを提供する事業所の従業者の方で、通所・入所系施設に従事する介護関係業務従事者	「認知症に関する基礎知識」「認知症の“人”の理解と適切な支援に向けて」	2回	2カ所	6時間(1日)	188人	-	-	-	
福祉人材確保のための職員研修 認知症基礎研修(看護職員向け)	名古屋市内で介護サービスを提供する事業所の従業者の方で、訪問系及び通所・入所系に従事する看護師又は准看護師	「認知症の基礎知識」「看護専門職による援助とコミュニケーション」	2回	2カ所	6時間(1日)	75人	-	-	-	
福祉人材確保のための職員研修 認知症基礎研修(施設介護支援専門員向け)	名古屋市内で介護サービスを提供する事業所の従業者の方で、施設で従事する介護支援専門員	「認知症の基礎知識」「本人本位の認知症ケアマネジメント」	2回	2カ所	5時間(1日)	52人	-	-	-	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
・現場ニーズの正確・迅速な把握(受講率UP)E近隣の研修講師の把握・依頼	・一部半日開催 ・ホームページに研修開催要領を公開 ・受講申込者が少ない場合は再周知	・現場での人材不足により、施設職員の勤務体系に余裕がなく、研修に参加できないので、現場環境の整備が必要。(Off-JTの実施しやすい環境づくり) ・参加しやすい研修企画(開催時期、時間、日数、場所等)

事業所団体調査(福岡市社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
福岡市社会福祉協議会	新任職員研修	業務経験3年未満の職員	新任職員の資質向上のための講義と演習	1回	1カ所	12時間30分(2日)	42人	4,000円	378,257円	
	中堅職員研修	業務3年以上で役職にない職員	資質向上のための講義と演習	1回	1カ所	12時間30分(2日)	37人	4,000円	574,776円	
	指導的職員研修	主任・係長・事務局長等の役職にある職員	資質向上のための講義と演習	1回	1カ所	12時間30分(2日)	24人	4,000円	534,906円	
	救急法研修	社会福祉関係施設職員	自己に適切に対処するための講義と演習	1回	1カ所	3時間(1日)	38人	0円	21,287円	
	メンタルヘルス研修	社会福祉関係施設職員	メンタルヘルスの講義	1回	1カ所	2時間(1日)	28人	0円	41,880円	
	福祉レクリエーション研修	社会福祉関係施設職員	福祉レクリエーションの演習	2回	1カ所	3時間(1日)	64人	1,000円	83,680円	
	介護支援専門員実務研修受講試験対策講座	市内の受験資格を有する者	受験対策のための講義	1回	1カ所	24時間(4日)	のべ129人	4,000円	411,352円	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
内容の充実開催時間等の設定	-	-

事業所団体調査(北九州市社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
北九州市社会福祉研修所	権利擁護セミナー(基礎編・応用編)	全事業者	成年後見制度を活用した対応方法～身近なしくみから暮らしを支援～	4回	1カ所	1日	258人	-	-	
	身体拘束廃止セミナー、高齢者虐待防止セミナー	施設系サービス・グループホーム 全事業者	高齢者施設における個人の尊厳のための実践 事例研修を通して	2回	1カ所	1日	164人	-	-	
	介護サービスリスクマネジメントセミナー(基礎編・応用編)	全事業者	介護場面におけるリスクマネジメントとは～リスクの意義、法的関係、裁判例を通して～、福祉サービスにおけるリスクマネジメント、事故対応のロールプレイ、事故対応マニュアル(フローチャート)を作成してみよう	3回	1カ所	1日	161人	-	-	
	介護サービスマナー研修／コミュニケーション技術研修	全事業者	「I am OK, You are OKコミュニケーション」「対人サービスにおけるマナーの基本」	2回	1カ所	1日	118人	-	-	
	介護サービス事業者初任者研修	全事業者	「介護保険制度について」「介護保険制度の基本理念と現状」「対人援助の目的とサービスの特性」	4回	1カ所	1日	199人	-	-	
	介護サービス事業者中堅者研修	全事業者	中堅職員の役割について学ぶ	2回	1カ所	1日	112人	-	-	
	リーダー・指導者研修	全事業者	「リーダー・指導者研修に求められるチームワークとリーダーシップ」	2回	1カ所	1日	114人	-	-	
	管理責任者研修	全事業者	「介護事業者に対する労務管理について」「部下育成と職場のコミュニケーション」	2回	1カ所	1日	117人	-	-	
	経営セミナー	利用者のいきがいくつくりや健康の保持及び増進し、レクリエーション活動に必要な知識と技術を習得します。	「介護事業者の雇用に役立つ助成制度について」「魅力ある職場づくりによる施設経営のノウハウ」「人材の調達と活用～より強い組織づくりを目指して～」「雇用管理改善について(労働基準法のポイント)」	2回	1カ所	1日	211人	-	-	
	認知症基礎研修(基礎編・応用編)	全事業者	「認知症に関する基礎的な理解を図る～認知症に関する正しい理解を深める～」「認知症に対する具体的な対応方法を学ぶ」	2回	1カ所	1日	395人	-	-	
	介護職のための医学講座	全事業者	「精神保健福祉の制度について～さまざまな制度を理解する～」「介護職と精神疾患～精神科医療について理解する～」「感染症予防」「終末期医療・ターミナルケアについて」「排泄ケアの基礎知識-排尿障害を中心に-」「今日から使える排尿の基礎知識」「高齢者の排泄ケアを考える」「嚥下のメカニズム」「高齢者の食事援助における誤嚥予防の視点」	9回	1カ所	1日	901人	-	-	
	介護職のための心理学講座	全事業者	「社会福祉専門職による高齢者のうつの理解と援助方法」「心理専門職による高齢者のうつの理解と援助方法」「介護職のための心理学的援助の方法」	6回	1カ所	1日	259人	-	-	
	講演会	全事業者	「今、保険・医療・福祉関係者に何が求められているのか。～社会保障制度における介護保険の今後の方向性～」	1回	1カ所	1日	95人	-	-	
	入所ケアマネジメントセミナー	施設系サービス グループホーム	施設系サービスコース「ケアマネジメントの基礎と実際」 グループホームコース「グループホームにおける計画作成担当者の役割」「認知症の人の気持ちと生活機能の捉え方～アセスメントの重要性をケアプランの作成について～」	2回	1カ所	1日	56人	-	-	
	訪問介護スキルアップ研修	訪問介護	「訪問介護計画作成とその意義」「介護従事者の為の医学的観察ポイント」「訪問介護におけるリハビリテーションの視点～介助者にも安心安楽な訪問介護～」「ホームヘルパーに求められるもの」「高齢者とのコミュニケーションの方法」「利用者やその家族へのメンタルケア」	6回	1カ所	1日	137人	-	-	
通所介護・通所リハビリスキルアップ研修	通所介護 通所リハビリ	「通所介護・通所リハビリの基礎知識」「予防介護・予防リハビリ計画の役割」「アセスメントの取り方」「高齢者に必要な栄養学」「口腔についての基礎知識」「通所におけるしかけづくり～介護予防の視点から～」「通所リハビリにおける介護予防の視点、取り組みの実際について」	6回	1カ所	1日	156人	-	-		

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
講師謝金が財政面から長期間低く押さえられている。心苦しいが、講師に理解を求めている状態である。	案内発送の時期に配慮している。 職場内での参加に体制ができるように、勤務表(シフト)等を組む、時期的なことを調査し、確認している。	研修に参加するためには、ローテーションの変更等、特に小規模な施設では大変で出にくい。代替の補助などが整備されれば参加しやすくなると思われる。

事業所団体調査(神戸市社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
神戸市社会福祉協議会	社会福祉施設新任職員共通研修	社会福祉施設の新任職員	マナー&コミュニケーション基礎研修	4回	1カ所	6.5時間(1日)	145人	3,000円	-	-
	老人福祉施設新任職員研修	老人福祉施設の新任職員	老人福祉施設職員としてのあり方。利用者を取り巻く環境とは。職場での人間関係を築こう	2回	1カ所	2.5時間(1日)	65人	1,000円	-	-
	障害福祉施設新任職員研修	障害福祉施設の新任職員	障がい者の生活の支援について。自立支援法の変更による新しい施設の展開	1回	1カ所	2.5時間(1日)	27人	1,000円	-	-
	社会福祉施設中堅職員共通研修	社会福祉施設の中堅職員	CS向上のための接遇対応と後輩育成指導研修	3回	1カ所	6.5時間(1日)	98人	3,000円	-	-
	老人福祉施設中堅職員研修	老人福祉施設の中堅職員	古武術を取り入れた介護～負担軽減へのアプローチ	1回	1カ所	6時間(1日)	32人	2,000円	-	-
	障害福祉施設中堅職員研修	障害福祉施設の中堅職員	期待される中堅職員のあり方～求められる人材とは	1回	1カ所	6時間(1日)	49人	2,000円	-	-
	社会福祉施設主任者研修①	社会福祉施設の主任者	メンタルヘルス研修～コミュニケーションのある職場風土がメンタルヘルス不全を予防する	2回	1カ所	6.5時間(1日)	70人	3,000円	-	-
	社会福祉施設主任者研修②	社会福祉施設の主任者	マネジメント・伝達向上研修	1回	1カ所	6時間(1日)	-	2,000円	-	-
	社会福祉施設主任者研修③	社会福祉施設の主任者	クレーム研修	3回	1カ所	6.5時間(1日)	108人	3,000円	-	-
	リスクマネジメントセミナー	社会福祉施設の中堅職員	リスクマネジメントの取り組みの要点。施設における成功例・失敗例。	1回	1カ所	5時間(1日)	56人	5,000円	-	-
	救急安全講座①	社会福祉施設の職員	水上安全法	1回	1カ所	7時間(1日)	19人	3,000円	-	-
	救急安全講座②	社会福祉施設の職員	救急法	1回	1カ所	7時間(1日)	28人	3,000円	-	-
	介護技術講座	社会福祉施設の介護職員	排泄ケアについて考える～負担軽減と自立支援へのアプローチ	1回	1カ所	3時間(1日)	40人	1,000円	-	-
	医学講座①	社会福祉施設の職員	食品アレルギーの基礎知識	1回	1カ所	2時間(1日)	54人	1,000円	-	-
	医学講座②	社会福祉施設の職員	施設で知っておきたい皮膚の病気の基礎知識	1回	1カ所	2時間(1日)	58人	1,000円	-	-
	医学講座③	社会福祉施設の職員	嚥下障害と口腔ケアについて	1回	1カ所	2時間(1日)	53人	1,000円	-	-
	音楽療法研修	社会福祉施設の職員	音楽療法とは。音楽活動のいろいろ	1回	1カ所	15時間(5日)	24人	5,000円	-	-
	施設ボランティアコーディネーター研修	社会福祉施設の職員他	施設におけるボランティアコーディネーターとは。施設ボランティアコーディネーターの仕事。	1回	1カ所	5.5時間(1日)	31人	2,000円	-	-
	社会福祉施設職員共通研修	社会福祉施設の職員	新しい福祉を目指して	1回	1カ所	1.5時間(1日)	22人	1,000円	-	-
	介護福祉士全国統一模擬試験(基礎編)	介護福祉士の資格取得を目指す方	介護福祉士模擬試験(基礎編)	1回	1カ所	3.5時間(1日)	39人	5,000円	-	中央法規出版の介護福祉士全国統一模擬試験(基礎編)を利用
介護福祉士全国統一模擬試験(実力編)	介護福祉士の資格取得を目指す方	介護福祉士模擬試験(実力編)	1回	1カ所	3.5時間(1日)	65人	6,000円	-	中央法規出版の介護福祉士全国統一模擬試験(実力編)を利用	
認知症介護実践研修 実践者研修	介護保険施設・事業所に従事する介護職員等(実務経験2年程度)	認知症高齢者の医学的理解。認知症高齢者の心理的理解。認知症高齢者の生活の捉え方。実習他。	3回	1カ所	50.5時間(1日)	217人	15,000円	-	-	
認知症介護実践研修 リーダー研修	実践者研修を修了し概ね1年以上経過している方等	実践リーダーの役割と視点。サービス展開のためのリスクマネジメント。スーパービジョン。実習他。	1回	1カ所	67.5時間(1日)	45人	20,000円	-	-	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
介護実習における機材(ロフト等)、設備(トイレ、浴室等)の充実。	参加希望者の多い研修については、複数回開催するなど柔軟に対応している。また、講義形式以外にグループ討議や演習、自習を取り入れている。	修了証、資格の付与。参加費の助成。長期の研修の場合は代替職員確保のための助成。

事業者団体調査(大阪市社会福祉研修・情報センター)

質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
実施主体	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
大阪市社会福祉研修・情報センター	介護職員研修	大阪市内の介護保険事業所に勤務する介護専門職員及び訪問介護員(常勤・非常勤を問わない)	高齢者の尊厳を支えるケア、チームケアを推進するために人間理解を深め、専門職としての倫理を高める。 (内容) 対人援助の基礎技術、コミュニケーション技法、認知症高齢者ケア、医学的知識、介護技術、レクリエーション援助、など	1回	1カ所	18.5時間(3日)	48人	6,000円	総事業費 320,773円 (21年度決算 (見込)額)	—
	訪問介護事業サービス提供責任者研修(初級)	大阪市内の介護保険事業所に勤務するサービス提供責任者(初級 コース:サービス提供責任者の勤務経験が3年未満)	高齢者の尊厳を守り、自立支援を図るため、個別性を尊重した質の高い内容のサービス提供が求められている。そのため、サービス提供責任者の資質を向上し、他職種や地域との連携・協働によって、高齢者を社会全体で支える地域づくりをめざす。 (内容) サービス提供責任者としての役割・倫理、グループワーク、訪問介護計画作成方法など	1回	1カ所	10.5時間(2日)	58人	4,000円	総事業費 182,167円 (21年度決算 (見込)額)	—
	訪問介護事業サービス提供責任者研修(中級)	大阪市内の介護保険事業所に勤務するサービス提供責任者(初級 コース:サービス提供責任者の勤務経験が3年以上)	高齢者の尊厳を守り、自立支援を図るため、個別性を尊重した質の高い内容のサービス提供が求められている。そのため、サービス提供責任者の資質を向上し、他職種や地域との連携・協働によって、高齢者を社会全体で支える地域づくりをめざす。 (内容) ケア会議の方法、事例検討に基づくスーパービジョン・リスクマネジメント、認知症支援などの模擬カンファレンス	1回	1カ所	5.5時間(1日)	35人	2,000円	総事業費 79,120円 (21年度決算 (見込)額)	—
質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。			質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。		質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。					
3日間の研修なので、職場を休んで出席するのが難しいという意見がある。どこの施設も事業所も人員が少なく、研修よりも業務が優先されている。スキルアップしたくても、業務の一環として研修を位置づけてもらにくい。			月始に研修を実施しないようにしている(講師の都合で調整がつかない場合もある)		研修に出ている間の人員のフォロー。 研修に出ている間、その人の業務が他の職員に上乘せされなければ参加しやすい。					